

平成24年度

山梨県立博物館年報

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



はじめに

平成24年度、山梨県立博物館は、前年度に刊行しました開館5周年年度までの運営状況を対象とした『総合評価報告書』の結果を受けて、新たに開館10周年年度までの新規評価制度の策定を行いました。

この中では、県立博物館の新たな使命として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進める博物館をめざすことを掲げています。また、東日本大震災における経験をふまえて、県立博物館が文化財レスキューなど、地域社会を支援する体制の整備に努めることを新たな評価項目としています。

すでに県立博物館では、日本学術振興会 科学研究費補助金の助成を受けた調査・研究などをおして、県内外の研究者と共同で調査・研究活動を行っているほか、ミュージアム甲斐・ネットワーク事業をおして、100館を超える県内の博物館・美術館施設との連携を図り、ともにイベントなどを開催してまいりました。

新規評価制度に掲げました使命や目標を実現するためには、県立博物館がその基本活動である調査・研究を今後もたゆまなく推進していくとともに、これまで以上に県内外の博物館や教育委員会、各種研究機関・教育機関、NPO法人、ボランティアなどに所属する皆様との連携や交流を深めていくことが必要となります。

開館10周年年度に向けて新たな歩みを始めました県立博物館の事業・活動に、皆様の御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 平川 南

目次

はじめに

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度 1

- (1) 県立博物館の使命 1
- (2) 新たな評価制度の策定 1

第2章 通信簿ツアーの実施 5

- (1) 通信簿ツアーの内容 5
- (2) 通信簿ツアーの結果 7

第II編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス 25

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 25
- (2) 平成24年度利用者状況一覧 25

第2章 調査・研究 29

- (1) 外部資金による調査・研究 29
- (2) 県費による調査・研究 34
- (3) 個別調査・研究 36
- (4) 調査・研究成果の公表 39
- (5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究 41

第3章 資料の収集・保管・活用 43

- (1) 資料収集の方針 43
- (2) 資料の収集 43
- (3) 資料の整理・目録（データ）化 44
- (4) 資料の修復・管理 44
- (5) 資料の活用 46

第4章 展示 47

- (1) 常設展示 47
- (2) 企画展・シンボル展 55
- (3) 展覧会関係刊行物 79

第5章 企画交流事業 80

- (1) 生涯学習サービス事業 80
- (2) 博学連携 82
- (3) 博物館同士のネットワーク 88
- (4) 広報 88

第6章 施設の整備・管理 90

- (1) 安全快適な施設づくり 90
- (2) 施設開放 90

第7章 情報の発信と公開 91

- (1) 資料閲覧室の利用状況 91
- (2) 博物館総合情報システム 92
- (3) 博物館ホームページ 93

第8章 県民参画 94

- (1) NPOとの連携 94
- (2) 博物館協力会(ボランティア)との連携 95

第9章 組織・人員 96

- (1) 職員の資質向上 96
- (2) 第三者委員会 96

第10章 外部支援と連携 98

- (1) 外部支援 98
- (2) 外部との連携 98

第III編 各種資料

1 組織・職員等名簿 99

2 平成24年度予算額 101

3 年間日誌 101

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については平成17年度年報を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て平成24年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は五十音順である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館を指す。

(表紙) 常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶことは、現在はもとより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

使命3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

(2) 新たな評価制度の策定

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなで作る博物館協議会」（以下「みんなつく」、第II編第9章参照）において、県立博物館の評価制度の検討を行い、平成19年10月10日（水）に開館5周年度目までの評価制度（以下「第1期評価制度」という）を策定した。そして、評価の結果は、平成23年度に刊行された『山梨県立博物館総合評価報告書—開館5周年度目までにおける評価結果—』にまとめて公開した。

第1期評価制度の結果をふまえて、平成24年度は、開館6周年度目から10周年度目までの新たな評価制度（以下「第2期評価制度」という）を「みんなつく」で協議し、運営委員会にも諮った上で、平成24年12月25日に策定した。

第2期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニーズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第1期評価制度で掲げた使命1・使命2という県立博物館の使命に使命3を新たに加えた。

また、それぞれの使命に対応して別表「平成23年度から平成27年度までの評価項目」に掲げた評価項目を設けるとともに、第1期評価制度の結果をもとにして別表「平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値」に掲げた数値目標を定めた。

今後、第2期評価制度にもとづいて、平成23年度から平成27年度までの運営実績の検証を行い、平成28年度に総合評価を行う予定である。

■平成23年度から平成27年度までの評価項目

※評価方法Aは数値評価、評価方法Bは自己診断、評価方法Cは通信簿ツアアをそれぞれ指す。

※評価A、B、Cをふまえて、平成28年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行する。

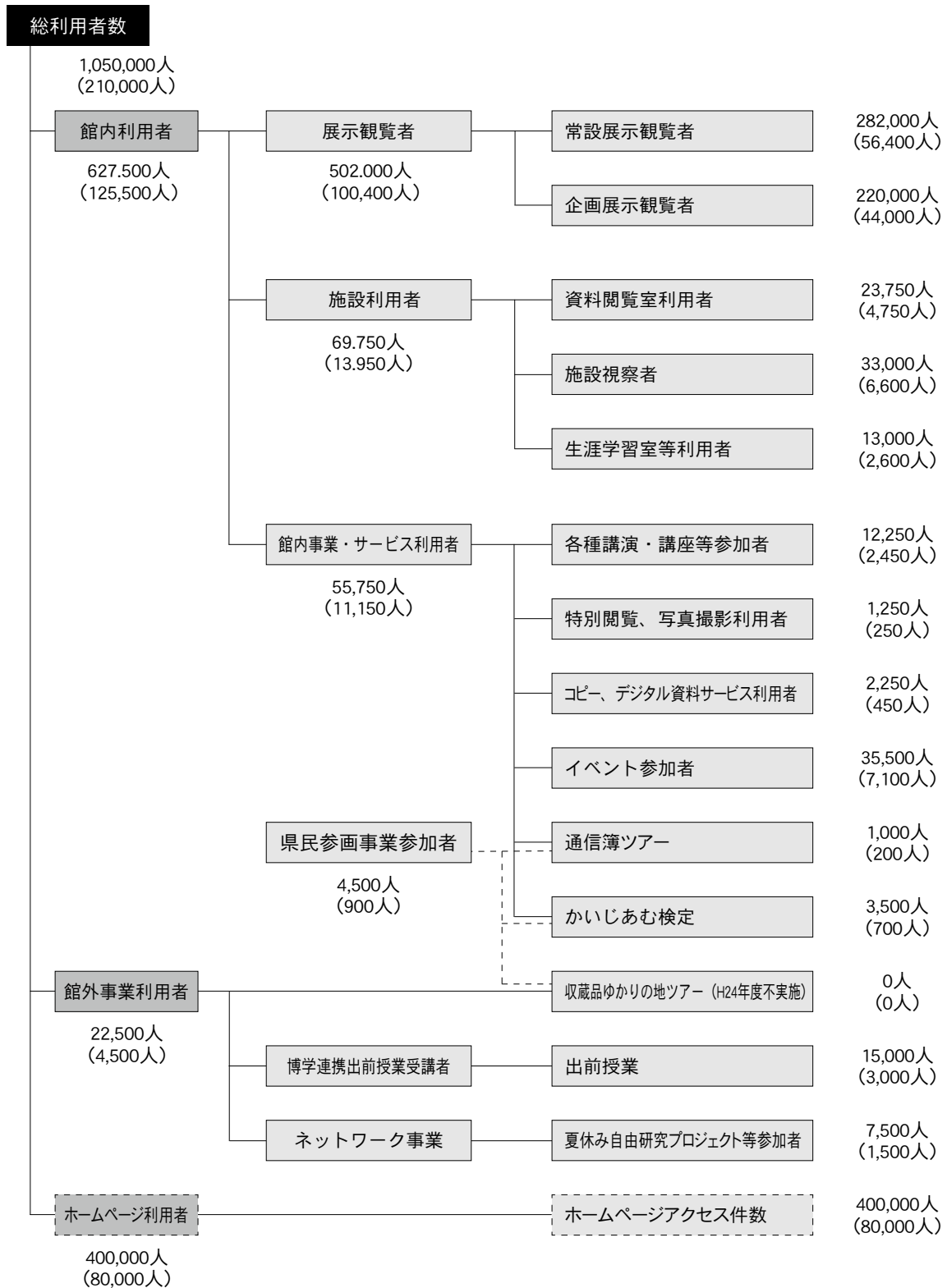
使命1	使命2	使命3
使命1に対応した活動目標	使命2に対応した活動目標	使命3に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館が整備されて良かったと思われ、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。 山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。 博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。 博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。 NPOとの協働などをおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 総利用者数（評価方法A） 館員及び利用者を対象として、博物館使命がどの程度認知されているのかの調査（評価方法C） 利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法B） 目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法B・C） 県民参画事業の参加者数（評価方法A） 	
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> 「山梨の自然と人との関わりの歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をおして積極的に公開し、利用者的好奇心を満足できるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などをおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> 資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりの歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をおして積極的に公開し、利用者的好奇心を満足できるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか？（評価方法A） 科学研究費補助金ほか外部資金の導入などをおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法B） 県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法B）
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> 展示をおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどをおして、新たな資料情報を積極的に公開します。
	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集点数（評価方法A） 個々の資料について適切に資料保存・修復措置を行っているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 全収集点数の内、目録化（データベース化）がなされた資料点数の割合（評価方法A） 資料の総利用件数（一次資料やマイクロフィルムなど二次資料も含んだ閲覧件数、館外資料貸出件数など）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに展示やホームページに公開した資料点数（評価方法A）
	<ul style="list-style-type: none"> 展示をおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をおした常設展示の展示替えを行います。
	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示の利用者数（評価方法A） 企画展利用者数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館への学校利用件数及び参加者数（評価方法A） 展示をわかりやすく解説するワークシートなどを作成しているか？（評価方法CまたはB） 	<ul style="list-style-type: none"> 常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法CまたはB） 企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法CまたはB） 常設展示における年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法A） 常設展示の来館者数増加に向けた取り組み（評価方法B）

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> 県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりの歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。 年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。 県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。 博学連携に関わる取り組み（評価方法B） 出前授業等の件数及び参加者数（評価方法A） 貸出用キットの利用件数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。 大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。 企画交流活動に関わる取り組み（評価方法B） 各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか？（例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど）（評価方法B） 地域インデックスの活用策を企画・実行したか？（評価方法B）
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> 山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。 魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。 地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか？（評価方法B） 緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか？（評価方法B） バリアフリー対策を行っているか？（評価方法B） 資料保存について措置を講じているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。 利用者に対する施設開放件数及び利用者数（例えば、生涯学習室の貸し出しなど）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。 国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか？（評価方法B） 展示施設の新規整備やその活用が図られているか？（例えば、体験型展示の充実など）（評価方法B）
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファレンスをとおし開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。 レファレンス対応件数（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをとおした場合では開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。 HPアクセス数（評価方法A） HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。 どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧化がなされているか？（評価方法B）
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動の実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。 NPOや協働会（ボランティア）との協働事業開催件数及び参加者数（評価方法A） 協働会（ボランティア）の登録者数（評価方法A） 協働会（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧化がなされているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。 利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC） 	<ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） 第三者機関（運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料・情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 第三者機関（運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料・情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） 第三者機関（運営委員会、みんなで作る博物館協議会、資料・情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）
(10) 外部支援と連携について	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。 館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B） 山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？（評価方法B） 文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？（評価方法B） 		

■平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※1 数字…平成23年度（開館6周年度）から平成27年度（開館10周年度）までの目標値

※2 () 内の数字…平成23年度から平成27年度までの5年間における単年度の新規目標値

第2章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■平成24年度における通信簿ツアーの特徴

平成24年8月5日(日)及び同8日(水)に、県民参画事業(第Ⅱ編第8章参照)の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する(県立博物館の「通信簿」を付ける)という利用者参加型の評価方法である(本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第Ⅰ編第2章参照)。1回目の8月5日(日)には一般の来館者を対象にして、また2回目の8月8日(水)には学校の教職員を対象にして行った。

平成24年度の特徴は次のとおりである。

- ・質問内容が多すぎるという参加者からの声を踏まえ、平成23年度に引き続き、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図った。
- ・質問では、館内における温湿度管理の理由(CO1)など、なぜ県立博物館がそのような対応をしているのかを表記した上で、ご意見を伺った。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・当日の参加者数は合計183人(1回目:165人、2回目:18人)であり、例年を上まわる参加者数を得た。この内、回答を寄せてくれたのは138人(1回目:121人、2回目:17人)であった。

■通信簿ツアー評価項目

- A 山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの、道のりは順調でしたか？
1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？
 2. 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？
- B いよいよ館内に入ります。
1. チケット売り場はすぐにわかりましたか？
 2. 受付(総合案内)や案内スタッフの対応はいかがでしたか？
 3. かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？
 4. 入場料が必要などところと、そうでないところの区別はすぐわかりましたか？
 5. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか？
 6. 館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか？
 7. エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？(複数回答可)ご意見もあればお聞かせください。
 - ・次回企画展とイベントの案内
 - ・館内の禁止事項の案内
 - ・県立博物館紹介の新聞スクラップ
 - ・エントランス中庭の説明案内
 - ・気がつかなかった
 8. 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。
- C 館内は快適ですか？
1. 資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？
 2. 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？
 3. 小さなお子さんが楽しめそうなどところやサービスはありましたか？○をつけていただけますか？(複数回答可)ご意見もあればお聞かせください。
 - ・サメの歯の展示
 - ・積み木広場
 - ・キッズライブラリー
 - ・鉄道模型
 - ・映像コーナー
 - ・ない
 - ・その他
 4. 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？
 5. 外国人の方に対応したサービスは充分だと思えますか？
 6. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？
- D さて、展示室です。(常設展示/鑑賞・学習型展示について)
1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。自分のまちが見つかりましたか？
 2. 常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。常設展のおすすめ資料を紹介したパネルが展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？
 3. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、パンフレットには展示室内の地図があります。うまく順路をたどれましたか？
 4. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？
 5. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。

D 展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）

6. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
7. 本年度から、体験型展示に新しく「かいじあむ寺子屋」がオープンして、体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたなら…というご意見がありましたら、お寄せください。
8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
9. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？

D 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）

- 「クニマスは生きていたー山梨おさかな発見物語ー」展を開催中です。
10. 今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。
 11. お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか？
 12. 今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますが？

E 調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。

◎もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ

1. 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることが出来るサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
3. 毎月、館内での「古文書相談日」、あなたの町に出前する「出張古文書相談日」のいずれかが開かれていますか、知っていましたか？
4. もし自宅に古文書があれば、相談してみたいですか？
5. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることが出来る検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。

◎山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ

6. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？
7. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたくらいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？

F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？

1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしていますか、いかがでしたか？
2. レジの対応はいかがでしょう？
3. 買ったもの、買いたいものはありましたか？品揃えはいかがでしょう？
4. 現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？
5. 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年4月に新しくオープンしました。お店の雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段などはいかがでしたか？
6. 軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年7月21日（土）から同9月2日（日）までの夏季期間中は、休館日を除く毎日営業しておりますが、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業していましたら、利用されますか？
7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。
8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？

G 博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？

1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。
2. こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？
3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です）

H 博物館で働く人たちと交流できましたか？

1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？
2. 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？面白い話を聞けましたか？
3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたくらいですか？

I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？

1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？
2. 今日、博物館に来る前にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）
・ホームページ・かいじあむ通信「交い」・ちらし・新聞・テレビ・その他
3. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（<http://>

www.museum-kai.net/)、知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？

J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。

1. 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？
2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？
3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）や定期観覧券を知っていましたか？
4. 年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）や定期観覧券を利用したいと思いますか？
5. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。
6. 博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？
7. もう一度、この館に来たいですか？
8. その他、ご意見がございましたらご記入ください。

(2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果

回答番号	質問内容・意見	回答数	評価者No.
A	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？		
A01	博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？		
	はい	124	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	富士急行バスで来ました。バス停が近くて良いです。		5
	案内掲示板が少なかったです。でも入口はしっかりと分かりました。		11
	バイパスから降りるのが分かりにくいような気がしました。		29
	迷ってしまいました。		30
	地図を調べて来たので迷わず来れました。		35
	知ってたので。		36
	道案内が少なかった。		61
	ナビで来た。		59
	一宮・御坂ICから迷ってしまいました。		93
	案内板が少ない（国道）。		96
	看板があった。		97
	案内標識があったので、すぐに分かりました。		108
	ナビでは館の裏側に案内された。		109
	徒歩で1分。		111
	国道20号線に表識がありわかりやすかった。		124
A02	最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですでしょうか？		
	はい	31	
	いいえ	2	
	利用していない	44	
	【ご意見】		
	県外の人には分かりづらいと思いました。ホームページからも簡単に見られるようにしてほしいです。		11
	タクシーで来ました。		102
B	いよいよ館内に入ります。		
B01	チケット売り場はすぐにわかりましたか？		
	はい	129	
	いいえ	3	
	【ご意見】		
	クニマス展の会場で販売していると思った。		9
	見やすかった。		11
	別々の料金は高い。		14

	初めてだと分かりにくいかも。		16
	展示室方面の導線沿いにあったほうが分かりやすい気もしました。		29
	声をかけてくれてわかりやすかったです。		55
	本当にすぐにわかりました。		59
	声かけをしてくれてわかりやすい。		97
	受付はこちらですと声をかけられたので。		98
	少しわかりにくいですが、スタッフがすぐ迎えて案内してくれた。		100
	順番に並べるようになっているとよいと思う。		124
	裏から入った。		132
	駐車場から入り口が分からなかった。プレートがあり、見てもいわゆる“入り口”の案内はなく、2回目でも分からなかった。		138
B02	受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？		
	よい	109	
	ふつう	21	
	わるい	0	
	【ご意見】		
	感じが良いです。		5
	丁寧で分かりやすかったです。		35
	アンケートの方が入り口で多勢でまちうけているのどうかと…思います。		53
	丁寧で好感がもてる。		91
	良すぎます（人が多い）。		93
	丁寧だった。		97
	対応はすごくよかったです。ただ、はじめての人は券を買うところと入場口が反対側にあるので迷うかも。		105
	料金が少し分かりづらかったかも。		71
	大変気持ちの良い対応でした。他の博物館ではこのような経験は一度もありませんでした。続けてください。		66
	いろいろ教えてくれてよい。		59
	明るく、感じが良い。		124
	「いらっしゃいませ」と言われ、少し違和感を感じた。「おはようございます」「こんにちは」で良いのでは？		138
B03	かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？		
	はい	103	
	いいえ	5	
	【ご意見】		
	もらっていない。		80
	問題式で面白い。		97
	見る順路が決まっているなら、細かい展示場所の説明はいらないのでは？		22
B04	入場料が必要なところ、そうでないところの区別はすぐわかりましたか？		
	はい	101	
	いいえ	19	
	【ご意見】		
	チケット受け渡しカウンターがあるので。		29
	説明があったのでわかりやすかったです。		35
	みんなお金とるよね、入場料がいらないところなんて外ぐらいでしょ？		53
	初めてのためわかり難かった。		92
	人がいたのでわかったが、大きな看板がほしい。		97
	パンフレットをみたり、案内員に聞かないとわからないと思う。		99
	全体的に入口がわかりにくい。		78
	常設展入口をもう少し子ども向けにかわいらしくした方がよいか？		129
B05	途中で館外に出て、当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか？		
	はい	47	

	いいえ	75	
	【ご意見】		
	再入場することがない。		4
	入口で説明していただきました。		5
	なにか表示があったのかな？		91
	帰りぎわにチケットもぎりの場所でわかった。		97
	説明してほしかった。わかったけど。		112
	チケットに書くな！渡す時に伝えてほしい！		78
	入場時に説明・案内すればいいのでは。		118
B06	館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？		
	はい	111	
	いいえ	14	
	【ご意見】		
	トイレが分かりにくい。		5
	あまり見ていない。		18
	わかりやすいところにしてほしい。		97
	分かったけれど説明をしてほしい。		111
	通れるけれど、順路でないところが多い。		79
	生涯学習室側の入口から入場する方が多勢いました。駐車場からメインエントランスへの誘導をわかりやすくしたらよいと思います。		137
	「殺貝剤の…」は今立ち入ってはいけないかと思った。		138
B07	エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。		
	次回企画展とイベントの案内	42	
	館内の禁止事項の案内	21	
	県立博物館紹介の新聞スクラップ	16	
	エントランス中庭の説明案内	29	
	気がつかなかった	31	
	【ご意見】		
	裏庭にも書いてほしい。		111
	中庭は係の方が説明してくれました。		71
B08	広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。		
	【ご意見】		
	書初めの実演		5
	収蔵品の今月の一品というように、ピックアップした展示をしたらどうでしょう。展示していないものもたくさんあると思うので。		16
	いろんな展示品をしたらいいと思う。		21
	無料でも入りづらい。イベントをしても、それに参加するには館内に入らないと駄目なので入りづらい。		53
	一般県民の研究や収集品の発表。		101
	特になし。		111
	子どもやお年寄りの方のための特別コーナーなど。		84
	休憩所で横になりたい。		72
C	館内は快適ですか？		
C01	資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？		
	はい	118	
	いいえ	10	
	【ご意見】		
	涼しくて良いです。		5
	外が暑く、薄着だったせいか寒く感じました。		8
	低温すぎる。		17

	展示室は少し寒いです。		29
	展示室は少し涼しいですが、さほど気にならない温湿度だと思います。		35
	前より寒くなくなっている。		91
	とても涼しい。		97
	少し寒い。		84
	少々、寒かったです。		123
	寒い。		124
	少し涼しい。保存のためなのでやむをえないでしょうか。		131
	ちょっと寒い。		132
	寒いです。		133
	長時間いると寒い。		135
	長そでのカーディガンを着ていたが、寒かった。		136
	寒かった。		138
C02	暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？		
	【ご意見】		
	ひざ掛けの貸し出しがあると良い。		5
	扇風機で空気を回す。		9
	涼しいところ、暖かいところをスポット的に設ける。		29
	あらかじめHPなどに温度を表示する。上着やひざ掛け等の持参を促す。貸し出す。		35
	すいません。無いです。		36
	ありません。		45
	ちょうどいいと思う。		55
	外が暑かったので、涼しくて良かったです。		52
	普通		75
	エアコン		70
	少し冷房が効きすぎている。		67
	特に思いつきませんが、パンフレットには書いてあるのでしょうか。		123
	寒い所があった。		125
	パンフレットなどにその旨をわかるようにするすなどであると各自で対策がとれるのでは。		131
	自分は寒いと思ったが、〇〇〇の理由のため室温を〇℃に設定してあります、と表示してあると暑くても寒くても納得できる。		132
	上着を用意する。		135
	寒さ対策として、ショールの貸し出しがあると良い。(特に夏は、半そでで来館の人が多くと思うので)		136
	入口付近を館内展示室より少し涼しくすると、入ったときに気持ちいい。		137
C03	小さなお子さんが楽しめそうなところやサービスはありましたか？○をつけていただけますか？(複数回答可)ご意見もあればお聞かせください。		
	サメの歯の展示	34	
	積み木広場	24	
	キッズライブラリー	21	
	鉄道模型	14	
	映像コーナー	32	
	ない	1	
	その他(「お寿司屋さんのところ、札をめくったところ。」「魚の漢字の札をめくって答えを探すところ。」)	3	
	【ご意見】		
	絵本など置いてくれたらいいです。		111
	いろいろ		119
C04	障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？		
	はい	44	
	いいえ	18	
	【ご意見】		

	よくわからない。		16
	視覚障害者に対してスロープであったり、足元へ順路を示すような案内があれば良いと思う。視覚障害者の方が楽しめるような展示がまいち分からなかった。		35
	段差等なく、通路も十分広い。充実してなくても現状で十分だと思う。		36
	わからない。		53
	不明		91
	通路が狭いところがあった。		97
	車椅子を使用できるのはよいと思います。スロープもゆるやかでした。		98
	不明		101
	分かりません。		72
	バリアフリーになっていたの、歩きやすかったと思います。		71
	通路が広いのはよいと思います。		127
	気づかなかった。		130
	普通に見学している分には何が充実しているのかとくに分からなかった。		132
	わからない。		138
C05	外国人の方に対応したサービスは充分だと思いますか？		
	はい	24	
	いいえ	26	
	【ご意見】		
	英語の他に中国語のガイドがあると良い。		5
	気が付かなかった。		16
	タッチパネルの翻訳の部分が見られないのは、もったいないと思います。あとポルトガル語も欲しいです。		6
	英語だけでなく中国語などの表記もあっていいかも。		29
	タッチパネルが対応していないところがあった。各資料の説明が外国人向けではなかった。		35
	わかりません。		53
	たまたま利用している外国人を見た。		91
	英語表記が少ない。		97
	英語などの解説もあればいいと思います。		98
	順路にも。		100
	不明		101
	でも英語を使った方がいい。		112
	分かりません。		72
	音声ガイドがあってよいと思う。		124
	あまり来館しないと思うが。		129
	英語、中国語、韓国語の説明がありません。		137
C06	館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？		
	はい	72	
	いいえ	27	
	【ご意見】		
	展示室の中に椅子がもう少し欲しい。		16
	これらを書く場所が分かりづらく、困りました。		20
	ロビーにももう少しあってもよいのでは。		5
	もう少し椅子を増やして。		3
	展示内にはあまりないが十分にあると思う。		35
	少ないと思う。展示スペースにも必要。		97
	もう少し椅子があるといいと思います。		98
	展示スペースにももう少しあってもいい。		100
	展示スペースで休憩場所が少ない。		101
	背中の部分もつけたら安全だと思う。		111

	所々椅子が置いてあり、休むこともできた。		71
	アンケートの所の椅子を増やしてほしい。クニマスが8月10日から知らなかった。		70
	快適な喫煙スペースがあれば良い。		64
	屋外でも構わないので喫煙所がほしい。		119
	展示スペースに少しあれば良い。		118
	少ないように感じます。		131
D	さて、展示室です。(常設展示/鑑賞・学習型展示について)		
D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？		
	はい	78	
	いいえ	22	
	【ご意見】		
	チケットもぎりの所にあるガイドパネルの存在をもっと強調しては？		5
	少し小さいですが。		29
	表示が少なくすぐには見つからなかった。		35
	よくわからなかった。		36
	クニマスの西湖の位置がわかりよかった。		91
	探すのが楽しい。飛行機が写っているのを探すのも楽しい。		97
	山ならば表記があってもいいのかもしれない。		98
	もっと拡大してほしい。		111
	県外在住		118
	もうすこし、写真がはっきりすると良い。		123
	東西南北があるとよい。		124
	親しみがもてる。		127
	足でふんでいるうちに、うすくなって見えにくくなりませんか？		132
D02	常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。常設展のおすすめ資料を紹介したパネルが展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？		
	はい	46	
	いいえ	51	
	【ご意見】		
	毎回楽しみ。		16
	見過ごしてしまいます。		5
	少し分かりにくいかもしれません。		6
	わかりやすいパネルでよかった。		91
	ちょっとわかりにくい。		97
	他の所に設置するのもいいと思う。		111
	漢字にふりがながほしい。		124
D03	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、パンフレットには展示室内の地図があります。うまく順路をたどれましたか？		
	はい	102	
	いいえ	17	
	【ご意見】		
	パンフレットを貰っていない人も多い。展示室内も置いたらどうか。		5
	個人的には順路関係なく見たいと思います。後で気になって戻るということをよくするので。		6
	順路のパネルがあったのでわかりました。		35
	むずかしいです。		47
	少しわからなくなったりして大変でした。		52
	順路表示があった。問題ないと思う。		53
	自由な感じがいいと思う。		97
	地図を見たことがない。		107
	もっと細かいといいです。		111

	自由にまわらせていただいたので、順路をたどっていません。		71
	少し迷った。		70
	自由に見られる方が、やはりありがたいです。		123
	矢印や番号でたどるのが分かりやすいと思う。		124
	ちょっと迷った。		132
D04	展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？		
	はい	88	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	振り仮名が小さい。		5
	近くに見る分には十分だと思いますが、テーマ別で分かれている箇所も一番大きな字はもう少し大きくてもいいかなと思いました。遠くから資料の内容が分かりやすいと思います。		6
	文字が小さい。		16
	解説は目の悪い人には見にくいかもしれません。		35
	係りの人(学芸員の人?)に説明してもらってすごく良かった。一人で見ても気づかなかったと思う。		36
	少し小さい。		100
	ケース内の文字が小さい。		101
	ゴシック体が良かった!		111
	足元の展示や低い展示はもう少し大きめが良いです。		78
	ケースの光の反射で読みづらいところがある。どこの博物館でも感じることだか、もう少しなんとかなりませんか?		126
	大きさはよいと思いますが、ふりがなをもっとつけていただけると子どもでも正しく読めて理解できると思います。		127
	なかなか全文は読まないが子ども向けに「これは〇〇だよ」と簡単なものがあるとよい。		129
	ふりがなが小さく子どもが読むには難しいと感じる。		131
	解説は、文字が大きく見やすかったが、展示品のタイトルや年号が、年斐の方のために、もう少し大きいと良いと思う。		136
	文字は少し小さいと思う。		137
D05	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか?ご意見もあればお聞かせください。		
	はい	89	
	いいえ	8	
	【ご意見】		
	人が少なればじっくり楽しめるが、人が多いと他の人に気兼ねして飛ばしてしまうかも。タッチパネルの使い方が分かりにくい。		5
	引き出しが少し分かりにくいように思います。		6
	逆に面倒くさい。		22
	タッチパネルの内容が面白い。勉強になりました。		16
	引き出しに番号を付けるなどすればさらに分かりやすくなると思います。		35
	一つ気が付いたのが、山梨県に縁のある偉人の写真、絵があるコーナーで、どれが誰だかわかるように名刺のようなカードめくりが取り付けられているが、前に来たときは気が付かなかった。アイデアはすごく良く、わかりやすいのに「存在」が分かりにくいのは残念だと思った。		36
	タッチパネルだからスマホみたいでたのしかった。		45
	おもしろいです。当時の生活が伺えます。		47
	引き出しを出したりするのは面白い。タッチパネルあつかいづらい。		53
	ボールをタッチすると次の画面に進む仕組みはいいと思う。		97
	タッチパネルは英文も表示されていて良かった。タッチパネルは低いので大人は見ていると疲れる。イスがあると良い(ある所とない所があった)。小さな丸いイスなら、邪魔にならないのでは?		99
	ジオラマの所の解説(セリフ)の色が黒地に白字で気づきにくいと思いました。		83
	タッチパネルはたまに説明文に絵がかぶって見づらかったです。		78
	引き出しは見つけにくいかも(係の方がおしえてくれて初めて知りました)。		71
	引き出しがはじめわからなかった。		118
	引き出しに気が付かない人もいられるかもしれません。タッチパネルは、わかりやすいですね。説明が、どのぐらいの時間続くのか、時間掲示が欲しい。		123

	タッチパネルのネーミングに興味をひく。		124
	案内係の方が来てすぐ教えてくれてよかった。		129
	とくに手の形が入っているものタッチパネルの操作があまりよく分からなかった。 ハンドルを回す映像は面白かった。		132
	引き出しは、もっと気づきやすく！ タッチパネル、映像、ジオラマetcとても楽しめました。 全体に少々暗くて、高齢者はみづらい。		137
D	展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）		
D06	衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ ご意見もあればお聞かせください。		
	はい	77	
	いいえ	8	
	【ご意見】		
	タンスの中など凝っていてよい。		5
	ずっと山梨で住んでいますが、新しく知ることが沢山ありました。		8
	甲州柿など		16
	楽しいです。ただ、「さわってみて」という表示がなく、おそろおそろさわっているお客さんもいました。		35
	子どもといたら喜んでもらえそうです。		97
	導入展示の横のタッチパネルの意図がいまいちわからない。何か説明パネルがほしいかも。		99
	ゲームを同じ人がずっとしてできなかった。		70
	親子連れの方の様子から…親子そろって楽しんでいる様子でした。現代っ子に向いていますね。		123
	時間的にゆとりがないとなかなか楽しむことはむずかしい。		126
	子ども達や家族連れにとってはとても楽しいコーナーでした。		137
D07	本年度から、体験型展示に新しく「かいじあむ寺子屋」がオープンして、体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、「かいじあむ寺子屋」でこんなことができたら…というご意見がありましたら、お寄せください。		
	はい	40	
	いいえ	6	
	利用していない	28	
	【ご意見】		
	読み聞かせ・お手玉など昔の遊び		16
	子ども連れなら楽しそう。自由研究のネタにも良い。		5
	するなら毎週土・日やればいいと思う。開催日に来れないので。		53
	子どもが体験できて、よさそうでした。		103
	「寺子屋広場」にある「いくつ知っていますか？」（リングで留めてあるもの）のコピーサービスが欲しい（切り紙可）。		107
	ゲームを見ていて目が疲れた。		118
D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？		
	はい	48	
	いいえ	39	
	【ご意見】		
	パネルをもっと大きくしないと分かりません。		5
	展示室が禁止と書いてあるので。		29
	もっと大きく知らせた方がいいと思う。		97
	書いておいてほしい。		112
	あらかじめわかるようにしてほしい。		126
	実際にさわったり、着たり、体験しているところを撮影できるので、よい思い出として残せるし、他の人にも紹介できてよいと思う。		137
D09	展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？		
	はい	62	
	いいえ	8	

	【ご意見】		
	もう少しここが解説と分かるように。		35
	しかし、ちょっと子どもが見る時に説明が少し(多分そんなに見てはいないと思いますが)わかりにくかったです。		52
	わからない。		53
	見あたりなかった。セルフガイドとかワークシートとかあるといい。		91
	わかりやすい。		97
	ジオラマのワタ栽培①「県内の産地」はどこだったのですか? 協力員さんの答え「?」・・・その後私にはわかりました。南アルプス市の古い民謡から「昔はワタ今はタバコ海・・・」、②「信玄袋は収蔵されていますか?」協力員さんの答え「『信玄袋』のことを知りませんので一緒に調べさせてください。」→とてもお世話になりました。解説グッズ類とは関係ありませんでした。		107
	大変親切で良かったと思います。		66
	地方病の展示について…実際の写真ですとか、標本があると、もっと伝わって来ます。		123
	解説グッズが何を指しているかわかりません。		124
	よく工夫していると思う。		126
	<ul style="list-style-type: none"> 音声案内があることは大変有効だと思います。 縄文のロープの案内は、できればスイッチで最初からききとれる方がよいと思います。何についての説明なのか、文字や絵がロープについていると手にとりやすいのではないのでしょうか。 音声案内をもっと増やすことはできないでしょうか。 子ども向けの解説がもっと必要だと思います。 「東京日々新聞」何が書かれているのか、ところどころでよいので現在の表記で対比するとわかりやすいです。 		127
	人形の模型(?)を使った展示が良かった。人形の表情がかわいくていい。映像も、甲州弁で話されていてよい(下に共通語も出ているので分かる)。学びの引き出しはよいが、中に何があるのか簡単に説明があるとよい(全部はあけて見られないし、興味あるものを見たい)。学びの引き出しに関わって、その説明が人形に工夫されているのなら一言、人形にしゃべらせるような工夫があるとより分かりやすい。例えば、たばこの展示のところで、人形がたばこをもっているのに気づかなかったので、たばこをもっていることを、気づけるような工夫とか…		132
	英語、中国語、韓国語の表示を少しずつ進めるとよいと思います。		137
	いろいろ工夫されているが、充実しているとまでは言えないと思う。		138
D	展示は楽しめましたか?何かを学ぶことができましたか?(企画展示について) 「クニマスは生きていたー山梨おさかな発見物語ー」展を開催中です。		
D10	今回の企画展は面白かったですか?よろしければ、どんなところが面白かったのか、感想も聞かせてください。		
	はい	78	
	いいえ	2	
	【ご意見】		
	水族館のよう。入ってみてびっくり。新鮮でした。		16
	大人にとって入口近くの展示ケースは、あと10センチメートルくらい高くしないとタイトルなど読めない。透明標本がいい。		17
	水族館とは違った視点で魚を見られて良かった。透明標本が綺麗でした。		5
	透明標本がとても好きなので嬉しいです。		6
	模型が上手だった。		9
	本物の泳ぐ魚を見たくなった。		18
	お寿司屋さんのところ。		12
	いまひとつインパクトが不足していると思います。わくわくする展示の仕方を検討いただきたい。		23
	クニマスがいなかった。何一つ生きて魚がないこと×。		25
	スクリーンは子どもも喜んでいました。		27
	色々な種類の魚を見ることのできるコーナーや映像シアターのスペースが面白い。		35
	めちゃめちゃ面白かった。特に深海魚のビデオは感動した。		36
	おもしろかったけど感想はありません。		45
	忍野の水族館とコラボして関連性を訴えると相乗効果があると思います。		47
	標本に目をひかれた。		48
	今回、わりと工夫してあると思う。		53
	水族館みたいで楽しかった。		91
	クニマスが見つかったことが、偶然が重なっていたことに驚いた。巨大スクリーンが面白い。		97
	ライトアニマルきれいでした。クジラが大きくておどろきました。小さい子どももよろこんでいました。		98
	何とも言えない。海水魚の展示が最初にあり期待と違うと思った。		101

	山梨にも多くの魚が運ばれていたという歴史的な裏付けと具体的な展示がありよかった。		105
	入ったとたんの標本類には「水族館がないさびしさ」。富士湧水の里水族館での企画がよいとも思った。クニマスについては詳しくわかって面白かった。何故ここまで話題になったのか。		107
	大きなスクリーンで実際の大きさのクジラやサメ、マグロがみれてよかったです。		108
	魚の心が(?)が分かっておもしろい!		111
	魚のことをよく知ることができた。		112
	クイズやいろいろなところがおもしろかった。		84
	おさかなクイズ		84
	映像が良かったです。		77
	子どもがクイズで楽しめた。		72
	耳で聞ける紐が良かった。		70
	ガイドツアーをしていただき、とても理解しやすかった。		122
	本物のクニマス標本を見ることができ、よかった。魚くんをゲストに呼ぶと良いと思う。		123
	説明が大変興味深かった。「なぜ西湖なのか」がわかって良かった。		124
	・マグロの消費量 ・クニマス再発見の経緯		125
	こじんまりとした感じがしたが、とても内容が充実していて見ごたえがあった。		126
	ツアーで一つ一ついいに説明していただいたのいでよく理解できました。		130
	魚の展示の仕方や大型スクリーンなどよかった。		131
	説明があったので全体的に興味をもてた。よかった。 なぜ、海の魚の展示をしているのか理由まで説明してくれてなるほどと思った(テーマがよく分かった)。 説明してくれている人の声も大きくて分かりやすかった。		132
	巨大映像や標本に興味をひく。 ガイドの方の説明が詳しくいいいで、1人で見ると内容の理解が深まった。		135
D11	お子さんでも展示を楽しめるように企画展のワークシートを作成していますが、今回のワークシートはわかりやすかったですか?		
	はい	81	
	いいえ	8	
	【ご意見】		
	どちらともいえない。少し難しいかも。		16
	すごい楽しかったです!		19
	勉強になりました。		20
	良いと思います。まだ幼児には難しい。		9
	楽しかったです。		12
	わかりにくい。問題があった。入り口から一番最初の魚の展示では名前が書いてあったらよかった。シアターは、マグロの動きが早くて酔いそう。長く見てられない。		53
	よい内容でした。YBSのビデオはわかりやすくてよかった。見逃したのでここでみられてよかった。		91
	景品もあり、問題をとく面白さがあると思う。		97
	見ていない。		107
	書く内容が長すぎて大変でした。番号とかあると小さい子供でもやりやすいです。		60
	ワークシートは、よく見る、いろいろ気付くきっかけになると思う。		135
D12	今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか?		
	【ご意見】		
	以前やったミシン展/県内の古民家の造りの違い/一つの収蔵品をじっくり読み解く/富士山信仰について		16
	今回の透明標本のような現代アートとのコラボレーション/巡回展示に山梨独自のものを加えた企画		17
	ブドウ・ワインの歴史		6
	恐竜・化石		21
	家族で楽しめるようなものを希望します。		27
	クニマスの展示が8月10日だったのを知らずに見れなくて残念だった。		9
	「駄菓子屋」をテーマにした企画展を希望します。		35
	エネルギー問題関係。		36
	ありません。		45

	古代生活の体験（キャンプなど）。県内の祭りの特集。		47
	企画展はおもしろいけど子ども向けではない。説明も難しい。夏休み子ども向けにするならもう少し考えた方がいいと思う。大人向けならOKですヨ。このままでも。		53
	石や鉱物。		56
	今は特に考えがまとまっていません。		92
	武田信玄と関わった武将（北条、今川、織田、徳川）などについて。		97
	安田義定、大久保長安		101
	かいじあむの畑でとれたワタを使ってのワークショップ		107
	江戸の武士の家などミニチュアでやったらおもしろそうです！（企画ではないが）社会の勉強の支えになるようなものがほしい！		111
	アイドルを過去・現在で企画展をしてほしい。		112
	①山梨の歴史など、しっかり学べるような企画、②自然環境に関する未来を考えられるような企画(例：エネルギー、自然保護)		84
	深海魚		77
	クイズではなく、いろいろなアトラクションを作った方がいい。		74
	中世～近世の山地の生活と信仰		125
	天津司舞の画面がチカチカした感じで、長く見るができなかった。遠くから見た時は良かったので、説明の位置や、映す大きさなどを検討してほしい。		136
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ）		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。		
	はい	34	
	いいえ	36	
	【ご意見】		
	椅子が重たい。関節の病気の人には動かすのが無理。		4
	場所が分かりにくく、少々入りにくいです。		5
	静かなので落ち着いて調べものができます。		35
	入りづらい。		53
	パソコンもあり、本もあり、調べ物があったら良い場所です。		97
	収蔵資料検索で、考古（縄文）で検索したが1件もヒットしなかった。収蔵資料がないのか、あるけど全ての収蔵資料が検索できるわけではないか？どちらでしょうか？		99
	すごかった。		70
E02	古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？		
	はい	20	
	いいえ	27	
	【ご意見】		
	人がいるので。		16
	北斎の富嶽三十六景を全部見られるのが良い。		5
	聞かないとわからないかも。		97
E03	毎月、館内での「古文書相談日」、あなたの町に出前する「出張古文書相談日」のいずれかが開かれていますか、知っていましたか？		
	はい	17	
	いいえ	39	
	【ご意見】		
	とても良いサービス。持っていたら見てもらいたい。		16
	もっと広く伝えた方がいいと思う。		97
E04	もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？		
	はい	35	
	いいえ	17	
	【ご意見】		
	歴史的な価値がなくても、その家にとっては宝だと思うので。		16
	もっとPRしたらどうか。せっかくだし。		53

	ぜひ相談してみたい。		97
	興味があります。		123
	たぶんないが…		128
E05	「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。		
	はい	18	
	いいえ	32	
	【ご意見】		
	せっかくデジタルになっているのだから一般公開（インターネットも）。最低でも県立図書館の端末で見られるようにする。		17
	以前使いました。分からなくてもすぐに見てもらえました。		16
	操作が分かりやすい。		5
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ）		
E06	博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？		
	はい	39	
	いいえ	8	
	【ご意見】		
	機械で簡単にできる。		97
E07	常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？		
	はい	34	
	いいえ	3	
	【ご意見】		
	役に立つと思うけど、今はわからない事はだいたいネット検索なのでその辺りとの兼ね合いが問題。		36
	資料は充実していると思いますが、パッと見何のコーナーかわかりづらい。		83
F	ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？		
F01	ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしていますか、いかがでしたか？		
	よい	23	
	ふつう	36	
	わるい	1	
	利用しなかった	19	
	【ご意見】		
	よく工夫されています。		91
	目玉商品が何なのか分からなかった。		132
F02	レジの対応はいかがでしょう？		
	よい	23	
	ふつう	13	
	わるい	1	
	利用しなかった	30	
	【ご意見】		
	手際が悪い。前回、お釣りをわざわざよれよれの札を選んで渡された。		17
F03	買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？		
	よい	22	
	ふつう	35	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	どこでも売っている物が多い。		4
	手ぬぐい可愛いです。		5
	商品の数が少なかった気がします。		8
	買いたいものはあったが、値段が若干高い気がする。		11

	もっとココだけの限定品も増やして！		111
	イルカのキーホルダーが欲しかった。		84
	富士山ぐいのみがかわいい。		78
	在庫がなかった。		70
	買いたいものがあまりない。 博物館と関係があるの(?)という物があったり統一性がないし、オリジナリティーがなかった。とはいえどう いうものがよいか分からないが…		132
F04	現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ポー ルペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？		
	【ご意見】		
	ジオラマのストラップが欲しいです。サンリーグッズも良いと思います。		5
	タオル・手ぬぐい・帽子		11
	これでよろしい。		45
	思います。		46
	甲州とわかるジオラマのTシャツ。		47
	博物館のオリジナルキャラクターグッズとか？		53
	フィギュアのお土産がほしい。		91
	すごろく（復刻版）		107
	文ぼう品（シャーペン、消しゴム、鉛筆、定規）		111
	博物館オリジナルのアニメのストラップ		112
	クニマスなもの		70
	しおり		123
	学校関係者として、何か教材として使えるようなもので、安いものがあれば買いたい。		132
F05	軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年4月に新しくオープンしました。お店の雰囲気やサービス、メニューや お味、お値段などはいかがでしたか？		
	よい	13	
	ふつう	16	
	わるい	2	
	利用しなかった	31	
	【ご意見】		
	場所が分かりにくい。		5
	お値段が少し高い気がした。		11
	値段が手ごろでよかった。		91
	他の博物館などに比べ安くていいが、オリジナリティーに欠ける気が…。高速道路のパーキングエリアみたいなメ ニューだった。		99
	味はおいしいです。スイーツがあると更によいです。		123
	新しくオープンしたことを知らなかった。知っていたら利用した。		131
F06	軽食・喫茶コーナー「うらら」は、本年7月21日（土）から同9月2日（日）までの夏季期間中は、休館日を除く 毎日営業しておりますが、通常では土・日・祝日のみの営業です。毎日営業してましたら、利用されますか？		
	はい	26	
	いいえ	12	
	【ご意見】		
	来た時に開いていてほしい。		16
	近くに飲食店がないので利用したい。		5
	利用したいです。		11
	利用してみたい。		35
	でも…休みの日だけでもOK！		112
	軽食喫茶コーナーいつ来ても良くない（店員の対応が）。美術館のように桔梗屋グループを入れたらどうか。		67
	利用したいが時間が過ぎていた。また、軽食が充実していない（種類etc）。店員の対応と店内雰囲気がよくない。 早く閉めたがっている。		66
	メニューを増やしてあると良い。		123

F07	オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。		
	はい	32	
	いいえ	24	
	【ご意見】		
	食べたことはない。		16
	春と秋に利用したいです。		5
	明るい環境で良かったです。		44
	気持ちがいい。		91
	今度試してみます。		77
	テラスにテーブルが出ていたので、食事ができることはわかるが夏冬以外はいいと思う。		67
	気候の良い時季は、よいと思います。		123
	テラスのいすにすわった人のズボンが白く汚れてしまっていた。		135
F08	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？		
	はい	18	
	いいえ	43	
	【ご意見】		
	いつか参加してみたい。		16
	妻が知っていた。当日知って参加しようとする予約が必要だったり、お手軽感が薄い（敷居が高い）ところがあると申します。		36
	すごくいい。		46
	せっかくなのでもっとPRしたらどうか。		53
	歩いてみました。		91
G	博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	19	
	ふつう	4	
	わるい	0	
	参加していない	39	
	【ご意見】		
	食文化の何とかに参加したがよかった。		36
	さらに増やしてほしい。		91
	古文書が少し読めて嬉しかった。石高は、いろいろな村の数を見て比べたかった。		124
G02	こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？		
	【ご意見】		
	博物館建設における馴れ初め		29
	いいえ		45
	古写真、昭和30年代の写真の読み解きイベント		91
	特になし		112
	土器づくり体験		117
G03	博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュールガイドブックをショップで販売中です）		
	はい	44	
	いいえ	14	
	【ご意見】		
	数冊買いました。毎回新しいのを購入しています。		16
	参加しています。		91
	歴史が好きなので、もっとほしい！		111

H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？		
	よい	61	
	ふつう	25	
	わるい	0	
	【ご意見】		
	明るい。		16
	すごく上手(^O^)		46
	展示案内の人に話しかけづらい。せっかく子どももたくさんいるので声をかけてあげて欲しい。		53
	丁寧でわかりやすい。		91
	人が多くて正直うざったいです。		93
	オープン当初にはひどい対応をうけてショックを受けましたが、その後はそのようなことは一度もありません。		107
	館内で案内のはずが、アンケートを書いている人が目立った。実習生？		78
	説明が上手でわかりやすい。ご自身が楽しく話をしてくれるので…		123
	よく声をかけてくれた。でも声をかけてほしくない人もいるかもしれない。		132
	とても親切に声をかけてくれた。		135
H02	展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞きましたか？		
	よい	44	
	ふつう	29	
	わるい	1	
	【ご意見】		
	タイミングよく助けてもらいました。		16
	付かず離れずで感じが良いです。		5
	立っているだけ声かけてくれませんでした。		53
	今回は聞けなかった。いつもしているのですか？		91
	「わかりません」・・・わるい 「一緒に調べましょう」・・・よい		107
	堅物キャラの人はあまりよくないと思う。		111
	腕章などわかりやすく、名札ではよくわからない。		118
	やっぱり、自分だけで回るのは、興味をもって見学することができない。楽しい話をしてくれ、分かりやすい説明だったので展示品にも興味ももてた。		132
	展示物の見どころを教えてくださいました。ジオラマの細かい作りなども興味深かったです。		137
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？		
	はい	28	
	いいえ	31	
	【ご意見】		
	とても務まらない。		128
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？		
	はい	34	
	いいえ	4	
	見ていない	35	
	【ご意見】		
	もう少し細かい情報があると楽しい。		16
	屏風の精細画像が良かった。		17
	今何の企画展をしているかわかりやすい。		97
	「お庭」の情報が止まったまま・・・ここ2か月程は見えていませんが…		107
I02	今日、博物館に来る前にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）		
	ホームページ	21	

	かいじあむ通信「交い」	7	
	ちらし	20	
	新聞	7	
	テレビ	6	
	その他(知人からの情報、観光案内、ラジオ、看板、小学校 など)	13	
	なし	16	
I03	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが(http://www.museum-kai.net/)、知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？		
	はい	12	
	いいえ	3	
	見ていない	51	
	【ご意見】		
	寺子屋をもっと増やして下さい。		111
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。		
J01	館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？		
	よい	40	
	ふつう	50	
	わるい	5	
	【ご意見】		
	分かりにくい。		1
	何でかいじあむか知りたい(由来)。		97
	博物館らしい。		112
	あまり館のイメージがわからない。		84
	山梨には適している。		123
J02	入館料(常設展、企画展)は適当ですか？		
	高い	17	
	ふつう	66	
	安い	5	
	【ご意見】		
	ふつう300円くらいでは。		22
	ちょうどいいと思う。他に比べれば安いですよ。		97
J03	1年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポート(ミュージアム甲斐in券)や定期観覧券を知っていましたか？		
	はい	21	
	いいえ	52	
	【ご意見】		
J04	年間パスポート(ミュージアム甲斐in券)や定期観覧券を利用したいと思いますか？		
	はい	28	
	いいえ	53	
	【ご意見】		
	利用している。		107
J05	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	28	
	ふつう	28	
	わるい	1	
	【ご意見】		
	普段レストランが営業していないのが不便。		17
	愛想が良すぎて気持ち悪い。		93
	会話が楽しい。		97

	説明してくれる方がふえた？		129
	あいさつ、声かけ等、親しみやすい雰囲気だった。説明も丁寧でよかった。		135
	以前来た時は何の説明もなかったが、今回はどうすれば展示物を見たり、聞いたりするのかを教えてくれた。		138
J06	博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？		
	はい	53	
	いいえ	13	
	【ご意見】		
J07	もう一度、この館に来たいですか？		
	はい	79	
	いいえ	6	
	【ご意見】		
	企画展も楽しかったので、また違う企画展のときに来たいです。		98
	企画展があれば。		100
	ふつう		112
	今回は時間が短かったので、ゆっくりともう少し詳しく見学してみたい。		132
J08	その他、ご意見がございましたらご記入ください。		
	【ご意見】		
	子どもと来るので、子ども目線の企画を！！		9
	お手洗いの場所がわかりづらい。		23
	アンケートの記入する所が多すぎ。		96
	時計が少ないし、あっても見にくい。		98
	館内で記入するには分量が多すぎる→郵送にしてください。		101
	「お庭の充実」を！		107
	お庭も館内も素敵で、もっと多くの方に来ていただきたいです。また来ます。		84
	館内に時間の表示がない。時間が分かるように時計の設置を願う。		75
	美術館や博物館を見て歩き疲れ、お茶をするのも楽しみの一つと思います。喫茶コーナーはいつそのこと自販機のみにするか、喫茶店に徹するかどちらかにした方がいいと思う。中途半端はよくないです。これだけの建物、そこから見ると外の様子もとてもすてきでした。		67
	暗すぎる環境だと感じました。映像の関係、難しいのでしょうか。		123
	所々に時計があるとよいか。		129
	展示や説明を工夫してあると感じますが、とにかく量が多いので読むのにつかれてしまい最後の方にはみかたも雑になってしまい残念だといつも感じています。説明をしてもらったり、ガイドの機械があるなど耳からも情報が得られると、大人も子どもも多くのもをみる事ができると思いました。		131
	館内に設置されているスタンプコーナーがよかった。子どもとか楽しめると思う。また、応募した絵がスタンプになっているのもいい。		132
	通信簿のことは知っていましたが、来館したこの時に記入するが多く時間がとれませんでした。 *65歳以上無料…来館するごとにチェックと配布ではなく「年間パスポート」にしてほしい。「毎回は苦痛だ」と65歳以上の夫とそのまわりの人々の意見です。		107
	武田信玄ゆかりの展示がある博物館と思って入りましたので、少々残念でした。子どもと一緒にならもっと楽しめたと思います。		109
	通信簿を持って歩くとき書きにくい。下敷きを貸したらどうか。 展示の説明文が多い。読むのが少々疲れる。 交流員さんが地図を作ってガイドをしていた。分かりやすい！		5
	トイレの位置が常設展示から遠い。レストランが分かりづらい。		29
	館内のおいが気になった。何か独特のおいがする。 博物館というとあまり興味がもてなかったが、今日、中を見て、説明をもらったことで楽しいなと感じたのでまた利用したいなと思った。やっぱり、説明があることが興味をもつことへの第一歩かなと思う。説明の方も上手で分かりやすかった。		132
	「通信簿」の企画は良いと思いますが、もう少し簡単なものでよいのではないのでしょうか。このような冊子は、紙も多く使いecoではないように思えます。		136

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものを示す。

■評価結果の分析

通信簿ツアー（以下「ツアー」）は、平成18年度に実施して以来、平成24年度で7回目を迎えた。本事業の実施によって寄せられた利用者からの声に対しては、その都度、可能な限り対応をし、より親しみ易い博物館づくりを継続的に実施してきた。

この結果、「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？」（B02）という設問に対して、「よい」回答率が83.8%、「ふつう」回答率が16.2%を占め、「わるい」という回答は1件もなかった。また、「館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？」（H01）という設問では、「よい」回答率が70.9%、「ふつう」回答率が29.1%となり、「わるい」という回答は同じく1件もなかった。このように、スタッフによる利用者への接遇は、高い評価を得ており、「以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？」（J05）という設問に寄せられた、「あいさつ、声かけ等、親しみやすい雰囲気だった。説明も丁寧でよかった。」「以前来た時は何の説明もなかったが、今回はどうすれば展示物を見たり、聞いたりするのかを教えてくれた。」という回答から、この点に利用者の評価が以前より高まった状況を確認できる。

また、展示については、「室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？」（D05）という設問では、「はい」回答率が91.8%、「いいえ」回答率が8.2%となったほか、「今回の企画展は面白かったですか？」（D10）という設問でも、「はい」回答率が97.5%、「いいえ」回答率が2.5%となり、常設展・企画展とも内容や工夫に対する評価が高かった状況がうかがわれる。

この一方、「途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？」（B05）という設問では、「はい」回答率が38.5%、「いいえ」回答率が61.5%、また「常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。常設展のおすすめ資料を紹介したパネルが展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？」（D02）という設問では、「はい」回答率が47.4%、「いいえ」回答率が52.6%、「資料閲覧室は誰でも自由に入室しますが、入ってみましたか？」（E01）という設問では、「はい」回答率が48.6%、「いいえ」回答率が51.4%となり、いずれも「いいえ」回答率が「はい」回答率を上回った。

このことは、「入場時に説明・案内すればいいのでは。」（B05）、「他の所に設置するのもいいと思う。」（D02）、「場所が分かりにくく、少々入りにくいです。」（E01）などの回答から、県立博物館からの案内の表示場所が利用者の視線に触れにくかったり、説明が不十分であったことに起因すると考えられる。ツアーの結果をふまえて、今後、さらに利用者の視線に立って適切なインフォメーションに改善していく必要があることが判明した。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査・研究」(第Ⅱ編第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。26頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である。

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

(2) 平成24年度利用者状況一覧

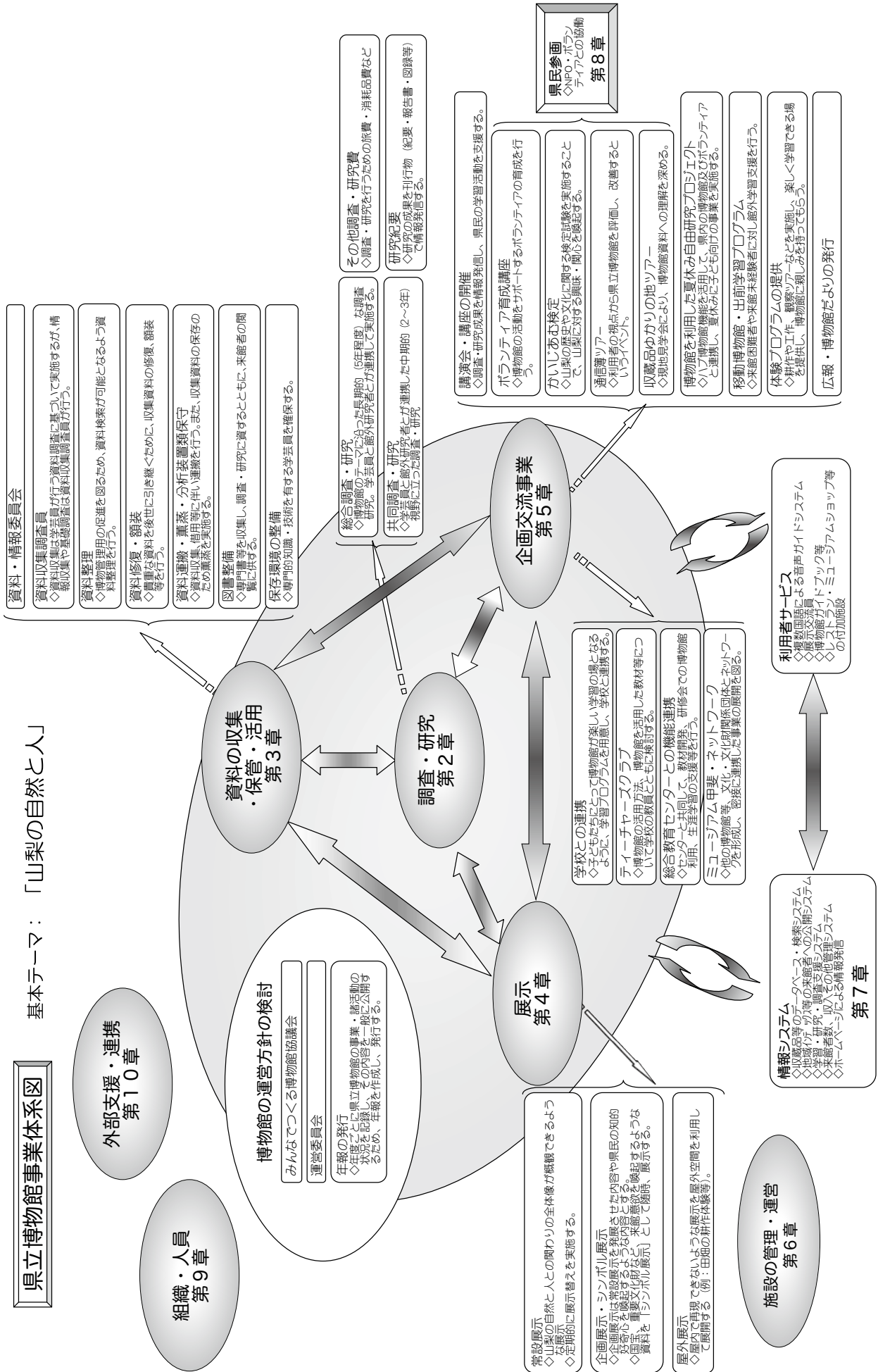
県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用、展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが27～28頁の「平成24年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は平成24年度分(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の実績である。なお()内の数値は平成17年度分から平成24年度分まで、また《 》内の数値は平成23年度分から平成24年度分までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17～24年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収藏品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。

基本テーマ：「山梨の自然と人」

県立博物館事業体系図



資料・情報委員会

資料収集調査員
 ◇資料収集は学芸員が行う資料調査に基づいて実施するが、情報収集や基礎調査は資料収集調査員が行う。

資料整理
 ◇博物館管理の促進を図るため、資料検索が可能となるよう資料整理を行う。

資料修復・封装
 ◇貴重な資料を後世に引き継ぐために、収集資料の修復、封装等を行う。

資料連携・熏蒸・分析装置類保守
 ◇資料収集、保管等に併し、連携を行う。また、収集資料の保存のため熏蒸を実施する。

図書整備
 ◇専門書等を収集し、調査・研究に資するとともに、来館者の関心に応ずる。

保存環境の整備
 ◇専門的知識・技術を有する学芸員を確保する。

総合調査・研究
 ◇博物館のテーマに沿った長期的（5年程度）な調査・研究。学芸員と館外研究者とが連携して実施する。

共同調査・研究
 ◇学芸員と館外研究者とが連携した中期的（2～3年）視野に立った調査・研究。

その他調査・研究費
 ◇調査・研究を行うための旅費・消耗品費など

研究紀要
 ◇研究の成果を刊行物（紀要・報告書・図録等）で情報発信する。

講演会・講座の開催
 ◇調査・研究成果を情報発信し、県民の学習活動を支援する。

ボランティア育成講座
 ◇ボランティア活動をサポートするボランティアの育成を行う。

かいじあひむ検定
 ◇山梨の歴史や文化に関する検定試験を実施することで、山梨に対する興味・関心を喚起する。

通信簿リアー
 ◇利用者の視点から県立博物館を評価し、改善することを目指す。

収蔵品ゆかりの地ツアー
 ◇現地見学会により、博物館資料への理解を深める。

博物館を利用した夏休み自由研究プロジェクト
 ◇利用者の発案を活用して、県内の博物館及びボランティアと連携し、夏休み子ども向けの実践的学習を実施する。

移動博物館・出前学習プログラム
 ◇来館困難者や来館未経験者に対し館外学習支援を行う。

体験プログラムの提供
 ◇制作や工作、観察リアーなどを提供し、楽しく学習できる場を提供し、博物館に親しみを持ってもらう。

広報・博物館だよりの発行

県民参画
 ◇NPO・ボランティアとの協働

第8章

学校との連携
 ◇子どもたちにとって博物館が楽しい学習の場となるよう、学習プログラムを用意し、学校と連携する。

ティーチャーズクラブ
 ◇博物館の活用方法、博物館を活用した教材等について学校の教員ととも検討する。

総合教育センターとの機能連携
 ◇センターと共同し、教材開発、研修会での博物館利用、生涯学習の支援等を行う。

ミュージアム甲斐・ネットワーク
 ◇他の博物館等、文化・文化財関係団体とネットワークを形成し、密接に連携した事業の展開を図る。

利用者サービス
 ◇複数国語による音声ガイドシステム
 ◇展示解説員
 ◇博物館ガイドブック等
 ◇レストラン・ミュージアムショップ等の付加施設

情報システム
 ◇収蔵品データベース・検索システム
 ◇地域連携のための来館者への公開システム
 ◇学習・研究・調査支援システム
 ◇来館者数、収入その他管理システム
 ◇ホームページによる情報発信

第7章

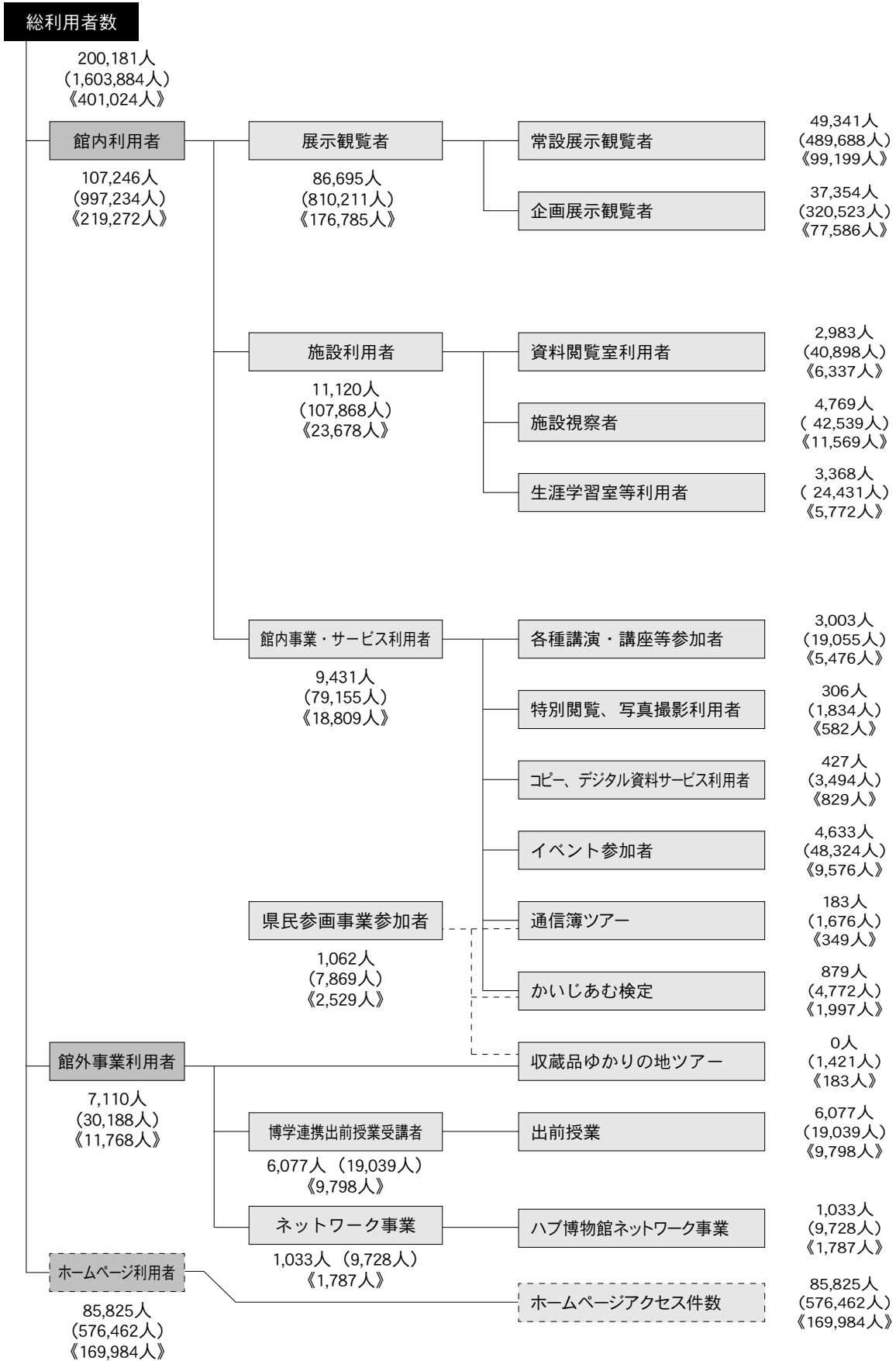
常設展示
 ◇山梨の自然と人との関わりが観覧できるような展示
 ◇定期的に展示替えを実施する。

企画展示・シンボル展示
 ◇企画展示は常設展示を補完させた内容や県民の知的関心を喚起するものなど内容多岐にわたる。
 ◇展示を「山梨文化館」として随時、展示する。

屋外展示
 ◇屋内で再現できないような展示を屋外空間を利用して展開する（例：田圃の耕作体験等）。

施設の管理・運営
 第6章

■平成24年度 県立博物館利用者状況



※ () 内の数値は平成17年度分から平成24年度分までの実績数値の総計である。

※ 《 》 内の数値は平成23年度分から平成24年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から平成24年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a + b + c)													館外利用者					
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)							県立参観事業 取藏品ゆかり の地ツアー	博学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク 事業	ホームページ 利用者		
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講堂・講談会 利用者	特別開覧・ 写真撮影等	コピー・ デジタル資料 サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検 定								
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	計										
143,415	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
221,107	149,254	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
203,261	126,055	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
169,893	97,551	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
233,815	145,172	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449
231,369	145,518	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123
200,843	112,026	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159
200,181	107,246	86,695	49,341	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825
1,603,884	997,234	489,688	320,523	107,868	40,898	42,539	24,431	79,155	19,055	1,834	3,494	48,324	1,676	4,772	30,188	1,421	19,039	9,728	576,462

■24年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

総利用者	館内利用者 (a + b + c)													館外利用者					
	展示利用者 (a)			施設利用者 (b)			館内事業・サービス利用者 (c)							県立参観事業 取藏品ゆかり の地ツアー	博学連携 出前授業 受講者	ハブ博物館 ネットワーク 事業	ホームページ 利用者		
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利用者	施設 視察者	生涯学習室 等利用者	講堂・講談会 利用者	特別開覧・ 写真撮影等	コピー・ デジタル資料 サービス利用	イベント 参加者	通信簿 ツアー	かいじあむ 検 定								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計						
17,414	9,200	8,115	3,833	4,282	769	249	454	66	316	193	20	37	66	0	240	0	240	0	7,974
17,093	9,021	7,266	4,981	2,285	942	277	363	302	813	125	21	23	644	0	504	0	504	0	7,568
12,001	4,974	3,824	3,824	0	810	216	224	370	340	179	17	30	114	0	441	0	441	0	6,586
17,106	8,118	6,442	3,570	2,872	1,157	229	384	544	519	359	39	40	81	0	1,294	0	452	842	7,694
35,972	24,888	20,261	9,082	11,179	2,140	577	1,344	219	2,487	161	24	44	1,855	183	314	0	123	191	10,770
10,945	3,904	3,433	2,583	850	251	132	70	49	220	134	24	23	39	0	84	0	84	0	6,957
18,471	10,195	9,368	5,284	4,084	563	187	293	83	264	155	22	38	49	0	901	0	901	0	7,375
18,644	11,011	8,819	4,461	4,358	1,185	218	450	517	1,007	325	25	42	615	0	817	0	817	0	6,816
6,439	1,740	1,356	962	394	295	84	85	126	89	0	19	20	50	0	323	0	323	0	4,376
12,243	5,422	2,840	2,840	0	827	207	354	266	1,755	553	19	38	600	0	450	0	450	0	6,371
16,982	9,649	7,981	4,137	3,844	1,063	299	268	496	605	103	37	63	288	0	1,075	0	1,075	0	6,258
16,871	9,124	6,990	3,784	3,206	1,118	308	480	330	1,016	716	39	29	232	0	667	0	667	0	7,080
200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	7,110	0	6,077	1,033	85,825

第2章 調査・研究

平成24年度における県立博物館の調査・研究では、外部資金による調査・研究として、日本学術振興会 科学研究費補助金（科研費）による調査・研究は、前年度より4件が継続している（「日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究 [基盤研究B]」、「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究[若手研究B]」、「遺跡出土土の系統分類のための基礎的研究 [同]」、「日本古代・中世期における中部内陸地域の交通・交易体系に関する基礎的研究 [同]」、いずれも平成25年度まで継続）。また、「中世後期の開発・環境と地域社会 [研究成果公開促進費]」（平成24年度）が新たに採択された。

そのほか、「綿織物の再現に向けての基礎的研究」（ポーラ美術振興財団助成金・平成24年度）が実施された。

また、県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」（平成25年度まで継続）のほか、共同調査・研究「等々力万福寺と初期浄土真宗の布教について」（平成25年度まで継続）、「博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質」（平成24年度終了）、「大和郡山市所在 柳沢家関係史料に関する研究」（平成26年度まで継続）の4件を実施した。このうち平成24年度終了の「博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質」の成果は、報告書を刊行するとともに、企画展「黒駒勝蔵 対 清水次郎長一時代を動かしたアウトローたち」（平成25年2月9日～3月18日開催）として提示された。

さらに、各博物館職員がそれぞれの専門分野に応じ個別調査・研究を行っている。それらの結果については、『山梨県立博物館研究紀要』第7集にまとめられている。

加えて、山梨県が実施している山梨県富士山総合学術調査について、平成24年度から事務局を県立博物館に移して第2次調査（平成27年度まで継続）を行い、多くの博物館職員が調査員として参加した。

(1) 外部資金による調査・研究

① 科学研究費補助金 基盤研究（B）「日韓内陸地域における雑穀農耕起源に関する科学的研究」

（課題番号 22320166）

■ 調査・研究の目的

近年、大型植物遺存体、微化石、植物圧痕などの自然科学的研究法が発達し、縄文時代の利用植物の中に、栽培植物と考えられる存在も注目されるようになってきた。本研究では、日本の内陸地域における縄文～弥生時代の植物遺体の調査を行い、雑穀類の出現と展開を明らかにするとともに、石器などの道具類の分析を通じて、その収穫形態や農耕様式を明らかにする。また、日本国外からの渡来した雑穀農耕のルーツを明らかにするため、韓国内の先史～青銅器時代の植物遺体、石器等の分析研究を行う。

以上の調査を踏まえて、改めて両地域の内陸地域における雑穀農耕の起源とその農耕形態を解明することを目的とする。

■ 研究体制

研究代表者 中山誠二（学芸課長）

研究分担者 外山秀一（皇學館大学）、庄田慎矢（独立行政法人奈良文化財研究所）

研究協力者 秋山圭子（釈迦堂遺跡博物館）、網倉邦生（日本考古学協会）、野代恵子（山梨県立考古博物館）、植月 学（山梨県立博物館）、間間俊明（韮崎市教育委員会）、佐野 隆（北杜市教育委員会）、長沢宏昌（日本考古学協会）、中沢道彦（日本考古学協会）、原田 幹（愛知県教育委員会）、保阪太一（南アルプス市教育委員会）、金 炳燮（慶南発展研究院）、金 姓旭（蔚山発展研究院）、兪 炳瑒（ウリ文化財研究院）

■ 活動記録

【国内調査】

- ・平成24年4月～平成25年3月

山梨県、長野県内を中心とした植物圧痕土器の選定、圧痕土器の写真撮影、実体顕微鏡による圧痕写真撮影、圧痕土器の拓本図面作成、レプリカ作成、レプリカのSEM観察

- ・平成24年5月2日（水）

富士吉田市歴史民俗博物館 上暮地遺跡資料調査

- ・平成24年5月27日（日）

日本考古学協会において、「日韓内陸地域における雑穀農耕起源に関する調査」をテーマとしたポスターセッションを行う。

- ・平成24年7月23日（月）
長野県南相木村 大師遺跡出土土器圧痕調査
- ・平成24年8月30日（木）・10月9日（火）
小菅村の畑で、石器によるアワ・キビ収穫実験

【韓国内調査】

- ・平成25年2月17日（日）～23日（土）
韓国内の新石器時代、青銅器時代遺跡の植物圧痕、プラント・オパール、石器使用痕分析調査
調査機関：韓国文化遺産研究院、啓明大学、ウリ文化財研究院、慶南発展研究院
- ・平成25年3月
金泉松竹里遺跡のレプリカの電子顕微鏡による観察、調査

■活動内容と成果

植物圧痕調査では、国内で山梨県上暮地新屋敷遺跡、長野県大師遺跡、韓国で安山大阜北洞遺跡、金泉松竹里遺跡の調査を進めた。プラント・オパール分析調査では、韓国安山大阜北洞遺跡、金泉松竹里遺跡の調査、石器使用痕分析では韓国安山大阜北洞遺跡、鳥山佳長洞遺跡、抱川漢灘江遺跡の石器使用痕分析を行った。

これらの調査研究の結果については、平成24年5月の日本考古学協会総会、平成25年1月の世界考古学会議においてポスターセッションで報告を行った。また、『山梨県立博物館研究紀要』第7集に韓国内の圧痕分析、石器使用痕分析に関する報告を行った。

②科学研究費補助金 若手研究（B）「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究」（課題番号22720259）

■調査・研究の目的

中世から近世にかけての甲府盆地周辺地域を対象にして、人々が自らの生活基盤を守るために育んだ治水・利水技術の変遷・伝播や、それらを駆使して行われた開発行為によって引き起こされた自然環境の変化の状況などを考察し、前近代社会における自然と人間との関係を探る。

■研究体制

研究代表者 西川広平（学芸員）

研究協力者 閻間俊明（韮崎市教育委員会）、数野雅彦（山梨郷土研究会）、斎藤秀樹（南アルプス市教育委員会）、田中大輔（同）、畑 大介（帝京大学文化財研究所）、平山 優（山梨県立中央高等学校）、保阪太一（南アルプス市教育委員会）、村石真澄（山梨県立考古博物館）、山下孝司（韮崎市教育委員会）

■活動記録

- ・平成24年 6月15日（金） 資料調査（八王子市郷土資料館）
- ・平成24年 9月11日（火）～12日（水） 資料調査・現地巡見（和歌山県立博物館、和歌山県伊都郡かつらぎ町）
- ・平成24年11月 8日（木）～9日（金） 資料調査（鳥取県立博物館）
- ・平成24年11月30日（金） 資料調査（八王子市郷土資料館）
- ・平成24年12月19日（水）～20日（木） 資料調査（茨城県常陸太田市個人宅ほか）
- ・平成25年 1月22日（火） 資料調査（八王子市郷土資料館）
- ・平成25年 1月28日（月） 資料調査（市川三郷町 一宮浅間神社）
- ・平成25年 1月30日（水） 資料調査（南アルプス市個人宅）
- ・平成25年 3月14日（木） 文献の確認（中央大学図書館）

■活動内容と成果

本研究は、平成19年度から21年度まで行った当館共同調査・研究「甲斐の治水・利水と景観の変化」の成果をふまえて、平成22年度から開始した研究である。平成24年度は、下記のように、資料データを整理するとともに山梨県内外において資料調査や巡見を行った。

①矢崎真里家文書（南アルプス市 個人蔵）…御勅使川流域の堤防工事に関する古文書を調査

- ②一宮浅間宮帳(市川三郷町 一宮浅間神社蔵)…18世紀半ばの鳥取藩・岡藩(大分県)による甲斐国御手伝普請に関する記録を調査
- ③甲斐国検地帳(山梨県立博物館蔵)…17世紀初頭～後半における土地利用の変化を分析
- ④鳥取藩家老日記・江戸留守居日記(鳥取県立博物館蔵)…甲斐国御手伝普請の記録を調査
- ⑤永田家文書(茨城県常陸太田市 個人蔵)…甲斐国出身者が築造した辰ノ口江堰(常陸大宮市・常陸太田市)に関する古文書を調査
- ⑥八王子市郷土資料館収蔵の治水・利水関係資料を調査
- ⑦和歌山県立博物館収蔵の治水・利水関係資料を調査、文覚井(和歌山県伊都郡かつらぎ町、中世の用水路遺構)の現地巡検

また、本研究の成果の中間発表をかねて、平成25年3月30日(土)から企画展「富士の国やまなし国文祭記念事業「水の国やまなし―信玄堤と甲斐の人々―」が県立博物館で開催された。今後は、平成25年度に予定されている報告書刊行に向けて準備を進めていく。

③科学研究費補助金 若手研究(B)「遺跡出土馬遺体の系統分類のための基礎的研究」(課題番号23701018)

■調査・研究の目的

馬は人・物・情報の伝達手段として、または軍事力の面で、日本史に大きな影響を及ぼしてきた。わが国在来馬の系統については、遺伝学的研究の進展により、モンゴル在来馬と近縁で、単一由来であるとの説が有力である。しかし、在来馬が具体的にどのような歴史をたどってきたのかについて、現生の馬から知り得ることは限られる。各時代にどのような系統の馬が飼育され、それが生産管理や流通形態とどう関連していたのかについては、遺跡から出土する馬遺体をもっとも直接的な証拠となり得る。本研究では上記課題について、出土馬歯の形状解析を軸に解明することを目的とする。

■研究体制

研究代表者 植月 学

研究協力者 津村宏臣(同志社大学文化情報学部)、覚張隆史(東京大学総合博物館)

■活動記録

- ・平成24年4月26日(木)～27日(金)
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団：群馬県内出土古代～中世馬歯の調査
- ・平成24年6月22日(金)～24日(日)
成果発表「輪郭形状解析による出土馬歯の形状分類に関する基礎的研究(2)」(同志社大学文化情報学部・津村宏臣准教授との共同発表)。日本文化財科学会第29回大会(於 京都大学)
- ・平成24年10月18日(木)～19日(金)
八戸市博物館、青森県埋蔵文化財調査センター：青森県内出土古代馬歯の調査
- ・平成24年11月2日(金)～3日(土)
成果発表「臼歯形状解析による遺跡出土馬の系統分類」(同志社大学文化情報学部・津村宏臣准教授との共同発表)。第66回日本人類学会大会(於 慶應義塾大学)
- ・平成24年11月10日(土)～11日(日)
成果発表「日韓古代馬の臼歯形状比較」(高麗大学校考古環境研究所・孫峻鎬氏ほかとの共同発表)。第16回動物考古学研究集会(於 国立歴史民俗博物館)
- ・平成24年11月20日(火)～21日(水)
佐久市教育委員会文化財課、浅間縄文ミュージアム：佐久市・御代田町内出土古代～中世馬歯の調査(東京大学総合博物館・覚張隆史氏との共同調査)
- ・平成25年1月17日(木)～18日(金)
国立文化財機構奈良文化財研究所：奈良県、三重県内出土古代馬歯の調査
- ・平成25年2月15日(金)
明治大学考古学研究室：長野県大室古墳出土馬歯の調査
- ・平成25年2月17日(日)～23日(土)
韓国・三江文化財研究院、ウリ文化財研究院ほか：韓国内三国時代、および朝鮮時代遺跡出土馬など動物

遺体の調査

- ・平成25年3月8日（金）

鎌倉市教育委員会文化財課分室：鎌倉市由比ガ浜中世集団墓地遺跡出土中世馬の調査

- ・平成25年3月14日（木）～15日（金）

佐久市教育委員会文化財課、浅間縄文ミュージアム：佐久市、御代田町内出土古代～中世馬歯の調査（東京大学総合博物館・覚張隆史氏との共同調査）

■活動内容と成果

平成24年度は東日本の馬歯データの収集、解析をさらに進めるとともに、西日本および韓国出土馬の調査にも着手した。以上の作業により、より広域的な視点から我が国の馬の系統と馬産の伝播の経過が明らかになると期待される。

成果については3つの学会において随時発表した。また、前年度実施した鹿児島大学所蔵の現生在来馬標本と東日本遺跡出土標本の調査成果について『動物考古学』30号に投稿した。

最終年度となる次年度はデータの収集をさらに継続するとともに、報告書作成に向けて成果の総括を行う予定である。

④科学研究費補助金 若手研究（B）「日本古代・中世期における中部内陸地域の交通・交易体系に関する基礎的研究」（課題番号23720338）

■調査・研究の目的

多様な自然環境に規定された甲斐・信濃などの中部内陸地域における交通・交易の状況とその特徴について、文献史学・考古学など多角的な考察をとおして、交通・交易を通じて形成された他地域との文化交流のあり方や、日本列島の交通体系における当該地域の位置づけを明らかにすることを目的とする。

■研究体制

研究代表者 海老沼真治（学芸員）

研究協力者 平川 南（山梨県立博物館）、大隅清陽（山梨大学）、杉本悠樹（富士河口湖町教育委員会）、田尾誠敏（東海大学）、鷹野義朗（韮崎市教育委員会）、原 京子（法政大学）、原田和彦（長野市立博物館）、平野 修（帝京大学文化財研究所）、室伏 徹（釈迦堂遺跡博物館）

■活動記録

- ・平成24年 5月20日（日） 研究会・打ち合わせ（山梨県立博物館）
- ・平成24年11月26日（月） 長野県飯田市・阿智村の古代史跡等の踏査
- ・平成25年 2月10日（日） 東国古代遺跡研究会 第3回研究大会参加
- ・平成25年 2月26日（火） 兵庫県上郡町・たつの市 古代山陽道関係史跡の踏査
- ・平成25年 3月 6日（水）～29日（金） 交通関係文献史料のデータ入力作業（山梨県立博物館）

■活動内容と成果

本研究は、平成17年度から19年度まで行った当館共同調査・研究「古代の交易と道」の成果をふまえて、前年度から継続している研究である。平成24年度は、研究会において信濃国の古代遺跡についての事例報告を受け、甲斐国との比較、関係等について調査を進めている。

また、本研究に関する研究会に参加し、情報収集を行うとともに、信濃神坂峠付近の古道関連史跡等の踏査、関連する展示見学を実施したほか、比較事例として山陽道の駅家関連遺跡等の現地調査を実施した。次年度以降も、甲斐・信濃を中心とした現地調査の他、比較事例となる他地域の調査も行う予定である。

このほかに通年で、古代・中世の中部内陸地域交通に関わる文献史料の収集を継続している。次年度以降も史料収集を継続するとともに、収集した史料のデータ入力を行い、体系化を図る予定である。

⑤科学研究費補助金 研究成果公開促進費「中世後期の開発・環境と地域社会」（課題番号 245081）

■調査・研究の目的

近年、自然災害や環境破壊が深刻化する中で、開発の進行を社会の発展として一面的にとらえることが見直されつつあり、人と自然との関わりについて関心が高まっている。日本中世史研究においても、景観の形成や生業の展開などを論じた「環境史」が提唱されており、現代社会における災害や環境をめぐる諸課題に

対応するための視点を提示することが求められている。

本研究は、15・16世紀を対象として、自然条件の影響を受けながら行われた開発が、荘園や村落・家の制度や生業の展開など、地域社会にどのような影響を及ぼしたのか、また、人々が災害や自然の変化などにどのように対応したのかを考察した、研究代表者による研究成果を書籍として刊行するものである。

■研究体制

研究代表者（著者） 西川広平（学芸員）

■活動内容と成果

平成24年12月1日（土）に、『中世後期の開発・環境と地域社会』が刊行された（328頁、有限会社高志書院より出版）。この内容は以下のとおりである。

・序章 中世史研究における開発・環境の視点と本稿の構成

第1部 山野の領域と生業

- ・第1章 畿内周辺山間地域における生業の秩序
- ・第2章 東国山間地域における生業の秩序
- ・第3章 戦国期の山野利用と領主
- ・第4章 山野利用における由緒の創造
- ・補論 甲斐国の金山採掘と金山衆

第2部 「開発と災害への対応」

- ・第1章 井堰の開発と環境
- ・第2章 耕地開発の展開とその担い手
- ・第3章 寺院権力による所領経営と立野の開発
- ・第4章 戦国期における川除普請と地域社会
- ・補論 中世甲斐国における井堰の開発
- ・終章 中世後期の開発・環境と地域社会

⑥ポーラ美術振興財団 平成24年度美術館職員の調査研究助成「綿臙脂の再現に向けての基礎研究（Ⅱ）」

■調査・研究の目的

「綿臙脂」は、ラックカイガラムシから分泌される染料を綿に染み込ませた色材であり、主に中国で生産され日本にも大量に輸入されたが、現在は失われてしまった材料である。綿臙脂は、その独特の色調から他では置き換えることのできない色材であり、絵画や染色、様々な分野においてその再現が待たれる材料である。

本研究では、この綿臙脂を多角的に調査し、その再現を最終的な目的とする。

■研究体制

研究代表者 杓名貴彦（学芸員）

共同研究者 杓名弘美（日本画家）、佐々木良子（京都工芸繊維大学）

■活動記録

- ・平成24年5月～平成25年3月 日本国内に現存する綿臙脂の所在調査
- ・平成24年5月～平成25年3月 綿臙脂関連文献調査
- ・平成24年6月30日 打ち合せ
- ・平成24年7月～平成25年3月 綿臙脂含有成分調査

■活動内容と成果

前年度ポーラ美術振興財団より助成を受けた「綿臙脂の再現に向けての基礎研究」の成果を元に、平成24年度も継続して調査を実施した。

前年度の成果を元に、文化財保存修復学会第34回大会、Dyes in History and Archaeology, DHA31において綿臙脂の歴史的変遷などを報告し、研究者と議論や情報収集を行った。

綿臙脂の所在調査では、新たに武雄市歴史資料館所蔵皆春齋御絵具、九州国立博物館所蔵対馬宗家文書内に、使用年代が明確な綿臙脂を確認した。

文献調査では、絵画や染色以外における綿脂の様々な利用実態や、輸出入の変遷などが明らかとなっており、その解析を今後も継続する予定である。

また、染料、無機成分分析の成果に基づきその他添加物の分析を行った結果、様々な添加物を確認しており、復元に向け原材料の検討を行う必要があることが示された。

⑦ 笹川科学研究奨励賞の受賞

■ 対象研究

財団法人日本科学協会 平成23年度笹川科学研究助成

「博物館資料を活用した小学生向け古文書読解授業プログラムの開発と実践」

■ 助成対象者

高橋 修 (学芸員)

■ 助成期間

平成23年4月1日(金)から平成24年2月10日(金)まで

■ 内 容

日本科学財団では平成19年度より笹川科学研究奨励賞を創設し、助成研究の質的向上を図っている。部門ごとに当該年度の助成研究者の中から優れた研究に対し、奨励賞を授与している。上記助成研究に対し、平成23年度実践研究部門の奨励賞を受賞し、平成24年4月19日(木)にANAインターコンチネンタルホテル東京において授賞式が実施された。

(2) 県費による調査・研究

① 総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」

■ 調査・研究の目的

日韓内陸地域における植物栽培と家畜利用の歴史を比較検討することによって、内陸地域の生業の特質とその成立過程を比較文化的観点から明らかにする。科研費による調査に加え、動物の使用に関する視点を付加することによって、生業全体の復元をはかる。

■ 県立博物館担当職員

中山誠二(学芸課長)、植月 学(学芸員)

■ 共同調査・研究員

秋山圭子(釈迦堂遺跡博物館)、野代恵子(山梨県立考古博物館)、間間俊明(葦崎市教育委員会)、佐野 隆(北杜市教育委員会)、庄田慎矢(独立行政法人奈良文化財研究所)、外山秀一(皇學館大学)、長沢宏昌(日本考古学協会)、中沢道彦(日本考古学協会)、原田 幹(愛知県教育委員会)、保阪太一(南アルプス市教育委員会)、網倉邦生(日本考古学協会)

■ 活動記録

- ・平成24年4月21日(土)～22日(日) 研究会の開催
- ・山梨県内の動物遺存体、植物遺存体の基礎的研究

■ 活動内容と成果

前年調査を行った山梨県屋敷平遺跡の縄文時代晩期終末期におけるアワ・キビ圧痕などの事例、韓国内の金泉智佐里遺跡、華城石橋里遺跡、燕岐大平里遺跡の圧痕分析の成果、山梨県内および韓国内の新石器時代の石器使用痕分析の成果を報告した。

また、新石器時代の生業関連の現状と課題について議論し、科研費の研究の基礎とした。

② 共同調査・研究「万福寺と山梨の浄土真宗」

■ 県立博物館担当職員

近藤暁子(学芸員)、海老沼真治(学芸員)

■ 共同調査・研究員

井澤英理子(山梨県立美術館学芸員)、泉 武夫(東北大学大学院文学研究科教授)、泉 万里(美術史家)

■活動記録

- ・平成24年8月7日（火）～8日（水）
満性寺（愛知県岡崎市）において万福寺同系掛幅法然上人絵伝を調査、妙源寺（同）において掛幅法然上人絵伝等を視察
- ・平成25年2月14日（木）
増上寺（東京都港区）において万福寺本と同系の法然上人絵伝を調査
- ・平成25年2月19日（火）
県立博物館において万福寺本法然上人絵伝を調査
- ・平成25年3月4日（月）
専修寺（三重県津市）において万福寺本と同系の法然上人絵伝を調査
- ・平成25年3月5日（火）
三重県立美術館（三重県津市）において掛幅形式の法然上人絵伝の最初期作例である西導寺本を調査
- ・平成25年3月25日（月）
増福寺（福島県いわき市）において万福寺本と同系の法然上人絵伝を調査

■活動内容と成果

平成24年度は、年度当初に当館所蔵の万福寺旧蔵「法然上人絵伝」に関する論考が発表され（共同調査・研究員井澤氏による）、それをもとに本作品のより発展的な調査がなされた。また、万福寺本に類する諸寺所蔵作品等の調査が行われた。今後はこれらの調査結果をもとに、当館所蔵「法然上人絵伝」に関する新たな成果の上梓はもとより、真宗懸幅絵伝に関するさらなる見解の提示が期待される。

③共同調査・研究「博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質」

■県立博物館担当職員

高橋 修（学芸員）

■共同調査・研究員

高橋 敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）、樋泉 明（山梨県立博物館資料収集調査員）

■活動記録

- ・平成24年4月3日（火）
資料調査（於 笛吹市芦川町上芦川「すずらん湧水」観光企画）博徒取締関係資料の調査
- ・平成24年4月21日（日）
博徒に関する調査報告・研究会開催（於 立正大学）
- ・平成24年6月2日（土）
博徒に関する調査報告・研究会開催（於 立正大学）
- ・平成24年10月30日（火）
博徒に関する調査報告・研究会開催（於 立正大学）
- ・平成24年11月15日（木）
資料調査（於 笛吹市浄源寺・同常在寺・仏陀禅寺）竹居吃安の墓石調査
- ・平成24年12月11日（火） これまでの調査・研究のとりまとめ方針について会議
（於 立正大学）

■活動内容と成果

平成24年度は本共同調査・研究の最後の年度にあたることから、近世期の博徒の活動について調査・研究を行っている研究者と連携を図り、調査報告・研究会を開催した。同会において、これまでの調査・研究成果を踏まえ、その成果と課題について意見交換を行った。

これらの活動内容に基づき、平成25年3月25日に『山梨県立博物館調査・研究報告書6 博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質』として調査研究報告書を刊行した。あわせて平成24年度企画展「黒駒勝蔵 対 清水次郎長 時代を動かしたアウトローたち」展に調査・研究内容を反映させ、県民へその成果の還元を図った。

④共同調査・研究「大和郡山市所在 柳沢家関係史料に関する研究」

■県立博物館担当職員

高橋 修（学芸員）、西川広平（学芸員）、近藤暁子（学芸員）

■活動記録

- ・平成24年10月23日（火） 大和郡山市教育委員会において同所蔵の豊田家史料を調査
- ・平成24年12月11日（火） 永慶寺（奈良県大和郡山市）において、同寺所蔵の「龍華山御建立以来諸色書留 一」を調査

■活動内容と成果

宝永元年（1704）から享保9年（1724）にかけての20年間、甲斐国を柳沢吉保・吉里父子が統治した時代に、甲府城と城下町の整備や検地の実施、新甲金の鑄造、用水路の築造など、近世甲斐国の基盤がつくられた。ところが、柳沢家の甲府から大和郡山への転封にともなう資料の移動などにより、当時の状況は必ずしも明らかとなっていない。

本研究では、平成23年度に県立博物館で開催した企画展「柳沢吉保と甲府城」に際して発見された、吉保の菩提寺永慶寺所蔵の資料や柳沢家の旧家臣に伝わった豊田家史料などの調査をとおして、柳沢時代の甲斐国の状況を考察することを目的とする。

平成24年度はその初年度にあたり、これまで所在が確認されていたが未調査であった資料の調査を行った。具体的には、豊田家史料のうち、幕府法令の覚書や次期将軍に内定していた徳川家宣への献上品の目録、甲州道中宿駅の本陣図面など6点の資料を調査した。また永慶寺所蔵の「龍華山御建立以来諸色書留 一」は、同寺の由緒と什物などを挿図入りで記載したものであり、これまで（財）郡山城史跡・柳沢文庫保存会の所蔵品のみ確認されていた。

今後も引き続き、調査を継続していく予定である。

(3) 個別調査・研究

①職員の調査・研究成果

番号	調査・研究テーマ	概要	担当職員
1	富士信仰の造形に関する研究 －彫像を中心として－	富士信仰にまつわる造形（特に彫像を中心として）とその変遷から、富士信仰そのものの有り様と、それを取り巻く社会的状況について考察する。	近藤暁子
2	印章の起源に関する研究	インダス式印章のレプリカを走査電子顕微鏡で観察し、その技法の検討を行った。	中山誠二
3	武田氏系図に関する研究	中世、近世につくられた甲斐源氏や武田氏に関する系図資料の成立状況を探るとともに、彼らの由緒がどのように形成され、受け継がれてきたのかを考察する。	西川広平

②調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
平成24年 4月3日(火)	笛吹市 個人蔵博徒関係資料1点の調査・解説	高橋 修
4月11日(水)	甲府市 個人蔵古文書の調査	海老沼真治
4月12日(木)～13日(金)	同志社大学歴史資料館 同志社大学寒梅館地点出土遺物調査	杵名貴彦
4月18日(水)	東京藝術大学附属図書館 後藤家文書調査、国立歴史民俗博物館 色付復元資料調査	杵名貴彦
4月19日(木)	東京大学史料編纂所 大判座後藤家史料調査、東京大学文学部 分銅座後藤家資料調査	中山誠二・杵名貴彦
4月24日(火)～25日(水)	東京大学史料編纂所 後藤家関係資料等の調査	海老沼真治
4月26日(木)～27日(金)	群馬県内古代遺跡出土馬遺体調査(群馬県埋蔵文化財調査事業団)	植月 学
5月2日(水)	富士吉田市歴史民俗博物館 上暮地遺跡資料調査	中山誠二
5月28日(月)	甲府市 個人蔵「荻原家資料」49点を調査、目録作成	高橋 修
5月28日(月)～29日(火)	国立科学博物館 絵巻研究会色付実験	杵名貴彦
5月30日(水)	甲府市 個人蔵「池谷家資料」44点を調査、目録作成	高橋 修
6月2日(土)	山梨県立考古博物館 宮沢中村遺跡・二本柳遺跡出土品の調査	西川広平
6月4日(月)	山梨県立考古博物館	高橋 修
6月10日(日)	山梨市 個人蔵博徒関係資料及び同市内西源寺におちて博徒の墓石調査	高橋 修
6月13日(水)	甲府市 個人蔵軍靴の調査	高橋 修
6月15日(金)	八王子市郷土資料館 治水・利水関係資料の調査	西川広平
7月1日(日)	静岡県富士宮市 富士山村山口・村山浅間神社大日堂開山祭調査	堀内 眞・近藤暁子・春原史寛
7月4日(水)	甲府市 個人蔵甲府49連帯施設瓦の調査	高橋 修
7月18日(木)～12月7日(金)	甲府市 個人蔵「埴原直直関係資料」230点を調査、目録作成	高橋 修
7月19日(木)	富士河口湖町 仏像調査	堀内 眞・近藤暁子
7月23日(月)	長野県南相木村 大師遺跡出土土器圧痕調査	中山誠二
7月26日(木)	山梨県立考古博物館 甲府城出土金箔瓦の調査	海老沼真治
7月26日(木)～10月3日(水)	甲府市 個人蔵「菊島家資料」589点を調査、目録作成	中山誠二・高橋 修
7月28日(土)	身延町 中山金山遺跡 現地調査	中山誠二・海老沼真治
8月1日(水)	埼玉県和光市 税務大学校租税史料室 大日本租税志の調査・撮影	海老沼真治
8月7日(火)～8日(水)	富士山 富士山登拝行事(富士講)調査	堀内 眞・春原史寛
8月15日(水)	富士吉田市 北口本宮浅間神社調査	堀内 眞・近藤暁子
8月27日(月)	千葉県千葉市 放送大学附属図書館 日本図の調査・撮影	海老沼真治
8月30日(木)	小菅村 石器による雑穀収穫実験・調査	中山誠二
8月30日(木)	南アルプス市 小熊野堤出土馬遺体調査	植月 学
9月11日(火)～12日(水)	和歌山県立博物館 治水・利水関係資料の調査等	西川広平
9月19日(水)	東京都 浮世絵調査	近藤暁子
9月28日(金)	東京都 個人蔵近代人物館関係資料の調査	高橋 修
10月9日(火)	小菅村 石器による雑穀収穫実験・調査	中山誠二
10月10日(水)	笛吹市 個人蔵一宮村村政関係資料14点の調査	中山誠二・高橋 修
10月18日(木)～19日(金)	青森県内古代遺跡出土馬遺体調査(八戸市博物館・青森県埋蔵文化財調査センター)	植月 学
10月22日(月)	富士山御中道・大沢三柱神社調査(富士山総合学術調査)	堀内 眞・春原史寛
10月24日(水)	京都市 瑞泉寺 角倉了以・素庵像の調査	西川広平
10月25日(木)	中央市 慈照寺仏像調査	近藤暁子
10月25日(木)～11月23日(金)	笛吹市 個人蔵「山本家資料」資料161点の調査、目録作成	高橋 修
10月31日(水)	市川三郷町 市川大門村絵図の調査	西川広平
10月31日(水)	身延町歴史民俗資料館 和紙製造道具の調査	西川広平
11月8日(木)	山梨市 個人蔵「依恩借後納定」の調査	高橋 修
11月8日(木)～9日(金)	鳥取県立博物館 鳥取藩家老日記等の調査	西川広平
11月15日(水)	笛吹市浄源寺・同常在寺・仏陀禅寺において博徒の墓石調査	高橋 修
11月15日(水)	南アルプス市ふるさと文化伝承館 明治廿九年度水害関係書・御影村水害図の調査	西川広平
11月17日(土)	笛吹市 個人蔵大隈重信書状1点の調査・解説	高橋 修
11月18日(日)～19日(月)	京都市内大堰川上・中流域地域の史料調査	西川広平
11月21日(水)	長野県内古代～中世遺跡出土馬遺体調査(佐久市教育委員会、御代田町浅間縄文ミュージアム)	植月 学

年 月 日	内 容	担当職員
11月23日(金)～24日(土)	日本植生史学会参加	中山誠二
11月26日(月)	長野県阿智村 交通関係史跡の現地調査	海老沼真治
11月28日(水)	埼玉県 個人蔵書額2点の調査・解説	高橋 修
11月29日(木)	富士吉田市 西念寺所蔵絵画・彫刻・版木類調査(富士山総合学術調査)	堀内 真・近藤暁子・春原史寛
11月30日(金)	八王子市郷土資料館 治水・利水関係資料の調査	西川広平
12月2日(日)	宮城県 黒川神社仏像調査(東北大学調査)	近藤暁子
12月4日(火)	静岡県埋蔵文化財調査センター 上土遺跡(立石地区)出土木製品の調査	西川広平
12月5日(水)	南アルプス市 個人蔵「廣瀬家資料」の調査	高橋 修
12月10日(月)	東京学芸大学 イヌキビに関する調査	中山誠二
12月12日(水)	奈良文化財研究所 平城京左京一条三坊大路出土木製品の調査	西川広平
12月15日(土)	本栖湖周辺遺跡調査	中山誠二・堀内 真・植月 学
平成25年1月8日(火)	北杜市 個人蔵 窪田幸左衛門像・測量器の調査	西川広平
1月10日(木)	甲府市 仏像調査	中山誠二・近藤暁子
1月16日(水)	山梨県立考古博物館 宮沢中村遺跡・二本柳遺跡出土品の調査	西川広平
1月17日(木)～18日(金)	奈良・三重県内古代遺跡出土馬遺体調査(奈良文化財研究所)	植月 学
1月20日(日)～26日(土)	沖縄県内各地 綿臙脂関連資料調査	杵名貴彦
1月22日(火)	八王子市郷土資料館 治水・利水関係資料の調査	西川広平
1月23日(水)	大阪府箕面市 個人蔵 浅川伯教関連資料調査	春原史寛
1月25日(金)	身延町久遠寺 本朝文料他の調査	近藤暁子・海老沼真治
1月27日(日)	山梨県立考古博物館 大師東丹保遺跡出土品・平田宮第二遺跡出土品の調査	西川広平
1月28日(月)	市川三郷町一宮浅間神社 一宮浅間宮帳の調査	西川広平
1月30日(水)	南アルプス市 個人蔵 矢崎真里家文書の調査	西川広平
2月15日(金)	長野県 大室古墳出土馬遺体調査(明治大学考古学研究室)	植月 学
2月17日(日)	神奈川県 鎌倉国宝館資料調査(東北大学調査)	近藤暁子
2月17日(日)～23日(土)	韓国内古代～近世遺跡出土動物遺体調査(ウリ文化財研究院ほか)	植月 学
2月17日(日)～23日(土)	韓国内新石器～青銅器時代の植物圧痕調査 韓国文化遺産研究院、啓明大学、福泉博物館調査	中山誠二
2月22日(金)	静岡県富士宮市 仏像調査	近藤暁子
2月25日(月)	九州国立博物館 対馬宗家文書調査	杵名貴彦
2月26日(火)	兵庫県上郡町、たつの市 交通関係史跡の現地調査	海老沼真治
2月26日(火)	武雄市歴史資料館 皆春齋御絵具調査	杵名貴彦
2月27日(水)	長崎歴史文化博物館 輸入目録調査	杵名貴彦
3月8日(金)	鎌倉市内中世遺跡出土馬遺体調査(鎌倉市教育委員会)	植月 学
3月14日(木)	滋賀県 個人蔵家系図資料1点の調査	高橋 修
3月14日(木)	中央大学図書館 各市町村自治体史の文献確認	西川広平
3月14日(木)～15日(金)	長野県内古代～中世遺跡出土馬遺体調査(佐久市教育委員会、御代田町浅間縄文ミュージアム)	植月 学

(4) 調査・研究成果の公表

① 博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

② 博物館職員の調査・研究実績

■ 論文・調査報告など

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
植月 学	現利根川河口部を中心とした動物資源利用—余山貝塚の動物遺体—	『考古学ジャーナル』627	ニュー・サイエンス社	平成24年5月30日
植月 学・ 三浦 久・ 高橋 修	田沢湖のクニマス漁業と孵化・移植事業	『山梨県立博物館研究紀要』第7集	山梨県立博物館	平成25年3月23日
植月 学 他	白歯形状による遺跡出土馬の系統分類の試み	『動物考古学』第30号	動物考古学研究会	平成25年3月31日
海老沼真治・ 渡部浩二	総論「黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山—」	『黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山—』 展示図録	「黄金の国々」展 実行委員会	平成24年10月4日
海老沼真治	御館の乱に関わる新出の武田勝頼書状	『戦国史研究』65号	戦国史研究会	平成25年2月15日
海老沼真治	『甲陽軍鑑』における金の使用事例	『山梨県立博物館研究紀要』第7集	山梨県立博物館	平成25年3月23日
杵名貴彦	金粒子付着遺物からみた金生産技術	『黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山—』 展示図録	「黄金の国々」展 実行委員会	平成24年10月4日
杵名貴彦	博多遺跡群出土の金銀生産関連遺物の科学調査について	『福岡市埋蔵文化財センター年報』第31号	福岡市教育委員会	平成25年2月28日
杵名貴彦	甲府城下町遺跡出土金属生産関連遺物の調査について	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第288集『甲府城下町遺跡』	山梨県教育委員会	平成25年3月25日
杵名貴彦	東京大学経済学図書館所蔵の古金銀貨幣の科学調査について	『東京大学経済学部資料室年報』第3号	東京大学経済学部資料室	平成25年3月31日
近藤暁子	甲斐源氏の造像—武田家所縁、三組の阿弥陀三尊像をとおして—	『論集 東洋日本美術史と現場—見つめる・守る・伝える』	竹林舎	平成24年5月15日
近藤暁子	彫刻に表現された富士山信仰	山梨県立大学観光講座2012「富士山世界遺産講演会」	山梨県立大学	平成25年3月30日
春原史寛	「浅川伯教・巧兄弟の生涯」補遺—芸術家・浅川伯教と教育・文学・キリスト教—	『山梨県立美術館研究紀要』26・27合併号	山梨県立美術館	平成25年3月29日
高橋 修	他の博物館・大学等との共同調査研究 調査研究の成果公表と還元	大堀 哲・永嶋英治編著『新博物館学教科書 博物館学Ⅰ』	学文社	平成24年4月20日
高橋 修	山梨県地方史研究の動向 近世・近現代史・民俗学関係	『信濃』64-6号	信濃史学会	平成24年6月20日
高橋 修	山梨県立博物館における評価・改善の実践とその意義	『博物館研究』47-12	日本博物館協会	平成24年11月25日
高橋 修	小学生向け古文書読解プログラムの開発・実践とその意義	『JMAA会報』64・65	日本ミュージアム・マネジメント学会	平成25年3月31日
高橋 修	小学生向け古文書読解プログラム開発の意義と効果	『日本ミュージアム・マネジメント学会研究紀要』17	日本ミュージアム・マネジメント学会	平成25年3月31日
高橋 修	甲州博徒の資料論	『調査研究報告書6 博徒の活動と近世甲斐国における社会経済的特質』	山梨県立博物館	平成25年3月25日
高橋 修	甲州博徒抗争史論	『山梨県立博物館研究紀要』第7集	山梨県立博物館	平成25年3月23日
高橋 修	山梨県立博物館のジオラマの楽しみ方68～82(連載)	『まちミュウ友の会会報』88～93	特定非営利活動法人つなぐ	平成24年4月～ 平成25年2月
中山誠二	博物館資料と調査研究活動 館種別調査研究	大堀 哲・永嶋英治編著『新博物館学教科書 博物館学Ⅰ』	学文社	平成24年4月20日
中山誠二	植物栽培と栽培植物	『山梨県考古学協会誌』第21号	山梨県考古学協会	平成24年5月26日
中山誠二	山梨県における植物質食料の利用	『縄文中期の繁栄』	長野県考古学会	平成24年6月23日
中山誠二	博物館資料の活用—博物館建設を踏まえて	青木 豊編『人文系博物館資料論』	雄山閣	平成24年8月25日
中山誠二	博物館展示の形態と方法 歴史民俗系博物館	大堀哲・永嶋英治編著『新博物館学教科書 博物館学Ⅱ』	学文社	平成24年12月20日

第Ⅱ編 事業・諸活動

氏名	名称	掲載誌名	学会（発行者）	発行年月日
中山誠二・佐野隆	縄文時代終末期のアワ・キビ圧痕	『山梨県考古学協会誌』第21号	山梨県考古学協会	平成24年5月26日
中山誠二・庄田慎矢ほか	韓国内の雑穀農耕起源の探求	『山梨県立博物館研究紀要』第7集	山梨県立博物館	平成25年3月23日
原田幹・中山誠二ほか	石器による収穫実験と使用痕	『山梨県立博物館研究紀要』第7集	山梨県立博物館	平成25年3月23日
西川広平	山梨県地方史研究の動向 総論・古代・中世	『信濃』64-6号	信濃史学会	平成24年6月20日
西川広平	『中世後期の開発・環境と地域社会』		高志書院	平成24年12月1日
西川広平	『水の国やまなし』展示図録		山梨県立博物館	平成25年3月30日
西川広平	近世甲斐国における川除普請―鳥取藩・岡藩による御手伝普請をめぐって―	『山梨県立博物館研究紀要』第7集	山梨県立博物館	平成25年3月23日

■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
植月学・津村宏臣	輪郭形状解析による出土馬歯の形状分類に関する基礎的研究(2)	日本文化財科学会第29回大会	京都大学	平成24年6月23日(土)
植月学	動物考古学からさぐる縄文時代の食事	東京都埋蔵文化財センター 第2回文化財講演会	東京都埋蔵文化財センター	平成24年9月22日(土)
植月学	富士五湖の漁業の歴史	山梨県立大学2012年観光講座「富士山 世界遺産登録へ」	山梨県立大学	平成24年10月20日(土)
植月学・津村宏臣	白歯形状解析による遺跡出土馬の系統分類	第66回日本人類学会大会	慶應義塾大学	平成24年11月2日(金)
植月学・孫 峻・庄田慎矢・津村宏臣	日韓古代馬の白歯形状比較	第16回動物考古学研究会	国立歴史民俗博物館	平成24年11月10日(土)
植月学	戦前のクニヌ移植	京都大学総合博物館クニヌ講演会	京都大学総合博物館	平成24年11月24日(土)
植月学	海のめぐみと余山貝塚―動物遺体からみた縄文時代の生業と環境―	銚子市まるごと再発見「銚子・今昔物語り」	銚子市青少年文化会館	平成25年2月2日(土)
植月学	余山貝塚の漁労活動	下郷コレクションの由来と霞ヶ浦の貝塚	明治大学	平成25年2月16日(土)
海老沼真治	甲斐源氏と山梨の歴史―武田氏を中心に―	大学コンソーシアムやまなし やまなし観光カレッジ	健康科学大学	平成24年6月21日(木)
海老沼真治	新発見の古文書から見る山本菅助	立正大学同窓会山梨支部 公開講座	ベルクラシック甲府	平成24年7月7日(土)
海老沼真治	武田信玄と山本菅助	山梨文化学園 歴史文化教室	山梨文化会館	平成24年7月21日(土)
香名弘美・香名貴彦・佐々木良子・佐々木健	縮緬脂の再現に向けての基礎研究(1)―縮緬脂の歴史の変遷―	文化財保存修復学会第34回大会	日本大学	平成24年6月30日(土)
Hiromi Kutsuna, Takahiko Kutsuna et al	Study of Enji:Red Dyes for Cosmetics, Medicine and Colours	Dyes in History and Archaeology, DHA31	Antwerp	平成24年10月18日(木)
近藤暁子	彫刻に表現された富士山信仰	山梨県立大学2012年観光講座「富士山 世界遺産登録へ」	山梨県立大学	平成24年10月13日(土)
春原史寛	北斎が描く、甲州犬目峠	県東部JR8駅トレッキング推進協議会記念イベント 記念講演会	上野原市文化ホール	平成24年10月6日(土)
高橋 修	博物館資料を活用した小学生向け古文書読解授業プログラムの開発と実践	笹川科学研究奨励賞受賞研究発表会	ANAインターコンチネンタルホテル東京	平成24年4月19日(木)
高橋 修	甲斐における博徒取締令	博徒研究会	立正大学	平成24年6月2日(土)
高橋 修	小学生向け古文書読解プログラムの開発・実践とその意義	日本ミュージアム・マネジメント学会第17回大会	東京家政学院大学	平成24年6月3日(日)
高橋 修	甲州博徒抗争史論	博徒研究会	立正大学	平成24年10月30日(火)
高橋 修	甲州博徒の幕末維新	甲府城下町を語る会	男女共同参画推進センター	平成25年2月16日(土)
高橋 修	甲斐国の大賑わいの日―甲府道祖神祭礼―	山梨県生涯学習推進センター	男女共同参画推進センター	平成25年2月22日(金)
高橋 修	シンポジウム「山梨のまつり」	山梨県生涯学習推進センター	男女共同参画推進センター	平成25年3月15日(金)
中山誠二	日韓内陸地域における雑穀農耕起源に関する調査研究	日本考古学協会	立正大学	平成24年5月27日(日)

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
中山誠二	山梨県における植物質食料の利用	長野県考古学会	岡谷市文化ホール	平成24年6月24日(日)
中山誠二	日韓におけるイネ・アワ・キビの農耕の拡散に関する現状と課題	考古学研究会東海例会	静岡大学	平成24年8月4日(土)
中山誠二	植物考古学からみた中部地方のアワ・キビ農耕の開始	雑穀研究会	小菅村公民館	平成24年9月2日(日)
中山誠二	山梨県の博物館ネットワークと災害対応	文化庁公開承認施設会議	都道府県会館	平成24年10月12日(金)
中山誠二	植物考古学からみた日韓の農耕起源問題	縄文時代後期の稲作農耕空間探求研究会	愛媛大学	平成24年10月14日(日)
中山誠二	縄文時代の栽培植物研究	山梨郷土研究会	談露館	平成24年12月1日(土)
Seiji Nakayama, Shinya Shoda et al	New evidence of Neolithic Millet Cultivation in the inland area of the Korean Peninsula.	World Archaeological Congress	Jordan	平成25年1月18日(金)
西川広平	山梨の歴史と観光資源－甲斐源氏を事例に－	大学コンソーシアムやまなし やまなし観光カレッジ	山梨学院大学	平成24年6月5日(火)
西川広平	武田家の由緒の創造－系図の作成をめぐって－	武田神社崇敬会	常磐ホテル	平成24年10月15日(月)
西川広平	武田から徳川へ－戦国甲斐の終末－	かふふ歴史倶楽部	甲府市総合市民会館	平成24年10月29日(月)
西川広平	武田信玄と穴山三代	山梨文化学園	山梨文化会館	平成24年12月8日(土)
丸尾依子	現代社会の中の道祖神祭り	やまなし再発見フォーラム	山梨学院大学	平成25年1月13日(日)

■ 県立博物館館内研究会

日時	報告者	内容
平成24年6月7日(木)	春原史寛	浅川兄弟の生涯
7月26日(木)	海老沼真治	新発見の武田勝頼書状の紹介
8月2日(木)	高橋 修	甲州博徒 西保の周太郎伝
10月11日(木)	古屋和彦	県立博物館の博学連携事業
11月30日(金)	古屋和彦	平成23年度の国後島の様子
12月13日(木)	堀内 真	山梨県の道祖神
平成25年3月15日(金)	高野玄明	福寺遺跡発掘成果速報

③ 刊行物

名称	発刊日	体裁
『山梨県立博物館研究紀要』第7集	平成25年3月23日	A4版、100頁
『山梨県立博物館調査・研究報告6 博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質』	平成25年3月25日	A4版、80頁

(5) 富士山世界文化遺産学術調査・研究

■ 調査・研究の目的

富士山の世界文化遺産登録に向けた第1次学術調査・研究は平成20年度から23年度にわたって実施され、富士山総合学術調査研究報告書が刊行された。第2次調査は、県立博物館に事務局を移し、平成24年度から27年度にかけて、世界文化遺産登録後を見据え継続して実施している。

■ 富士山総合学術調査研究委員会委員

- 石田千尋 (文学部会・山梨英和大学教授)
- 上杉 陽 (自然環境部会・都留文科大学名誉教授)
- 菊池邦彦 (歴史考古民俗部会・東京都立産業技術高等専門学校教授)
- 清雲俊元 (歴史考古民俗部会・山梨県文化財保護審議会会長)
- 萩原三雄 (歴史考古民俗部会・帝京大学文化財研究所所長)
- 濱田 隆 (有形文化財部会・山梨県立美術館元館長)
- 福田アジオ (歴史考古民俗部会・山梨県文化財保護審議会委員)

■ 県立博物館担当職員

- 植月 学 (学芸員、歴史考古民俗部会考古班)
中山誠二 (学芸課長、歴史考古民俗部会考古班)
海老沼真治 (学芸員、歴史考古民俗部会文書班)
高橋 修 (学芸員、歴史考古民俗部会文書班)
西川広平 (学芸員、歴史考古民俗部会文書班)
宮澤富美恵 (職員、歴史考古民俗部会文書班)
丸尾依子 (学芸員、歴史考古民俗部会民俗班)
近藤暁子 (学芸員、有形文化財部会)
春原史寛 (学芸員、有形文化財部会)
堀内 眞 (職員、事務局)

■ 主な活動記録

【委員会】

- ・平成24年6月7日(木) 第1回
- ・平成25年2月9日(土) 第2回

【研究会】

- ・平成24年12月2日(日)
望月秀和「富士火山に埋められた遺跡―上中丸遺跡調査報告」(帝京大学文化財研究所・歴史考古民俗部会調査員)
- 石川 博「富士の絵画を文学からみる」(駿台甲府小学校・文学部会調査員)

【各部会の開催】

- ・歴史考古民俗部会(考古・宗教考古班)
平成24年11月13日(火) 帝京大学文化財研究所(第1回)
平成25年1月24日(木) 帝京大学文化財研究所(第2回)
- ・歴史考古民俗部会(文書班) 平成24年7月7日(土) 県立博物館
- ・歴史考古民俗部会(民俗班) 平成24年12月3日(月) 富士河口湖町河口地区公民館
- ・有形文化財部会 平成24年11月29日(木) 吉積山西念寺
- ・部会合同調査 平成24年8月20日(月)～21日(火) 御中道

【博物館の関連調査】

- ・富士山村山口調査 平成24年7月1日(日)
- ・富士講(萬福講)登拝行事調査 平成24年8月6日(月)～7日(火)
- ・公開発表会(シンポジウム) 平成25年3月24日(日) 富士河口湖町河口地区公民館
タイトル 「富士山信仰の拠点・河口の神社と町を考える
―歴史学・考古学・民俗学・建築学から探る登拝拠点―」
内 容 基調講演「河口の御師と町」菊池邦彦(委員)
報告1「河口地区の遺跡」杉本悠樹(富士河口湖町教育委員会文化財主事・歴史考古民俗部会調査員)
報告2「河口御師集落の民俗」浅野久枝(同志社女子大学嘱託講師・歴史考古民俗部会調査員)
報告3「富士山信仰の御師住宅」北川 洋(東京農工大学非常勤講師・歴史考古民俗部会調査員)

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

氏名	職名	専門分野
安達 文夫	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
飯田 文彌	山梨郷土研究会常任理事	近世史・郷土史
小島 孝夫	成城大学教授	民俗学
笹本 正治	信州大学副学長	中世史
鈴木麻里子	甲府市文化財審議委員	美術史
谷口 一夫	山梨県考古学協会会長	考古学
濱田 隆	山梨県立美術館元館長	美術史
堀内 眞	富士吉田市教育委員会生涯学習課長	民俗学

※平成24年7月1日（月）に小島孝夫氏が堀内眞氏の後任として委員に委嘱された。

■平成24年度の資料情報委員会開催状況

- ・平成24年10月24日（水）第15回委員会を開催
8件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

平成24年度に収集した資料は、次表の通りである。

■購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	諸国名所百景 甲州矢立杉 (二代歌川広重筆)	二代広重の手による連作。大判85枚未完。初代広重没後7か月後より制作が始められたもので、襲名後間もない時期の作品。版元は初代の「名所江戸百景」を出版した魚屋栄吉。本作は甲州街道笹子峠の矢立杉を描いたもので、大木を旅人が囲む様子を描く。	安政6年（1859）	1枚

■寄贈

	資料名	特徴	制作期	員数
1	大砲の弾	慶応4年(1868)の柏尾戦争の際に、甲陽鎮撫隊が官軍に打ち込んだ不発弾。	江戸時代	1点
2	大砲の弾	勝沼の旧家所蔵。慶応4年(1868)の柏尾戦争の際に、甲陽鎮撫隊が官軍に打ち込んだ不発弾とされる萩原家資料と同型式であり、同じ由来と推測される。信管を伴う。	幕末	1点
3	野沢昌康氏旧蔵資料	山梨県の郷土史研究の泰斗野沢昌康氏が生前に収集した古文書。米倉村(笛吹市)の訴訟文書や甲斐国絵図などがあるが、多くは「明史」などの中国の古典籍が占める。	江戸時代中期～近代	476点

■寄託

	資料名	特徴	制作期	員数
1	武田信玄願文	武田信玄が越後の上杉輝虎(謙信)の滅亡と、自身の関東出陣の戦勝等を祈願し、成就すれば諏訪南宮神社を永く保護することを誓った文書。『山梨県史』資料編4-886号	元亀元年(1570)	1点
2	諏訪南宮神社屏絵	諏訪南宮神社本殿の扉に描かれた松・杉等の図。武田信玄の弟信廉(逍遙軒信綱)の筆によるものと伝えられる。	戦国時代(16世紀)か	1組
3	久保川家資料	県立博物館に近接する下平井村(笛吹市)にまつわる村政文書・絵図からなる資料群。	近世～近代	26点
4	大般若波羅密多經	日枝神社に伝わる大般若経。全600巻のうち、463巻が現存するほか、巻数不明の断簡が残る。年紀は延徳4年(1492)から文亀3年(1503)にかけてのものが約150巻と集中している。	室町時代を中心とする	463巻

(3) 資料の整理・目録(データ)化

平成24年度は、新規収集した資料に加え、平成17年度に県立図書館より移管した資料(約85,000点)のうち17,000点の中性紙封筒入替作業、7,400点のデータ修正、2,300点のデータ作成を行った。また、収集資料を目録(データ)化する作業を進め、登録データの公開作業も随時進めている。

■資料の整理

新規に収集した未整理の資料等について、目録作成、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業である。平成24年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、7～8月、1～2月の2回整理作業員を雇用し、新規収集資料の整理を実施した。また、6～2月まで緊急雇用3人により、収蔵庫の整理、収蔵資料の点検、データ修正等を行った。

■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2か年でマイクロ化・デジタル化を実施した。

本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開した。

撮影点数：23,019点(510,518コマ)

■図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成25年3月13日現在の登録件数は39,544点となっている。

(4) 資料の修復・管理

①資料の修復

■修復資料

1. 竹邨三陽筆「甲斐御嶽新道・御坂図」三幅対、絹本着色、江戸時代
左幅124.6×56.4cm、中幅124.1×56.4cm、右幅124.5×56.6cm

2. 「陶弘景聴松図」重要文化財、紙本墨画淡彩、室町時代（15世紀）、90.0×24.9cm

■資料の重要性

1. 竹邨三陽筆「甲斐御嶽新道・御坂図」

- 竹邨三陽は幕末における山梨を代表する文人画家。本図は新たに開鑿された御嶽新道（昇仙峡）と、御坂峠からながめた富士と河口湖を描いたもの。山梨の名所や旅、文化を紹介するための好資料である。

2. 「陶弘景聴松図」

- 山中に隠棲するという理想の境地を描く詩画軸。賛を書いた天与清啓は、建仁寺の僧であり、遣明使節として中国に渡ったことがある当時の最先端の文化人であった。禅宗文化の状況をよく示す資料である。

■修復者

- 株式会社 墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1-4-4（修復作業所：同左）

■修復の内容

1. 竹邨三陽筆「甲斐御嶽新道・御坂図」

- 修復前の状況は、表具全体にわたり強い折れが発生し、折れ山の小口が割れて肌裏紙からの剥離が起きていた。また、表具の虫損、画面全体への染みの発生が見られ、全体に糊の劣化が進んで裏打紙が浮いてきていた。
- このため、肌裏紙まですべてを打ち替える根本修理を行った。兎膠水溶液による絵具の剥落止め、精製水の滴下と吸い取りによる染みの除去を行った。ただし、過度のクリーニングは本紙自体に負担がかかると判断、積極的なクリーニングは行わないこととした。
- 旧肌裏紙には墨色の美濃紙が使用されており、画面全体が暗い印象であった。新肌裏紙には染めていないもの、また増裏紙はわずかに墨色に染めたものを使用し、学芸員の立ち会いにより本紙の明るさの調整を行った。
- 表具・保存箱はすべて新調した。

2. 「陶弘景聴松図」

- 修復前の状況は、折れが発生していた。
- このため、現状の表具の横折れを軽減するために、桐太巻添軸と新たな桐屋郎箱を製作して納入した。また、新調した屋郎箱、旧箱を並べて納入できる中性紙箱を新調した。

②資料の保存環境管理

県立博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

■温湿度管理

県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いている。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なもの

は80ルクス以下、土器や金属器等あまり注意しなくてよいものは150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

(5) 資料の活用

県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民・博物館利用者の学習や調査・研究等に活用するために、資料・情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日より開始した即日閲覧は、利用者に好評であり、96件611点を提供した。また、従来からの事前申請による原資料閲覧が、古文書等を中心として10件73点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で22件130点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、171件717点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、7件41点の館外貸出を行った。

■平成24年度歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数	4件	5件	4件	16件	8件	10件	8件	10件	3件	5件	13件	10件	96件
	点数	11点	16点	4点	62点	13点	292点	15点	26点	6点	12点	39点	115点	611点
歴史資料等閲覧	件数	2件	0件	1件	0件	1件	3件	1件	0件	0件	0件	1件	1件	10件
	点数	21点	0点	19点	0点	1点	3点	24点	0点	0点	0点	2点	3点	73点
歴史資料等撮影	件数	2件	0件	2件	2件	0件	1件	2件	1件	1件	0件	7件	4件	22件
	点数	4点	0点	2点	3点	0点	1点	4点	23点	2点	0点	51点	40点	130点
未登録歴史資料	件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	点数	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点	0点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	10件	15件	9件	21件	15件	9件	10件	14件	14件	14件	16件	24件	171件
	点数	35点	37点	16点	116点	16点	68点	18点	30点	27点	46点	245点	63点	717点
歴史資料等貸出	件数	2件	0件	1件	1件	0件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	7件
	点数	6点	0点	11点	3点	0点	3点	6点	0点	12点	0点	0点	0点	41点

第4章 展 示

(1) 常設展示

平成24年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応するとともに、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容とすることを図った。また、秋期企画展「黄金の国々ー甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山ー」に連動したテーマを設定することにより、展示全体に一体感をもたせ、来館者の循環を促すよう図った。

■展示資料一覧

・展示期間

- ①平成24年2月22日（水）から平成23年4月16日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
- ②平成24年4月18日（水）から平成24年6月18日（月）まで
展示テーマ「山梨の馬」
- ③平成24年6月20日（水）から平成24年8月20日（月）まで
展示テーマ「富士は日本一の山」
- ④平成24年8月22日（水）から平成24年10月15日（月）まで
展示テーマ「資料で巡る山梨の旅」
- ⑤平成24年10月17日（水）から平成24年12月17日（月）まで
展示テーマ「金と貨幣」
- ⑥平成24年12月19日（水）から平成25年2月18日（月）まで
展示テーマ「お正月は、博物館で初詣」
- ⑦平成25年2月20日（水）から平成25年4月22日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行っている。

【出品資料一覧】

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
自然の森の中で				
柱野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲州市重郎原遺跡出土縄文土器（藤内式土器）	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦（鬼瓦）	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦（平瓦・丸瓦）	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺墨書土器	奈良	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
郷名墨書土器「石禾東」	平安	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
郷名墨書土器「玉井郷長」	平安	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」（複製）	奈良	山梨県立博物館（佐久市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本廃寺 瓦	白鳳	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①（複製）	奈良	山梨県立博物館（奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②（複製）	奈良	山梨県立博物館（奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)	◎	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	奈良	山梨県立博物館(奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	奈良	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	奈良	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横刃板鋌留短甲(複製)	古墳	山梨県立博物館(市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
古柳塚古墳 馬具	古墳	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬下顎骨	古墳	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳	山梨県立博物館(東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳 馬具	古墳	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平林2号墳太刀、鉄鍬一括	古墳	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
日本書紀	享和3年(1803)	個人		②
東都歳時記	天保9年(1838)	山梨県立博物館		②
水に取り組む				
雨乞いの仏像		清水寺		①②③④⑤⑥⑦
祓いの人形(上野晴朗氏収集資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
流し籠(上野晴朗氏収集資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
石尊祭の籠束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸	山梨県立博物館(個人)		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
釜無川氾濫の図(複製)		長遠寺		①②③④⑤⑥⑦
入戸野村絵図(内藤家資料)	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
新版出水くどき(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
藤木村鹿絵図(星野家資料)	寛政4年(1792)	甲府市		①②
徳川家康朱印状(星野家資料)	天正10年(1582)	甲府市		①②
下平井村絵図(久保川家資料)	嘉永6年(1850)	個人		③④⑤⑥
延享三年寅正月ノ村鑑明細改帳(久保川家資料)	寛政7年(1795)	個人		③④⑤⑥
上連雀町駆付人足札(甲州文庫)	文化10年(1813)	山梨県立博物館		⑦
戦国からのメッセージ				
徳川家康禁制(南松院資料)	天正10年(1582)	南松院		①
織田信長禁制(今沢家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		②
織田信長禁制(本庄家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		③④
富士講経巻(村上派4世藤原月旺御見抜書写本)	天和3年(1683)	山梨県立博物館		③
富士登山人改帳(本庄家文書)	天保9年(1837)	山梨県立博物館		④
武田信豊書状	室町(16世紀)	個人		⑤⑦
伊奈忠次・大久保長安連署状(今沢家文書)	江戸(17世紀)	山梨県立博物館		⑤
徳川家奉行人連署状(今沢家文書)	室町(16世紀)	山梨県立博物館		⑥
徳川家朱印状	天正10年(1582)	山梨県立博物館		⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
武田晴信感状（三井家資料）	弘治3年（1557）	山梨県立博物館		⑦
勝山記写本	江戸	個人（寄託）		①②③④⑤⑥
妙法寺記	江戸	山梨県立博物館		⑦
筒粥神事の道具	平成17年（2005）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
平成24年度筒粥占標（小室浅間神社）	平成24年（2012）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
平成25年度筒粥占標（小室浅間神社）	平成25年（2013）	山梨県立博物館		⑦
山に生きる				
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状（田辺家資料）	永禄3年（1560）	山梨県立博物館	○	①②⑦
武田家朱印状（田辺家資料）	天正9年（1581）	山梨県立博物館	○	③④
佐渡金銀山絵巻	江戸	山梨県立博物館		⑤⑥
甲州金（古甲金一朱判）	江戸（17世紀）	山梨県立博物館		⑤
甲州金（一分金 甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
穴山信友判物（佐野家資料）	弘治3年（1557）	個人（寄託）		①②
江戸城西之丸御用絵板（佐野家資料）	天保9年（1838）	個人（寄託）		①②⑤⑥⑦
富士山道しるべ	万延元年（1860）	山梨県立博物館		③④
富士山裾野入会場伐木一札（甲州文庫）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		③
材木伐出図巻	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		④
穴山信君判物（佐野家資料）	天正8年（1580）	個人（寄託）		⑤⑥⑦
大鋸	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
市川御用紙入札につき覚（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		①
甲斐叢記	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①⑦
新規紙渡稼願書控（甲州文庫）	文久2年（1862）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
並山日記（若尾資料）	嘉永3年（1850）	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
柘・焼き鍔	明治以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装（再現品）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
里にくらす				
煙草包装紙	明治22年（1889）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草庖丁	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
煙草箱	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
千野村絵図（複製）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍馬帽	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬ブラシ		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
諸法秘密之伝（櫻井家資料）	文政13年（1830）	個人		①②③④⑤
新年挨拶の書状（河野家資料）		個人		①②③④⑤
名主入札帳（上條氏収集資料）	万延2年（1861）	個人		①②③④⑤
旧暦正月元日右二御座候（埴原正直関係資料）	明治	個人		⑥⑦
記憶法伝習筆記 全（埴原正直関係資料）	明治27年（1894）	個人		⑥⑦
理科試験答案（埴原正直関係資料）	明治26年（1893）	個人		⑥⑦
甲陽御嶽新道之図（頼生文庫）	江戸	山梨県立博物館		①②③④
仙嶽關路図	安政元年（1854）	山梨県立博物館		①②③④
猪狩村新道切開御寄付御連名帳	天保12年（1841）	山梨県立博物館		①②③④
敵討甲斐名所記（甲州文庫）	文政4年（1821）	山梨県立博物館		①②③④
博徒盗賊取締仰付につき請印帳（甲州文庫）	慶応2年（1866）	山梨県立博物館		①②③④

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
長田円右衛門感謝祭二付写真	昭和28年(1953)	個人		⑤⑥
差上申一札之事	天保4年(1833)	個人		⑤⑥
乍恐書付ヲ以奉願上候	天保13年(1842)	個人		⑤⑥
仙嶽關路図(大木家資料)	安政元年(1854)	山梨県立博物館		⑤⑥
上粟生野村黒川金山に付書上一札	延享2年(1745)	山梨県立博物館		⑤⑥
矢立(高室家資料)	天保11年(1840)	個人		⑦
城下町の賑わい				
稲荷曲輪出土瓦	江戸(17世紀)			①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡出土鯉瓦(復元品)	江戸	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
高札	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木簡		甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
数寄屋曲輪出土大型円形瓦	室町(16世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
輪宝	江戸(17世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
人質曲輪出土桐文様瓦	室町(16世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
本丸出土花菱紋瓦	江戸	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
時の鐘撞料前金受取(甲州文庫)	安永3年(1774)	山梨県立博物館		①②③
甲州道祖神話(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		①②③④
印伝屋ちらし(上野晴朗氏収集資料)	慶応3年(1867)	山梨県立博物館		①②③
道祖神祭礼御条目請印帳(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		①
八日町牡丹亭金升菓子店包紙(大木家資料)		山梨県立博物館		①
鳴海屋領収書		山梨県立博物館		①
時の鐘撞料前金受取(甲州文庫)	明和2年(1765)	山梨県立博物館		①②③
甲府廓内堅近習町柳町屋敷割図(頼生文庫)		山梨県立博物館		①②
道祖神祭礼旧式悪例に付願書(甲州文庫)		山梨県立博物館		①②
新年賀状(大木家資料)		山梨県立博物館		①②③④
敵討瓦版(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		①②③④
府中伝馬に付柳町定(甲州文庫)	寛永13年(1636)	山梨県立博物館		②③④
伝馬人足控帳(甲州文庫)	明和5年(1768)	山梨県立博物館		②③
御高札写(甲州文庫)	延享2年(1745)	山梨県立博物館		②③
大日本麦酒株式会社三十年史 抜萃	昭和11年(1936)	山梨県立博物館		③④
野口酒造ビール商標	明治	山梨県立博物館		③④
野口酒造ビール広告	明治	山梨県立博物館		③④
甲府買物独案内(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
山梨県特産物説明(甲州文庫)	明治45年(1912)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
生石灰砂利等に付書上(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
山梨県下各家商業便覧銅版(甲州文庫)		山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
江戸幕府奉行人連署状写(若尾資料)	慶長13年(1608)か	山梨県立博物館		⑤⑥
甲金由来書(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		⑤⑥
古甲金吹替につき触書(甲州文庫)	宝永4年(1707)	山梨県立博物館		⑤⑥
甲金相場書上(甲州文庫)	天明2年(1782)	山梨県立博物館		⑤⑥
甲金増方願書控(甲州文庫)		山梨県立博物館		⑤⑥⑦
簪(広瀬家資料)		個人		⑤⑥⑦
商家建家図面(大木家資料)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		⑦
甲斐国産美術水晶細工品略図(山本家資料)		山梨県立博物館		⑦
甲斐国産水晶細工販売品(山本家資料)		山梨県立博物館		⑦
甲斐国産水晶細工発売広告(山本家資料)		山梨県立博物館		⑦
変貌する景観				
絹糸(蕨糸検査事務所資料)	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
山嶽の糸（繭糸検査事務所資料）	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府勸業試験場出土ワイン瓶	明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
堀田本七十一番職人歌合	江戸	山梨県立博物館		①②⑤⑥
七十一番職人歌合	江戸	山梨県立博物館		③④⑦
離別一札之事（太田家資料）	明治6年（1873）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
小沼燃糸株式会社新築工場図（上條氏収集資料）	大正	個人		①②③④⑤⑥⑦
工場調査ニ関スル件ニ付回答（上條氏収集資料）	大正13年（1924）	個人		①②③④⑤⑥⑦
信仰の足跡				
役行者像（複製）	鎌倉（12世紀）	山梨県立博物館（円楽寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒（複製）	康和5年（1103）	山梨県立博物館（東京国立博物館）	◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品（釘、古銭、鏡、薙鎌）	平安～明治	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
地藏菩薩立像	乾元2年（1303）	個人		①②③④⑤⑥⑦
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻（複製）	平安	山梨県立博物館（個人）		①②③④⑤⑥⑦
愛染明王坐像（複製）	平安（12世紀）	山梨県立博物館（放光寺）	◎	①②③④⑤⑥⑦
章駄天像	南北朝	個人		①②③④⑤⑥
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図（甲州文庫）①	江戸	山梨県立博物館		①
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図（甲州文庫）②	江戸	山梨県立博物館		⑦
聖観音菩薩立像	鎌倉	山梨県立博物館		⑦
富士山牛玉	江戸	山梨県立博物館		③
蔵王権現立像	平安	山梨県立博物館	○	②③④⑤⑥
甲斐を駆ける武士たち				
関東下知状（複製）	応長元年（1311）	山梨県立博物館（大善寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
長寛勘文写本（複製）	江戸	山梨県立博物館（熊野神社）	◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品（複製）	建久8年（1197）	山梨県立博物館（個人）	○	①②③④⑤⑥⑦
『小笠原流故実伝書』（水島ト也）	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
『犬追物図説』（伊勢貞丈）	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
諏訪神号旗（複製）	室町（16世紀）	山梨県立博物館（恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗（複製）	室町（16世紀）	山梨県立博物館（恵林寺）	○	①②③④⑤⑥⑦
小桜韋威鍔 兜・大袖付（桶無鍔）復元品	平安・鎌倉	山梨県立博物館（菅田天神社）	●	①②③⑤⑥⑦
土佐光起筆 武田信玄・上杉謙信像	元禄元年（1688）	山梨県立博物館		①
武田晴信書状（市河家文書）	弘治3年（1557）	山梨県立博物館	○	①⑦
武田家朱印状（市河家文書）	永禄11年（1567）	山梨県立博物館	○	①⑦
甲陽軍鑑（甲州文庫）	江戸（17世紀）	山梨県立博物館		①
木馬	江戸	長禅寺		②③
「おかふと」の木型（甲州文庫）	江戸～明治	山梨県立博物館		②③
信玄公御屋形図	江戸	山梨県立博物館		②⑦
武田晴信書状	室町（16世紀）	山梨県立博物館		②
武田勝頼書状	天正8年（1580）	山梨県立博物館		②
武田晴信像（複製）	室町	山梨県立博物館（持明院）		③⑥
武田二十四将図	江戸	山梨県立博物館		③
曾我物語（大木家文書）	江戸	山梨県立博物館		③
源平合戦図屏風	江戸	山梨県立博物館		④
大般若波羅蜜多經 卷四五八	貞治4年（1365）	山梨県立博物館		④
武田信玄書状	室町（16世紀）	山梨県立博物館		⑤
上杉謙信書状	室町（16世紀）	山梨県立博物館		⑤
武門便幼	宝暦7年（1757）	山梨県立博物館		⑤
穴山不白（信君）判物（南松院資料）	天正9年（1581）	南松院	○	⑤
武田信玄書状	室町（16世紀）	山梨県立博物館		⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
上杉景勝判物（市河家文書）	室町（16世紀）	山梨県立博物館	○	⑥
直江兼続書状（市河家文書）	室町（16世紀）	山梨県立博物館	○	⑥
大久保忠高書状（三枝家資料）	江戸（17世紀）	山梨県立博物館		⑥
山本勘助像	江戸	山梨県立博物館		⑦
川を彩る高瀬舟				
鯉沢河岸跡 ガラス瓶	明治～大正	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋		山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土遺物	江戸～明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土動物遺体	江戸～明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土泥面子	明治	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
納経帳（高野家資料）	江戸	個人		①②③④⑤⑥
鯉沢御蔵敷付人足札（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		⑦
道がつなぐ出会い				
歌川広重筆 甲陽猿橋之図	天保13年頃(1842)	山梨県立博物館		①
猿橋模型	昭和59年（1984）	山梨県立博物館		④⑤
武田信玄出陣之図（甲州文庫）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①
信州和田塩尻峠合戦図（甲州文庫）	江戸（19世紀）	山梨県立博物館		①
武田信玄陣立書	室町（16世紀）	山梨県立博物館		①
水戸御用木札（南松院資料）	江戸	南松院		②
御朱印御用木札（南松院資料）	江戸	南松院		②
甲州南松院木札（南松院資料）	江戸	南松院		②
水戸御用旗（南松院資料）	江戸	南松院		②
水戸様御由緒筆記（南松院資料）	江戸（19世紀）	南松院		②
水戸前中納言烈公様御逝去納経記録（南松院資料）	万延元年（1860）	南松院		②
ニホンオオカミ頭骨	江戸～明治	個人		①②⑦
市川村暴瀉病流行日記	安政5年（1858）	山梨県立博物館		①②⑦
神犬御札	現代	個人		①②
疫病退散に付差紙	安政5年（1858）	山梨県立博物館		①②⑦
暴瀉病薬方書	安政5年（1858）	山梨県立博物館		①②⑦
安政五年午八月朔日より同下旬まで 流行病にて死失の者並煩居候者取調帳	安政5年（1858）	山梨県立博物館		①②⑦
暴瀉病療治方町触写	安政5年（1858）	山梨県立博物館		①②⑦
金桜神社境内図	江戸末期以降	山梨県立博物館		⑦
歌川貞秀筆 大日本富士山絶頂之図	安政4年（1857）	山梨県立博物館		③
二代歌川国輝筆 富士山諸人参詣之図	江戸	山梨県立博物館		③
富士山北口全図 鎮火大祭	明治30年（1897）	山梨県立博物館		③
隔搔録（「富岳記聞」）	江戸	山梨県立博物館		③
右左口人形	江戸	宿区	○	③
徳川家康朱印状（右左口区有文書及び関連資料一括）	天正10年（1582）	宿区	○	③
石櫃（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③
鑑札（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③
焼小手（右左口区有文書及び関連資料一括）	江戸	宿区	○	③
河内道恒肖像画（河内家資料）	江戸	山梨県立博物館		④⑤⑥
河内よし肖像画（河内家資料）	江戸	山梨県立博物館		④⑤⑥
神道廻山布美（甲州文庫）	江戸	山梨県立博物館		④⑤
河内源氏一流系図（河内家資料）	江戸	山梨県立博物館		⑥
古府中絵図	慶応4年（1868）	山梨県立博物館		⑥⑦
八日市場 市場之図	寛政5年（1793）	山梨県立博物館		⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
鞍	江戸	山梨県立博物館		⑥⑦
木喰作 不動明王像	寛政元年 (天明9年・1789)	山梨県立博物館		①
木喰作 弘法大師坐像	寛政13年 (享和元年・1801)	山梨県立博物館		②③④⑤⑥⑦
渥美短頸壺	平安(12世紀)	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
新巻常滑大甕	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
駒橋出土埋藏銭	室町	個人		①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸焼	鎌倉	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
躑躅ヶ崎館跡出土陶磁器	室町	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
灰釉皿	室町	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
東原 常滑甕	鎌倉	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
無紋碗	室町	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
江戸文化の往来				
平栗村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	①
奈良子村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	②
和見村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	③
戸沢村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	④
奥山村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑤
桑久保村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑥
駒宮村絵図(森嶋家資料)	文化3年(1806)	都留市	◇	⑦
甲斐国志写本	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
三代歌川豊国筆 謙信武田ノ旗本へ乱入之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川芳員筆 永禄四年九月川中嶋大合戦	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川芳虎筆 天文二十三年武田上杉川中嶋大合戦図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川貞秀筆 川中嶋大合戦之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川芳綱筆 西条山(妻女山)引返之図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川国芳筆 武田上杉川中嶋大合戦図	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川貞秀筆 川中嶋大合戦・川中島・真田昌幸筑摩川一番乗	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		①
歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧(複製)	天保12年(1841)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑦
曾我物語図屏風のうち右隻「富士巻狩図」	江戸	山梨県立博物館		②
飾馬図	江戸	山梨県立博物館		②
馬百態図	江戸	山梨県立博物館		②
鬣毛図解(きもうずかい)	江戸	山梨県立博物館		②
二代歌川広重筆 鴻ノ台図屏風(大木コレクション)	江戸末期	山梨県立博物館		③
二代歌川広重筆 鴻ノ台図屏風 画稿(大木コレクション)	江戸末期	山梨県立博物館		③
狩野宗信筆 富士図(大木コレクション)	江戸	山梨県立博物館		③
三枝雲俗筆 御嶽道絵巻	弘化4年(1847)	山梨県立博物館		③
甲州道中図屏風	江戸後期	山梨県立博物館	○	④
撫子図屏風(大木コレクション)	江戸前期	山梨県立博物館		⑤
木村武山筆 白菊図(大木コレクション)	明治以降	山梨県立博物館		⑤
森寛斎筆 高雄紅葉山水図(大木コレクション)	明治以降	山梨県立博物館		⑤
中西耕石筆 墨蘭・墨竹図(大木コレクション)	江戸後期	山梨県立博物館		⑥
谷文晁筆 松梅図(大木コレクション)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		⑥
日根対山筆 墨竹図(大木コレクション)	江戸後期	山梨県立博物館		⑥

第Ⅱ編 事業・諸活動

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
三枝雲岱筆 歳寒三友図扇面(大木コレクション)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		⑥
野口小嶺筆 歳寒三雅図扇面(大木コレクション)	大正3年(1914)	山梨県立博物館		⑥
中丸精十郎筆 早春雪景図(大木コレクション)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑥
佐竹永湖筆 富岳遠望図屏風(大木コレクション)	江戸末期~明治	山梨県立博物館		⑥
狩野派 桃鳩図(大木コレクション)	天保13年(1842)	山梨県立博物館		⑦
十時梅厓筆 春景山水図(大木コレクション)	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		⑦
矢野橋村筆 桃花峯図(大木コレクション)	大正10年(1921)	山梨県立博物館		⑦
福田浩湖筆 桃源郷図(大木コレクション)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		⑦
近藤東来筆 覚円峰図(大木コレクション)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑦
源季俊筆 雛図(大木コレクション)	江戸(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
転換期に向き合う				
東京日々新聞(甲州文庫)	明治5年(1872)	個人		①②③④
天保騒動の瓦版(甲州文庫)	江戸	山梨県立博物館		①②③④⑤
天保騒動の一揆進行の絵図(複製)		個人		①②③④⑤⑥⑦
西八代郡鴨狩津向村略図(頼生文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		①
去申御廻米清水湊日掛仕揚帳(甲州文庫)	嘉永2年(1849)	山梨県立博物館		①
禪宗門人別改帳(甲州文庫)	天保2年(1831)	山梨県立博物館		①
堀田本七十一番職人歌合	江戸	山梨県立博物館		②
無宿盗賊取締御請証文(甲州文庫)	安政6年(1859)	山梨県立博物館		③④
無宿悪党取締方の仰渡しにつき請書(甲州文庫)	天保11年(1840)	山梨県立博物館		③④
取替一札之事(渡邊家資料)	安永5年(1776)	山梨県立博物館		③④
煙草入		個人		⑤⑥⑦
大砲の弾	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
勝沼隼近藤勇驍勇之図(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
近世侠客有名鏡	明治	山梨県立博物館		⑥⑦
巨富を動かす				
横浜御開港に付外人江甲州産物交易方願書控(篠原家文書)	安政6年(1859)	山梨県立博物館		①②
神名川横浜新開港図	万延元年(1860)	山梨県立博物館		①
甲州産物書上帳(篠原家文書)	安政6年(1859)	山梨県立博物館		①②
横浜篠原忠右衛門より伊兵衛・安右衛門・松次郎宛書簡(篠原家文書)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		①②
横浜忠右衛門より東油川村武左衛門・息正次郎宛書簡(篠原家文書)	元治2年(1865)	山梨県立博物館		①②
若尾逸平扇面	明治	山梨県立博物館		①②
若尾逸平銅像模型	明治	山梨県立博物館		①②
おもちゃ籠	大正4年(1915)	山梨県立博物館		①②
おもちゃ籠 補遺	大正5年(1916)	山梨県立博物館		①
小説練糸痕 公私月報第47号付録(甲州文庫)	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		①②⑥
練糸痕につき宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和	山梨県立博物館		①②⑥
宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		①②
昭和時代のベンチ	昭和	個人		①②
甲府駅発車時間表(三井家文書)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		①②
甲州屋の横浜進出に関する書簡(篠原家文書)	安政6年(1859)	山梨県立博物館		③④⑤
富士山麓開発に関する意見(甲州文庫)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		③
富士山北口図絵(甲州文庫)	大正12年(1923)	山梨県立博物館		③④⑤
貴族院多額納税者議員互選名簿(甲州文庫)	明治27年(1894)	山梨県立博物館		③
富士山麓電気鉄道株式会社開通記念郵便はがき(長谷川家文書)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		③④⑤
中央鉄道甲府ステーション(大木家文書)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		③④⑤
富士身延鉄道沿線名所図絵(甲州文庫)	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		④⑤
『若尾逸平』(甲州文庫)	大正3年(1914)	山梨県立博物館		④⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
中央線長坂駅名所絵葉書（上野晴朗氏収集資料）	大正～昭和	山梨県立博物館		④⑤
甲州屋の年未年始の状況に関する書簡（篠原家文書）	文久3年（1863）	山梨県立博物館		⑥⑦
若尾家の年賀状（甲州文庫）	大正5年（1916）	山梨県立博物館		⑥⑦
『次に来るもの』（甲州文庫）	明治24年（1891）	山梨県立博物館		⑥
峡中名々相撲番付	明治22年（1889）	山梨県立博物館		⑥
武田神社奉建会の役員委嘱状（長谷川家文書）	大正7年（1918）	山梨県立博物館		⑦
武田神社写真帳（甲州文庫）	昭和13年（1938）	山梨県立博物館		⑦
武田機山公記念展覧会出陳目録（甲州文庫）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		⑦
機山公記念展覧会出陳古文書写（若尾資料）	大正8年（1919）	山梨県立博物館		⑦
武田信玄銅像ミニチュア	昭和44年（1969）	個人		⑦
共生する社会【地方病とのたたかい】				
スチブナール	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠プレート	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
杉浦健造先生頌徳誌	昭和9年（1934）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年（1917）	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
共生する社会【明治40年の大水害】				
水害時に使用した舟	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
共生する社会【山梨と戦争】				
E46集束焼夷弾（模型）	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和16年（1941）	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
歩四九御用バッジ	昭和	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
軍隊関係写真	昭和	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
極秘諸規定教育射撃更正航空縦（田中家資料）	昭和	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
共生する社会【特別企画・山梨と震災】				
東京大震災の様子を伝える書簡（関本家文書）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		①②③
東京市全図 最新大正大震災被害明細（頼生文庫）	大正	山梨県立博物館		①
関東大震災実況写真（若尾資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		②③
大正12年の日記（樋口家資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		①②③
甲府大地震之記（甲州文庫）	嘉永7年（1854）	山梨県立博物館		①②③
地震潰家取調帳（甲州文庫）	嘉永7年（1854）	山梨県立博物館		①②③
関東大震災記（樋口家資料）	大正12年（1923）	山梨県立博物館		①②③

(2) 企画展・シンボル展

■開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
① 企画展	i ウクライナの至宝—スキタイ黄金美術の煌き—	平成24年3月17日（土）から同年5月7日（月）まで
	ii クニマスは生きていた—山梨おさかな発見物語—	平成24年7月14日（土）から同年9月3日（月）まで
	iii 黄金の国々—甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山—	平成24年10月6日（土）から同年12月3日（月）まで
	iv 黒駒勝蔵 対 清水次郎長—時代を動かしたアウトローたち—	平成25年2月9日（土）から同年3月18日（月）まで
	v 水の国やまなし—信玄堤と甲斐の人々—	平成25年3月30日（土）から同年5月27日（月）まで
② シンボル展	i 大善寺 日光・月光菩薩像	平成24年5月19日（土）から同年6月25日（月）まで
	ii どうぞじんワンダーワールドAGAIN—やまなしの道祖神祭り—	平成25年1月2日（水）から同年1月28日（月）まで

※平成25年3月30日（土）から同年5月27日（月）まで実施した「水の国やまなし—信玄堤と甲斐の人々—」展については平成25年度年報で詳述する。

①企画展

- i ウクライナ独立20周年 日本・ウクライナ外交樹立20周年記念事業
ウクライナの至宝展—スキタイ黄金美術の煌めき—

【会 期】平成24年3月17日（土）から同年5月7日（月）まで
会期日数52日、展示日数46日

【主 催】山梨県立博物館、テレビ山梨、ウクライナの至宝・
スキタイ黄金美術の煌めき展実行委員会

【特別協賛】千代田セレモニーグループ、株式会社早野組

【後 援】外務省、ウクライナ大使館、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、
エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日
甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山
梨新報社、株式会社山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、
読売新聞甲府支局

【監 修】林 俊雄（創価大学教授）

【企画協力】株式会社ブレントラスト

【会 場】企画展示室

【入場者数】9,817人

【担 当】学芸課長 中山誠二、学芸員 植月 学、西川広平

【概 要】

馬は、古墳時代に大陸から騎馬の習俗とともに伝えられた重要な動物である。

甲斐の国は、古代から貢馬の国として知られ、「甲斐の黒駒」の名称は当時の中央の貴族たちには名馬の
代名詞として使用されていた。

本展は、「チングスハーンとモンゴルの至宝展」に続き、馬の歴史シリーズ第2弾として、騎馬文化のルー
ツである中央アジアから南ロシアに花開いたスキタイ文化とともに、ウクライナの歴史や文化を紹介した。

紀元前8～7世紀に歴史の舞台に現れたスキタイは、騎馬遊牧民としてはもっとも古い民族で、カフカス
と黒海北岸の草原地帯、そして西アジアを中心に活動を広げた彼らの古墳は「草原のピラミッド」とも称さ
れ、まばゆいばかりの黄金の副葬品で飾られていた。スキタイの美術工芸品にはかれらの独自の要素の他に、
西アジアやギリシア、中国などの古代先進文明の美術様式が混入し、ユーラシア大陸の東西を結ぶ壮大な文
化交流の姿を見ることができる。

【関連イベント】

■ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジーコンサート

- ・日 時 平成24年3月24日（土）午後2時～午後3時
- ・場 所 エントランスロビー
- ・出 演 ナターシャ・グジー氏（歌手・バンドウーラ奏者）

■かいじあむ子ども工房「銅板レリーフを作ってみよう」

- ・日 時 平成24年4月1日（日）、4月22日（日）
午前10時30分～ 、午前12時30分～ 、午後2時～
- ・場 所 エントランスロビー

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成24年3月17日（土）、18日（土）、19日（土）、25日（日）、4月1日（日）、8日（日）、22日（日）、
29日（日）、5月3日（日）、6日（日）
午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度



展覧会ちらし



展示風景

【出品資料一覧】

番号	資料名	時代	員数	材質	技法	大きさ	所蔵者
1	ピン	前8世紀(キンメリオイ)	1	金、ガラス	鍛造、型押し、溶接、象嵌	長さ78mm	ウクライナ歴史博物館
2	トルク(首輪)	前8世紀(キンメリオイ)	1	金	鍛造	径101×74mm	ウクライナ歴史博物館
3	銜留め具	前6世紀	2	骨	研磨、彫刻	長さ175mm	ウクライナ国立歴史博物館
4	ヘラジカ頭形飾り板	前5世紀(スキタイ)	6	青銅	鋳造	55×65mm	ウクライナ国立歴史博物館
5	獅子頭形飾り板	前5世紀(スキタイ)	6	青銅	鋳造	40×65mm	ウクライナ国立歴史博物館
6	鹿頭形飾り板	前5世紀(スキタイ)	4	青銅	鋳造	42×65mm	ウクライナ国立歴史博物館
7	轡	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	150×200mm	ウクライナ国立歴史博物館
8	飾り板	前5～4世紀(スキタイ)	2	青銅	鋳造	65×30mm、72×33mm	ウクライナ国立歴史博物館
9	馬の額飾り	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	102×19mm	ウクライナ国立歴史博物館
10	銜留め具	前5世紀(スキタイ)	2	青銅	鋳造	長さ150mm	ウクライナ国立歴史博物館
11	馬面(馬の額飾り)	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	長さ341mm	ウクライナ国立歴史博物館
12	ヘラジカ頭形飾り板	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	66×33mm	ウクライナ国立歴史博物館
13	ヘラジカ頭形飾り板	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	68×32mm	ウクライナ国立歴史博物館
14	馬具装飾一式	前4世紀(スキタイ)	6	金	打ち出し	馬の額飾り(DM-1709): 377×80mm 鞍の装飾(DM-1696, DM-1697): 129-133×42-47mm 半球形装飾(DM-1713, DM-1714, DM-1715): 直径21-24mm	ウクライナ歴史博物館
15	馬具装飾一式	前4世紀(スキタイ)	11	金、銀、鉄	鋳造、鍛造、溶接、切り取り、彫金、箔置き	a.馬の額飾り(AZS-3757/1): 66×39mm、高さ26mm b.鞍の装飾(AZS-3757/2, AZS-3757/3): 57-58×85-86mm c.円形飾り板(AZS-3757/4-AZS-3757/9): 直径52-58mm d.円錐台形リング(AZS-3757/10): 直径25mm、高さ5mm e.リング(AZS-3757/11): 直径30mm、高さ9mm	ウクライナ歴史博物館
16	馬の鞍装飾一式	前4世紀(スキタイ)		金、銀	鋳造、鍛造、溶接、切り取り、箔置き	a.円形飾り板(AZS-3758/1-AZS-3758/4): 直径57-59mm b.鞍の前面装飾(AZS-3758/5, AZS-3758/6): 300-305×59-70mm c.鞍の背面装飾(AZS-3758/7-AZS-3758/9): 230-235×53-55mm	ウクライナ歴史博物館
17	弭	前6世紀(スキタイ)	1	骨	研磨、彫刻	長さ126mm	ウクライナ国立歴史博物館
18	兜	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造、鍛造	325×240mm	ウクライナ国立歴史博物館
19	アキナクス剣	前6世紀(スキタイ)	1	鉄	鍛造	長さ400mm	ウクライナ国立歴史博物館
20	アキナクス剣	前5世紀(スキタイ)	1	鉄	鍛造	長さ368mm	ウクライナ国立歴史博物館
21	剣	前4世紀(スキタイ)	1	鉄	鍛造	長さ555mm	ウクライナ国立歴史博物館
22	槍先	前6世紀(スキタイ)	1	鉄	鍛造	長さ454mm	ウクライナ国立歴史博物館
23	槍先	前5世紀(スキタイ)	1	鉄	鍛造	長さ422mm	ウクライナ国立歴史博物館
24	投げ槍の槍先	前4世紀(スキタイ)	1	鉄	鍛造	長さ295mm	ウクライナ国立歴史博物館
25	剣の鞘	前6～5世紀(スキタイ)	2	金、エナメル	打ち出し、線条細工、細粒細工	鞘305×70mm、猪形の付加部分180×93mm	ウクライナ歴史博物館
26	猪頭付き剣と鞘	前4世紀(スキタイ)	1	金、鉄	鍛造、打ち出し、彫金	長さ655mm	ウクライナ歴史博物館
27	ゴリュトス(弓矢入れ)	前4世紀(スキタイ)	1	金	打ち出し	470×275mm	ウクライナ歴史博物館
28	鏡	前7世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	直径140mm	ウクライナ国立歴史博物館
29	鏡	前6世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造	185×290mm	ウクライナ国立歴史博物館
30	鏡	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	268×140mm	ウクライナ国立歴史博物館
31	鹿像付き竿頭飾	前5世紀(スキタイ)	1	青銅、鉄	鋳造、鍛造	236×53mm	ウクライナ国立歴史博物館
32	鹿像付き竿頭飾	前5世紀(スキタイ)	1	青銅、鉄	鋳造、鍛造	275×78mm	ウクライナ国立歴史博物館
33	動物頭像付き竿頭飾	前5世紀(スキタイ)	1	青銅、鉄	鋳造、鍛造	165×60mm	ウクライナ国立歴史博物館
34	鹿像付き竿頭飾	前5世紀(スキタイ)	1	青銅、鉄	鋳造、鍛造	280×70mm	ウクライナ国立歴史博物館
35	鳥頭像付き竿頭飾	前5世紀(スキタイ)	1	青銅、鉄	鋳造、鍛造	170×49mm	ウクライナ国立歴史博物館
36	スキタイの主神ハイオス像付き竿頭飾	前4世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	350×430mm	ウクライナ国立歴史博物館
37	円錐台形儀礼用具	前6～5世紀(スキタイ)	1	金	鍛造	高さ62mm、底部直径126×116mm	ウクライナ歴史博物館
38	石人	前6世紀(スキタイ)	1	石	研磨、彫刻、切り取り	1600×470mm	ウクライナ国立歴史博物館
39	取っ手付き壺	前7世紀	1	青銅	鋳造、鍛造	360×350mm	ウクライナ国立歴史博物館
40	小壺	前7世紀(スキタイ)	1	土	手づくね	高さ111mm、直径113mm	ウクライナ国立歴史博物館
41	容器	前7世紀(スキタイ)	1	土	手づくね	高さ122mm、直径140mm	ウクライナ国立歴史博物館
42	容器	前7世紀(スキタイ)	1	土	手づくね	高さ120mm、直径135mm	ウクライナ国立歴史博物館
43	リュトン	前5世紀(スキタイ)	1	金、有機物質	型押し、線条細工	長さ445mm、口縁部直径135mm	ウクライナ歴史博物館
44	鳥頭形飾り板	前5世紀(スキタイ)	1	金	型押し	91×62mm	ウクライナ歴史博物館
45	鳥頭形飾り板	前5世紀(スキタイ)	1	金	型押し	106×55mm	ウクライナ歴史博物館
46	椀(復元)	前5世紀(スキタイ)	1	木、金	型押し	(AZS-3583/1-AZS-3585/6): 91-166×12-31	ウクライナ歴史博物館
47	椀(復元)	前5世紀(スキタイ)	1	木、金	型押し	木地脚部: 高さ90mm、直径138mm (AZS-3067/1-AZS-3067/4): 66-69×47.5-49	ウクライナ歴史博物館
48	猪像	前4世紀(スキタイ)	1	金、銀	鋳造、溶接、彫金	高さ28mm、長さ50mm	ウクライナ歴史博物館
49	鏡	前4世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	569×750mm	ウクライナ国立歴史博物館
50	フィアラ杯	前4世紀(スキタイ)	1	銀	深絞り、打ち出し	直径138mm、高さ44mm	ウクライナ歴史博物館

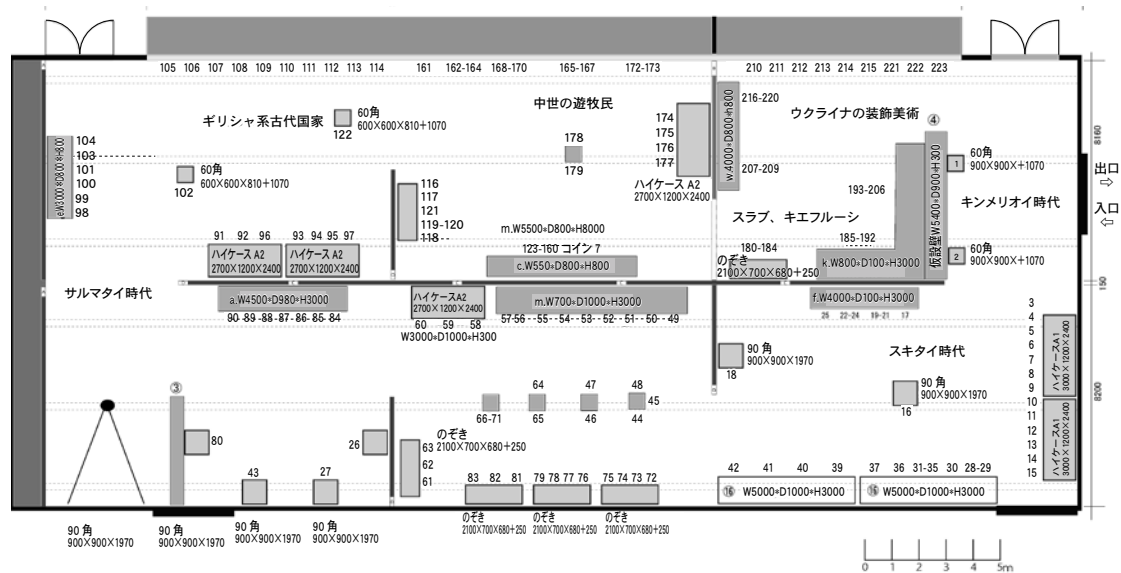
番号	資料名	時代	員数	材質	技法	大きさ	所蔵者
51	壺	前4世紀(スキタイ)	1	銀	鍛造、鋳造	高さ74mm、胴部直径95mm、口縁部直径67mm	ウクライナ歴史博物館
52	馬頭像	前6～5世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造		ウクライナ国立歴史博物館
53	容器	前6世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土	ロクロ造り	高さ222mm、直径170mm	ウクライナ国立歴史博物館
54	アンフォラ	前5世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造、鍛造	320×270mm	ウクライナ国立歴史博物館
55	ヒュドリア	前5～4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造、鍛造	355×230mm	ウクライナ国立歴史博物館
56	シトゥーラ	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造、鍛造	230×230mm	ウクライナ国立歴史博物館
57	アンフォラ	前5世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造、鍛造	510×375mm	ウクライナ国立歴史博物館
58	ヒュドリア	前5～4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造、鍛造	440×320mm	ウクライナ国立歴史博物館
59	ルーテリオン	前5～4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	青銅	鋳造、鍛造	125×424mm	ウクライナ国立歴史博物館
60	アンフォラ	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土	ロクロ造り	高さ800mm、直径375mm	ウクライナ国立歴史博物館
61	櫛	前5世紀(スキタイ)	1	骨	研磨、彫刻	長さ200mm	ウクライナ国立歴史博物館
62	首飾り	前6世紀	1	石	穿孔、研磨、彫刻	直径4～23mm	ウクライナ国立歴史博物館
63	首飾り	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	不透明ガラス	手作り	直径10～20mm	ウクライナ国立歴史博物館
64	腕輪	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	直径125mm	ウクライナ国立歴史博物館
65	腕輪	前5世紀(スキタイ)	1	青銅	鋳造	直径136mm	ウクライナ国立歴史博物館
66	指輪	前4世紀(スキタイ)	1	金	鋳造、鍛造、彫金、線条細工、溶接	印面26×20mm、輪部33×24mm	ウクライナ歴史博物館
67	指輪	前5世紀(スキタイ)	1	金、銀	鍛造、線条細工、細粒細工、溶接	印面直径25mm、輪部直径32mm	ウクライナ歴史博物館
68	指輪	前4世紀(スキタイ)	1	金	鍛造、型押し	印面20×18.5mm、高さ22mm	ウクライナ歴史博物館
69	指輪	前4世紀(スキタイ)	1	金	鍛造、型押し	印面15×19mm	ウクライナ歴史博物館
70	指輪	前4世紀(スキタイ)	1	金	鍛造、型押し	23×20mm 印面14×17mm	ウクライナ歴史博物館
71	指輪	前4世紀(スキタイ)	1	金	鍛造、型押し	22×14mm 印面19×21mm	ウクライナ歴史博物館
72	耳飾り	前4世紀(スキタイ)	2	金	鍛造、型押し、線条細工、細粒細工、溶接	高さ115mm 高さ114mm	ウクライナ歴史博物館
73	耳飾り	前4世紀(スキタイ)	2	金	鍛造、型押し、溶接	高さ70mm、直径35mm 高さ62mm、直径29mm	ウクライナ歴史博物館
74	耳飾り	前4世紀(スキタイ)	2	金	型押し、鍛造、彫金、溶接	高さ87mm、垂飾29×33mm 高さ87mm、垂飾29×34mm	ウクライナ歴史博物館
75	かぶり物用ペンダント	前4世紀(スキタイ)	1	金	型押し、鍛造、溶接	高さ165mm、パネル43×55mm	ウクライナ歴史博物館
76	女性頭部形ペンダント	前4世紀(スキタイ)	1	金	鋳造、線条細工、型押し、彫金、細粒細工、溶接	高さ32mm	ウクライナ歴史博物館
77	ライオン頭部形ペンダント	前5～4世紀(スキタイ)	1	金	型押し、打ち出し、細粒細工、溶接	19×26mm	ウクライナ歴史博物館
78	トルク(首輪)	前4世紀(スキタイ)	1	金	型押し、鍛造、引っ張り、摺り合わせ、溶接	長さ467mm	ウクライナ歴史博物館
79	首飾り	前4世紀(スキタイ)	1	金	型押し、線条細工、溶接	長さ475mm	ウクライナ歴史博物館
80	胸飾り(レプリカ)	前4世紀(スキタイ)	1	青銅、金		直径306mm	ウクライナ歴史博物館
81	グリフィン形飾り板	前7世紀(スキタイ)	2	金	型押し	28×28mm	ウクライナ歴史博物館
82	鹿形飾り板	前7～6世紀(スキタイ)	2	金	型押し	41×33mm 41.5×36mm	ウクライナ歴史博物館
83	馬形飾り板	前7～6世紀(スキタイ)	2	金	型押し	40×27mm	ウクライナ歴史博物館
84	動物闘争文様飾り板	前5世紀(スキタイ)	55	金	型押し	28×19mm	ウクライナ歴史博物館
85	グリフィン文様飾り板	前4世紀(スキタイ)	55	金	型押し	42×38mm	ウクライナ歴史博物館
86	メドゥーサ・ゴルゴン文様飾り板	前4世紀(スキタイ)	8	金	型押し	直径25mm	ウクライナ歴史博物館
87	女性かぶり物(復元)	前4世紀(スキタイ)	1	金、織物	型押し、溶接	高さ160mm、直径170mm	ウクライナ歴史博物館
88	女性かぶり物(復元)	前4世紀(スキタイ)	1	金、織物	型押し、溶接	高さ160mm、直径170mm	ウクライナ歴史博物館
89	儀礼文様額飾り	前4世紀(スキタイ)	1	金	型押し	365×98mm	ウクライナ歴史博物館
90	祭儀用女性衣服(レプリカ、復元)	前4世紀(スキタイ)	1	織物、コピー、青銅、金		長さ1300mm かぶり物部分(NDF-394): 高さ200mm 靴(NDF-395/1-2):長さ240mm	ウクライナ歴史博物館
91	剣	1～2世紀(サルマタイ)	1	鉄	鍛造	長さ302mm	ウクライナ国立歴史博物館
92	鍔	1世紀(サルマタイ)	1	青銅	鋳造	527×435mm	ウクライナ国立歴史博物館
93	杯	1世紀(サルマタイ)	1	銀	冷間深絞り、彫金	高さ62mm; 直径101×104mm	ウクライナ歴史博物館
94	杯	1世紀(サルマタイ)	1	銀	冷間深絞り、彫金	高さ61mm; 直径98mm	ウクライナ歴史博物館
95	柄杓	1世紀(サルマタイ)	1	青銅	鋳造後旋盤加工、鍛造、打ち出し、型押し	高さ100mm、直径214mm	ウクライナ歴史博物館
96	水差し	1世紀(サルマタイ)	1	青銅	冷間深絞り、鍛造、鋳造	高さ215mm; 直径173mm	ウクライナ歴史博物館
97	濾過器	1世紀(サルマタイ)	1	青銅	冷間深絞り、鍛造、穿孔	高さ70mm; 直径105mm	ウクライナ歴史博物館
98	首飾り	1～2世紀(サルマタイ)	1	石	穿孔、研磨、切り取り	長さ13～44mm、直径9～25mm	ウクライナ国立歴史博物館
99	ペンダント	前1～後1世紀(サルマタイ)	1	金	鍛造、打ち出し、溶接	高さ41mm	ウクライナ歴史博物館
100	ペンダント	前1～後1世紀(サルマタイ)	2	金	型押し、溶接	直径23.5×24.5～28.5mm	ウクライナ歴史博物館
101	飾り板	前1～後1世紀(サルマタイ)	16	金	型押し	a. (AZS-3361/1-3): 21×14.5mm b. (AZS-3362): 18×18mm c. (AZS-3364/1-12): 15×13.5mm	ウクライナ歴史博物館
102	イルカ型フィブラ(安全ピン)	前1～後1世紀(サルマタイ)	1	金、水晶	鍛造、彫金、カット、研磨、溶接	長さ78mm	ウクライナ歴史博物館
103	腕輪	1世紀(サルマタイ)	1	金、紅玉髓、ガラス	鍛造、線条細工、細粒細工、象嵌、溶接	直径65mm パネル41×32.5mm	ウクライナ歴史博物館
104	首飾り	1世紀(サルマタイ)	1	金、ザクロ石、水晶	鍛造、型押し、線条細工、研磨、象嵌、溶接	長さ390mm	ウクライナ歴史博物館
105	黒釉キュリクス	前5世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ77mm、直径190mm	ウクライナ国立歴史博物館
106	赤像式皿	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ35mm、直径390mm	ウクライナ国立歴史博物館
107	赤像式カンタロス	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ184mm、直径160mm	ウクライナ国立歴史博物館
108	赤像式レカニスの蓋	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ60mm、直径182mm	ウクライナ国立歴史博物館
109	女性頭部形容器	前5世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ165mm、直径106mm	ウクライナ国立歴史博物館
110	杯	前6世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、彩色	ロクロ造り	高さ112mm、直径136mm	ウクライナ国立歴史博物館
111	デーメーテル像形テラコッタ容器	前4～3世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土	型造り	高さ190mm、直径150mm	ウクライナ国立歴史博物館

番号	資料名	時代	員数	材質	技法	大きさ	所蔵者
112	黒軸オインコエ	前5世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ240mm、直径165mm	ウクライナ国立歴史博物館
113	赤像式オルペー(蓋付き)	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ309mm、直径155mm	ウクライナ国立歴史博物館
114	赤像式アンフォラ	前4世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土、釉薬	ロクロ造り	高さ347mm、直径147mm	ウクライナ国立歴史博物館
115	キューペレー像テラコッタ	前4～3世紀(古典(ギリシア)文化)	1	土	型造り	高さ239mm、直径150mm	ウクライナ国立歴史博物館
116	首飾り	1～2世紀(古典(ギリシア)文化)	1	石	穿孔、研磨、切り取り	直径5～28mm	ウクライナ国立歴史博物館
117	葉形装飾	1～2世紀	1	金	切り取り、型押し	高さ44mm、直径226×182mm	ウクライナ国立歴史博物館
118	護符入れ用首飾り	1～2世紀	1	金、ガラス、 紅玉髓	研磨、彫金、鍛造、 細粒細工	直径6.5～10mm、ペンダント6×20 mm、12×10mm、裏筒13×39mm	ウクライナ国立歴史博物館
119	蛇形指輪	2～3世紀	1	金	鋳造、彫金	直径23mm	ウクライナ歴史博物館
120	耳飾り	2～3世紀	1	金、紅玉髓、 ザクロ石	型押し、線条細工、 細粒細工、象嵌、溶接	高さ40mm	ウクライナ歴史博物館
121	耳飾り	2～3世紀	1	金、メノウ	型押し、線条細工、 細粒細工、象嵌、溶接、彫刻	高さ38mm	ウクライナ歴史博物館
122	葬儀用花冠	1～3世紀	1	金	打ち出し	長さ180mm	ウクライナ歴史博物館
123	スタテル貨「キュジケーノス」	前5世紀(アナトリア、ミシア地方、キュジコス)	1	エレクトラム	打刻	直径21mm、重さ16.05g	ウクライナ国立歴史博物館
124	スタテル貨「キュジケーノス」	前5世紀(アナトリア、ミシア地方、キュジコス)	1	エレクトラム	打刻	直径21mm、重さ16.02g	ウクライナ国立歴史博物館
125	スタテル貨「キュジケーノス」	前5世紀(アナトリア、ミシア地方、キュジコス)	1	エレクトラム	打刻	直径18mm、重さ16.08g	ウクライナ国立歴史博物館
126	スタテル貨「キュジケーノス」	前5世紀(アナトリア、ミシア地方、キュジコス)	1	エレクトラム	打刻	直径19mm、重さ16.05g	ウクライナ国立歴史博物館
127	スタテル貨「キュジケーノス」	前5世紀(アナトリア、ミシア地方、キュジコス)	1	エレクトラム	打刻	直径19mm、重さ15.97g	ウクライナ国立歴史博物館
128	スタテル貨	前5世紀(アナトリア、ミシア地方、ランプサコス)	1	エレクトラム	打刻	直径20mm、重さ15.17g	ウクライナ国立歴史博物館
129	スタテル貨	マケドニア、アレクサンドロス大王(前336～323年在位)	1	金	打刻	直径18mm、重さ8.50g	ウクライナ国立歴史博物館
130	スタテル貨	マケドニア、アレクサンドロス大王(前336～323年在位)	1	金	打刻	直径17mm、重さ8.45g	ウクライナ国立歴史博物館
131	スタテル貨	トラキア、リュシマコス(前324～282年在位)	1	金	打刻	直径20mm、重さ8.5g	ウクライナ国立歴史博物館
132	スタテル貨	トラキア、リュシマコス(前324～282年在位)	1	金	打刻	直径20mm、重さ8.46g	ウクライナ国立歴史博物館
133	「アス(青銅)」貨	前437～410年	1	青銅	鋳造	直径68mm、重さ113.67g	ウクライナ国立歴史博物館
134	「アス(青銅)」貨	前437～410年	1	青銅	鋳造	直径67mm、重さ97.90g	ウクライナ国立歴史博物館
135	「アス(青銅)」貨	ほぼ前400～380年	1	青銅	鋳造	直径37mm、重さ18.29g	ウクライナ国立歴史博物館
136	「イルカ」貨	ほぼ前525～325年	1	青銅	鋳造	長さ29mm、重さ1.7g	ウクライナ国立歴史博物館
137	「イルカ」貨	ほぼ前525～325年	1	青銅	鋳造	長さ32mm、重さ3.15g	ウクライナ国立歴史博物館
138	「イルカ」貨	ほぼ前525～325年	1	青銅	鋳造	長さ30mm、重さ1.85g	ウクライナ国立歴史博物館
139	半ドラクマ貨	前4世紀末	1	金	打刻	直径11mm、重さ2.11g	ウクライナ国立歴史博物館
140	「ポリュステノイ」貨	前300～280年	1	銅	打刻	直径22mm、重さ10.88g	ウクライナ国立歴史博物館
141	「ポリュステノイ」貨	前300～280年	1	銅	打刻	直径21mm、重さ10.48g	ウクライナ国立歴史博物館
142	「ポリュステノイ」貨	前300～280年	1	銅	打刻	直径23mm、重さ11.10g	ウクライナ国立歴史博物館
143	2カルコン貨	前350～330年	1	銅	打刻	直径21mm、重さ5.88g	ウクライナ国立歴史博物館
144	オボロス貨	前314～310年	1	銅	打刻	直径24mm、重さ12.68g	ウクライナ国立歴史博物館
145	オボロス貨	前314～310年	1	銅	打刻	直径23mm、重さ11.82g	ウクライナ国立歴史博物館
146	オボロス貨	前314～310年	1	銅	打刻	直径26mm、重さ10.31g	ウクライナ国立歴史博物館
147	2カルコン貨	前314～310年	1	銅	打刻	直径21mm、重さ6.11g	ウクライナ国立歴史博物館
148	4カルコン貨	前294～284年	1	銅	打刻	直径20mm、重さ6.08g	ウクライナ国立歴史博物館
149	カルコス貨	前294～284年	1	銅	打刻	直径19mm、重さ5.91g	ウクライナ国立歴史博物館
150	カルコス貨	前284～275年	1	銅	打刻	直径18mm、重さ6.47g	ウクライナ国立歴史博物館
151	オボロス貨	前80～70年	1	銅	打刻	直径23mm、重さ14.91g	ウクライナ国立歴史博物館
152	ウンキア貨(?)	後89～9/10年	1	銅	打刻	直径24mm、重さ8.18g	ウクライナ国立歴史博物館
153	スタテル貨	ボスボロス王国サウロマテース1世(後93/94～123/124年在位)	1	金	打刻	直径19mm、重さ7.72g	ウクライナ国立歴史博物館
154	セステルティウス貨	ボスボロス王国サウロマテース1世(後93/94～123/124年在位)	1	銅	打刻	直径25mm、重さ16.39g	ウクライナ国立歴史博物館
155	セステルティウス貨	ボスボロス王国サウロマテース1世(後93/94～123/124年在位)	1	銅	打刻	直径27mm、重さ12.6g	ウクライナ国立歴史博物館
156	スタテル貨	ボスボロス王国ロイメタルケース王(131/132～153/154年在位)	1	金	打刻	直径18mm、重さ7.75g	ウクライナ国立歴史博物館
157	スタテル貨	ボスボロス王国サウロマテース2世(174/175～210/211年在位)	1	金	打刻	直径19mm、重さ7.77g	ウクライナ国立歴史博物館
158	2デナーリウス	ボスボロス王国サウロマテース2世(174/175～210/211年在位)	1	銅	打刻	直径24mm、重さ8.20g	ウクライナ国立歴史博物館
159	スタテル貨	ボスボロス王国コテュス3世(227/228～233/234年在位)	1	金	打刻	直径19mm、重さ7.62g	ウクライナ国立歴史博物館
160	メダイオン	ローマ帝国コンスタンティウス2世(337～361年在位)	1	金	打刻	直径55mm、重さ68.08g	ウクライナ国立歴史博物館
161	剣	4～5世紀(フン)	1	金、鉄、ザクロ石	鍛造、型押し、細粒細工象嵌	長さ430mm	ウクライナ歴史博物館
162	辻金具	4～5世紀(フン)	1	金、青銅、紅玉髓	型押し、象嵌	43×36mm	ウクライナ歴史博物館
163	バックル	4～5世紀(フン)	1	金、紅玉髓	鋳造、七宝象嵌	40×26mm	ウクライナ歴史博物館
164	バックル	4～5世紀(フン)	1	金、紅玉髓	鋳造、七宝象嵌	33×16mm	ウクライナ歴史博物館
165	こめかみ飾り	6～7世紀(ゴート)	2	金、ガラス	鍛造、型押し、溶接、 象嵌、細粒細工	高さ44mm、 直径226×182mm	ウクライナ国立歴史博物館
166	鷲像付きバックル	7世紀後半(ゴート)	1	銀、ガラス、革	鋳造、溶接、象嵌	191×61mm	ウクライナ国立歴史博物館
167	フィブラー(安全ピン)	6世紀後半～7世紀前半(ゴート)	2	銀	鋳造、鍛造、溶接、 型押し、溶置き	高さ44mm、直径226×182mm	ウクライナ国立歴史博物館
168	帯飾り金具	6～7世紀(アヴァール)	10	金、銀、銅、ガラス	鋳造、細粒細工、象嵌	a.高さ25～26×幅18～21mm b.高さ20×幅33mm c.高さ35～36×幅25mm d.高さ22×幅18mm e.高さ30～33×幅20～23mm	ウクライナ歴史博物館

番号	資料名	時代	員数	材質	技法	大きさ	所蔵者
169	帯飾り金具	6～7世紀 (アヴァル)	19	金、銀、銅、ザクロ石	鋳造、打ち出し、細粒細工、象嵌	a.48×22mm b.32×15mm c.11×11mm d.27×19mm e.11×11mm f.11×11mm g.31～32×15～16mm	ウクライナ歴史博物館
170	帯飾り一式 (復元)	676～700年 (アヴァル)	1	青銅、革	鋳造、鍛造、箔置き	高さ168mm、長さ1200mm	ウクライナ国立歴史博物館
171	戦士小像	7～8世紀	1	青銅	鋳造	高さ110mm、幅59mm	ウクライナ国立歴史博物館
172	ペンダント	7～8世紀 (ハザル)	1	金	鍛造、鋳造、型押し、細粒細工、象嵌	高さ118mm	ウクライナ歴史博物館
173	胸飾り	7～8世紀 (ハザル)		金	型押し、編み鎖、細粒細工、象嵌	78×45mm、長さ267mm	ウクライナ歴史博物館
174	馬具装飾	10世紀 (ベチェネグ)	1	銀	鋳造、彫金、ニエロ (黒金) 技法、箔置き	a.116～117×55～56mm b.62～65×62～65mm c.30～65×13～17mm d.直径12～14mm	ウクライナ歴史博物館
175	兜	12～13世紀 (ポロヴェツ (キプチャク))	1	銀、箔置き	鍛造、鋳造、打ち出し、彫金	高さ230mm、210×250mm	ウクライナ歴史博物館
176	香炉 (蓋付き)	12～13世紀 (ポロヴェツ (キプチャク))	1	銀、箔置き	鍛造、鋳造、打ち出し、彫金	高さ137mm、直径160mm 高さ166mm、直径156mm	ウクライナ歴史博物館
177	剣	12世紀 (ポロヴェツ (キプチャク))	1	鉄	鍛造	長さ1120mm	ウクライナ国立歴史博物館
178	台付き杯	13世紀末～14世紀初	1	銀、箔置き	鍛造、彫金、箔置き	直径100mm、高さ140mm	ウクライナ歴史博物館
179	柄付き容器	13世紀末～14世紀初	1	銀	鋳造、型押し、鍛造、彫金、打ち出し	直径130mm、高さ60mm	ウクライナ歴史博物館
180	馬形飾り板	6～7世紀	1	銀、箔置き	鋳造、彫金、箔置き	96×62mm	ウクライナ歴史博物館
181	男性形飾り板	6～7世紀 (スラヴ)	1	銀、箔置き	鋳造、彫金、箔置き	76×45mm	ウクライナ歴史博物館
182	フィブラ (安全ピン)	7世紀末～8世紀 (スラヴ)	1	銀	型押し	135×56mm	ウクライナ歴史博物館
183	フィブラ (安全ピン)	7世紀末～8世紀 (スラヴ)	1	銀	型押し	135×62mm	ウクライナ歴史博物館
184	こめかみペンダント	7～8世紀 (スラヴ)	2	銀	鋳造、型押し、細粒細工	61×44mm	ウクライナ歴史博物館
185	剣	10～11世紀初 (キエフ・ルーシ)	1	銀、金、鉄	鍛造、彫金、浮彫、線条細工、象嵌	刃の長さ810mm、柄の長さ179mm、刃の幅49mm	ウクライナ歴史博物館
186	槍先	10世紀 (キエフ・ルーシ)	1	鉄、銅、金	鋳造、鍛接、焼き付け	長さ510mm、幅35mm	ウクライナ国立歴史博物館
187	剣	12世紀	1	鉄、銅、青銅	鍛造、鋳造、鍛接	長さ980mm	ウクライナ国立歴史博物館
188	斧	10～12世紀 (キエフ・ルーシ)	1	鉄	鍛造	高さ80mm、長さ123mm	ウクライナ国立歴史博物館
189	燭台	11～12世紀 (キエフ・ルーシ)	1	青銅	鋳造、鍛造、溶接、彫金	250×158×158mm	ウクライナ国立歴史博物館
190	獅子形水差し	13世紀前半 (キエフ・ルーシ)	1	青銅	鋳造	高さ183mm、長さ195mm	ウクライナ国立歴史博物館
191	吊りランプ	13世紀前半 (キエフ・ルーシ)	1	青銅	鋳造、鍛造、鋳打ち	高さ200mm	ウクライナ国立歴史博物館
192	深鉢 (聖水用?)	11世紀後半	1	銀	鍛造、鋳造、溶接、彫金、浮彫	高さ85mm、径の長さ135mm、直径100×103mm	ウクライナ国立歴史博物館
193	かぶり物装飾 (「オチツリヤ」)	11～13世紀 (キエフ・ルーシ)	9	金	型押し、線条細工	9点: 42×0.7mm	ウクライナ歴史博物館
194	こめかみペンダント (「コルト」)	11～13世紀 (キエフ・ルーシ)	2	金	型押し、エナメル七宝細工	51×43mm	ウクライナ歴史博物館
195	こめかみペンダント (「コルト」)	11世紀末～13世紀初 (キエフ・ルーシ)	2	金、エナメル	型押し、線条細工、七宝エナメル細工	46×47mm 45×47mm	ウクライナ歴史博物館
196	耳飾りペンダント	11～13世紀 (キエフ・ルーシ)	1	金	線条細工	38×40mm	ウクライナ歴史博物館
197	耳飾りペンダント	11～13世紀 (キエフ・ルーシ)	1	金	線条細工	36×34mm	ウクライナ歴史博物館
198	こめかみチェーン (「リヤスナ」)	12世紀 (キエフ・ルーシ)	2	金	型押し、編み鎖	221×23mm	ウクライナ歴史博物館
199	トルク (首輪)	11～12世紀 (キエフ・ルーシ)	1	銀	鍛造	直径174mm	ウクライナ歴史博物館
200	トルク (首輪)	11～12世紀 (キエフ・ルーシ)	1	銀	鍛造、編み鎖	直径155mm	ウクライナ歴史博物館
201	腕輪	11～12世紀 (キエフ・ルーシ)	1	銀	鍛造、鋳造、彫金、ニエロ (黒金)	直径60mm	ウクライナ歴史博物館
202	腕輪	11～12世紀 (キエフ・ルーシ)	1	銀	鍛造、彫金、鋳造、ニエロ (黒金)	76×70mm	ウクライナ歴史博物館
203	トルク (首輪)	12世紀 (キエフ・ルーシ)	1	金	鍛造	直径180mm	ウクライナ歴史博物館
204	スプーン	6～7世紀 (ビザンツ)	1	銀合金	鍛造、旋盤加工、溶接、彫金	長さ220mm、幅39.7mm	ウクライナ国立歴史博物館
205	台付き杯	6～7世紀 (スラヴ)	1	銀	鍛造、溶接	高さ106mm、直径130-136mm	ウクライナ国立歴史博物館
206	十字架 (行進用)	11世紀 (ビザンツ)	1	青銅、鉄	鍛造、溶接	350×565×20mm	ウクライナ国立歴史博物館
207	メダイヨン	12世紀前半 (ビザンツ)	1	金	型押し、エナメル七宝細工	直径102mm	ウクライナ歴史博物館
208	チェーン	12～13世紀 (ビザンツ)	1	金、凍石	編み鎖、型押し、線条細工、象嵌	長さ1730mm	ウクライナ歴史博物館
209	チェーンと胸飾り	11～13世紀 (ビザンツ)	1	金、ジェット (黒玉)、ザクロ石、水晶	型押し、打ち出し、線条細工、象嵌、カメオ	直径60mm、長さ680mm	ウクライナ歴史博物館
210	十字架 (聖遺物用)	1671年	1	銀、紅玉髓、アメジスト (紫水晶)、ガラス		高さ420mm、幅260mm	ウクライナ歴史博物館
211	福音書	1722年	1	銀、紙	打ち出し、彫金、ニエロ (黒金)、箔置き	460×320×110mm	ウクライナ歴史博物館
212	ティーポット	1715年頃	1	銀、木、サンゴ	鋳造、打ち出し、箔置き、彫金	高さ180mm、長さ190mm	ウクライナ歴史博物館
213	聖像画「聖母子像」のためのカバー	1720～30年代	1	銀、ガラス	打ち出し、箔置き	476×365mm	ウクライナ歴史博物館
214	聖杯	1730～40年代	1	銀、エナメル	鋳造、打ち出し、彩色エナメル、箔置き	高さ353mm、台部の直径167mm	ウクライナ歴史博物館
215	聖櫃	18世紀中頃	1	銀	鋳造、打ち出し、箔置き	高さ600mm、底部234×190mm	ウクライナ歴史博物館
216	グラスホルダー	19世紀末	1	銀	鋳造	長さ75mm、直径85mm	ウクライナ歴史博物館
217	パナイア	17世紀末	1	銀、真珠	彫金、線条細工、エナメル、箔置き	100×65mm	ウクライナ歴史博物館
218	パナイア	17世紀末	1	金、エメラルド、ルビー、サファイア、ザクロ石、スピネル (尖晶石)、灰重石、ガラス		長さ125mm	ウクライナ歴史博物館

番号	資料名	時代	員数	材質	技法	大きさ	所蔵者
219	メダイヨン「復活」	1843年	1	銀	ニエロ（黒金）	105×83mm	ウクライナ歴史博物館
220	メダイヨン「復活」	18世紀	1	銀	彩色エナメル	110×90mm	ウクライナ歴史博物館
221	大型ジョッキ	1620～25年	1	銀	鋳造、打ち出し、箔置き	高さ350mm、直径192mm	ウクライナ歴史博物館
222	皿	1640～77年	1	銀	鋳造、打ち出し、彫金、箔置き	565×482mm	ウクライナ歴史博物館
223	ティーポット	18世紀末	1	銀	鋳造、打ち出し、彫金	高さ240mm、直径150mm	ウクライナ歴史博物館

【展示平面図】



ii クニマスは生きていたー山梨おさかな発見物語ー

【会 期】平成24年7月14日（土）から同年9月3日（月）まで
会期日数52日、展示日数45日

【主 催】山梨県立博物館、京都大学総合博物館、富士河口湖町、
山梨日日新聞社・山梨放送

【後 援】秋田県仙北市、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、西湖観光協会、西湖漁業協同組合、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、株式会社山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】海洋研究開発機構（JAMSTEC）、山梨県水産技術センター

【監 修】中坊徹次（京都大学総合博物館教授）

【会 場】企画展示室

【入場者数】15,830人

【担 当】学芸員 植月 学、高橋 修

【概 要】

2010年に西湖で再発見されたクニマスの生態と歴史について最新の研究を紹介した。また、県内遺跡から発掘された魚骨から明らかになった海産魚類の食習慣など、山梨の風土の中で形作られてきた独自の魚との関わりの歴史を紹介した。これらを通じて人と自然の関わりの歩みを知り、今後を考える機会を提供するとともに、夏休みの子供向け企画として、科学的発見と研究の楽しさを発信した。



展覧会ちらし

【関連イベント】

■記念講演会「クニマスと共にー過去から未来へー」

- ・日 時 平成24年8月19日（日）午後1時30分～3時30分
- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 中坊徹次氏（京都大学総合博物館教授）、三浦 久氏（田沢湖に生命を育む会）

■日本魚類学会市民公開講座「クニマス：生物学的実態解明とその保全を考える」

- ・日 時 平成24年7月14日（土）午後1時30分～5時30分
- ・場 所 山梨県総合教育センター 大研修室

■かいじあむ子ども工房「魚つりゲームを作って遊ぼう」

- ・日 時 平成24年7月22日（日）、8月26日（日）午前10時30分～午後3時
- ・場 所 エントランスロビー

■かいじあむ講座「魚のホネを調べてみよう」

- ・日 時 平成24年7月29日（日）①午前10時30分～12時、②午後2時～3時30分
- ・場 所 体験学習室
- ・講 師 植月 学（学芸員）

■ドジョウのつかみ取り体験

- ・日 時 平成24年8月14日（火）、15日（水）午後1時30分～4時30分
- ・場 所 体験学習室外テラス

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成24年7月15日（日）、16日（月）、8月5日（日）、11日（土）、26日（日）午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施
午後3時から30分間程度



展示風景

【出品資料一覧】

番号	資 料 名	員数	所 蔵 者	材質技法	時代（世紀・制作年）
海なし県の海					
1	ホホジロザメ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	顎骨	現生
2	ホホジロザメ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	はく製	現生
3	サケガシラ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	はく製	現生
4	ギンザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
5	ネコザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
6	マオナガ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
7	ヨシキリザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
8	ラブカ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
9	カグラザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
10	ヨロイザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
11	カスザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
12	ノコギリザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
13	ホシエイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
14	ウナギ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
15	ウツボ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
16	コンゴウアナゴ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
17	マイワシ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
18	コノシロ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
19	アユ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
20	ミズウオ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
21	アカマンボウ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	はく製	現生
22	キンメダイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
23	トウジン	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
24	キアンコウ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
25	マトウダイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
26	アカヤガラ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
27	ボラ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
28	サヨリ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生

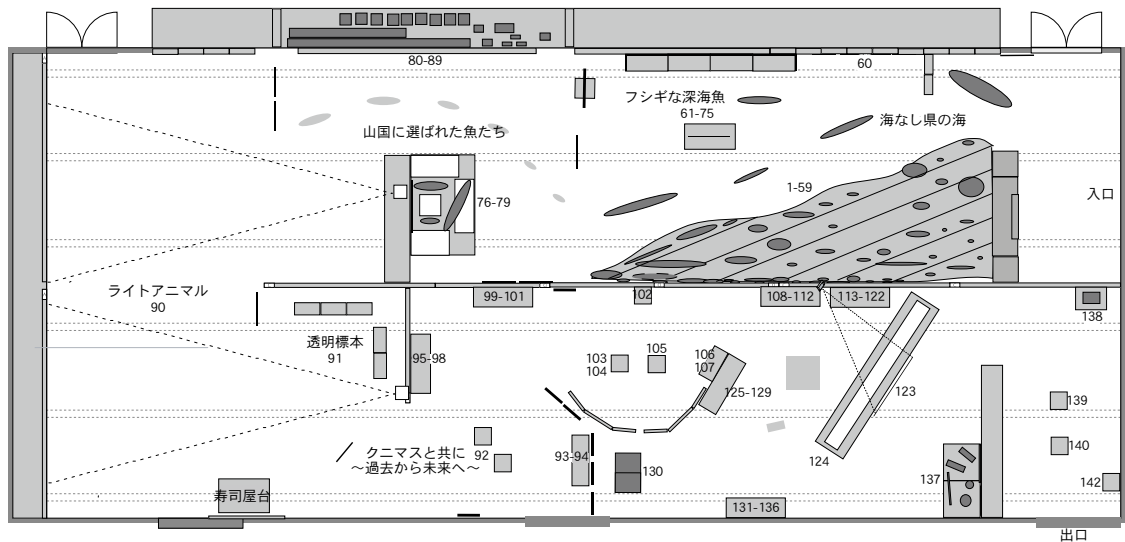
番号	資料名	員数	所蔵	材質技法	時代(世紀・制作年)
29	トビウオ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
30	ダツ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
31	サンマ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
32	オニオコゼ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
33	ホウボウ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
34	マゴチ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
35	スズキ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
36	アカアマダイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
37	スギ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
38	シイラ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
39	ブリ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
40	ヒラマサ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
41	カンパチ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
42	マアジ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
43	ヒレジロマンザイウオ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	はく製	現生
44	クロダイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
45	マダイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
46	ニベ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
47	シロギス	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
48	テングダイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
49	イシガキダイ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
50	ツバメウオ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
51	バラムツ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
52	ヒラソウダ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
53	カツオ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
54	サワラ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
55	ヒラメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
56	ウスバハギ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
57	ハコフダ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
58	クロサバフグ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
59	マンボウ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
フシギな深海魚					
60	深海生物パネル	8	海洋研究開発機構(JAMSTEC)	写真	
61	シギウナギ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	液浸	現生
62	カタホウネンエソ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	液浸	現生
63	ホウライエソ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	液浸	現生
64	チョウチンアンコウ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	液浸	現生
65	オニキンメ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	液浸	現生
66	ホテイエソ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	液浸	現生
67	アカドンコ	1	神奈川県立生命の星・地球博物館	液浸	現生
68	バケダラ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
69	ミツクリエナガチョウチンアンコウ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
70	シャチブリ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
71	ミドリフサアンコウ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
72	コヌメケフウリュウウオ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
73	キホウボウ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
74	ミツクリザメ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
75	テングギンザメ	1	東海大学海洋科学博物館	液浸	現生
山国に運ばれた魚たち					
76	鱈沢河岸跡出土魚類	30	山梨県立考古博物館	骨	明治時代
77	アブラボウズ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
78	オオクチイシナギ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
79	ネズミザメ	1	茨城県自然博物館	はく製	現生
80	『甲州道中記』霞江庵翠風記		山梨県立博物館	紙本墨書	慶応2年(1866)
81	『世事記』大久保黄齋記	8	身延山大学図書館	紙本墨書	安政5年~明治28年
82	『生魚運搬図』土橋篤堂筆	1	個人	紙本著色	昭和
83	『さかな尽し』二代歌川広重筆	1	山梨県立博物館	木版多色摺	近代
84	『武田流当家献立要伝書』		山梨県立博物館(甲州文庫)	紙本墨書	天明元年(1781)
85	婚礼献立		山梨県立博物館(市川家資料)	紙本墨書	明治16年(1883)
86	婚礼献立		山梨県立博物館(古屋家文書)	紙本墨書	万延元年(1860)
87	『天保3年伊豆紀行』	1	静岡県立中央図書館	画像	
88	婚礼料理模型	1	山梨県立博物館	レプリカ	
89	金桜神社絵馬	1	沼津市歴史民俗資料館(寄託)	画像	
90	ライト・アニマル	1	ライト・アニマル プロジェクト	映像	
91	透明標本	26	富田伊織	液浸	
クニマスと共に~過去から未来へ~					
92	田沢湖産クニマス標本	2	京都大学総合博物館	液浸	
93	『日本淡水生物学』川村多實二著	1	中坊徹次		大正7年(1918)
94	『Record of fishes obtained by David Starr Jordan in Japan, 1922』Jordan他著	1	中坊徹次		大正14年(1925)
95	『国産人工孵化試験』(秋田県水産試験場試験事業報告)	1	中坊徹次	複写	明治40年(1907)
96	『くにもすに就て』『水産研究誌』5 越田徳次郎著	1	中坊徹次	複写	明治43年(1910)
97	『湖沼の研究』田中阿歌磨著	1	中坊徹次		明治44年(1911)
98	『秋田県仙北郡田澤湖調査報告』(秋田県水産試験場試験事業報告)	1	秋田県立図書館		大正4年(1915)
99	『少年科学物語』大島正満著	1	中坊徹次		昭和16年(1941)
100	『魚籠』大島正満著	1	中坊徹次		昭和16年(1941)
101	『原色日本淡水魚類図鑑』宮地傳三郎ほか著	1	中坊徹次		昭和38年(1963)
102	西湖産クニマス標本	2	山梨県水産技術センター	液浸	平成24年(2012)
103	三浦久兵衛氏ノート	1	三浦 久		昭和
104	『幻の魚国鱒』『真東風』第4号 三浦久兵衛著	1	三浦 久		昭和53年(1978)
105	『クニマス百科』杉山秀樹著	1	個人		平成12年(2000)

第Ⅱ編 事業・諸活動

海なし県の海

番号	資料名	員数	所蔵者	材質技法	時代(世紀・制作年)
106	「クニマスについて―秋田県田沢湖での絶滅から70年―」『日本動物分類学会誌』30 中坊徹次著	1	中坊徹次		平成23年(2011)
107	「Oncothynchus kawamurae "Kunimasu" a deepwater trout, discovered in Lake Saiko, 70 years after extinction in the original habitat, Lake Tazawa, Japan」『Ichthyological Research』58 中坊徹次著	1	中坊徹次		平成23年(2011)
108	『秋田郡巴魚譚』武藤鐵城著	1	中坊徹次		昭和15年(1940)
109	法利加和覚帳 三浦久兵衛記	1	三浦久	紙本墨書	文政元年(1818)
110	国鱒ホリ記シ 三浦金助記	1	三浦久	紙本墨書	明治45年(1912)
111	漁獲取調帳	1	三浦久	紙本墨書	大正2年(1913)
112	祝儀諸品到来控	1	三浦久	紙本墨書	昭和2年(1927)
113	歳重祝儀覚帳	1	三浦久	紙本墨書	昭和5年(1930)
114	出生見舞覚帳	1	三浦久	紙本墨書	大正15(1926)
115	出生祝覚帳	1	三浦久	紙本墨書	昭和9年(1934)
116	出産祝覚帳	1	三浦久	紙本墨書	大正6年(1917)
117	出生祝覚帳	1	三浦久	紙本墨書	昭和3年(1928)
118	出生祝覚帳	1	三浦久	紙本墨書	大正12年(1923)
119	病氣見舞覚帳	1	三浦久	紙本墨書	大正9年(1920)
120	病氣御見舞到来覚	1	三浦久	紙本墨書	昭和11年(1936)
121	ホリ地図	1	仙北市田沢湖郷土史料館	紙本著色	近代
122	クニマス漁古写真	2	仙北市田沢湖郷土史料館	画像	近代
123	『日本の湖』	1	東京国立近代美術館	映像	昭和15年(1940)
124	丸木舟(復元)	1	三浦久	木	現代
125	国鱒卵分譲の件	1	三浦久	紙本墨書	昭和10年(1935)
126	クニマス卵送付に関する葉書(田沢湖孵化場)	1	三浦久		昭和10年(1935)
127	荷物受領証	2	三浦久		昭和10年(1935)
128	クニマス卵受領の葉書(西湖漁業組合)	1	三浦久		昭和10年(1935)
129	クニマス卵受領の葉書(本栖湖養魚場)	1	三浦久		昭和10年(1935)
130	西湖ジオラマ	1	山梨県立博物館	模型	現代
131	孵化場入夫並費用金出入附込帳 三浦金助記	1	三浦久	紙本墨書	明治39年(1906)
132	孵化場物品費用口上ケ帳	1	三浦久	紙本墨書	明治40年(1907)
133	採卵用国鱒送附日記 三浦金助記	1	三浦久	紙本墨書	明治41年(1908)
134	日誌(野尻湖孵化場)	1	池田辰夫	紙本墨書	昭和5年(1930)
135	野尻湖孵化場計画(池田養魚場)	1	池田辰夫	紙本墨書	明治44年(1911)
136	田沢湖孵化場古写真	2	仙北市田沢湖郷土史料館	画像	
137	河口湖の漁具	10	富士博物館	木、竹ほか	近現代
138	西湖産クニマス稚魚	10	山梨県水産技術センター	生体	平成24年(2012)
139	西湖産クニマス標本	2	山梨県水産技術センター	液浸	平成24年(2012)
140	西湖産ヒメマス標本	2	山梨県水産技術センター	液浸	平成24年(2012)
141	本栖湖産クニマス・ヒメマス交雑標本	2	京都大学総合博物館	液浸	平成22年(2010)

【展示平面図】



iii 黄金の国々ー甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山ー

- 【会 期】 平成24年10月6日（土）から同年12月3日（月）まで
会期日数59日、展示日数52日
- 【主 催】 山梨県立博物館、新潟県立歴史博物館、「黄金の国々」展実行
委員会、NHK甲府放送局
- 【後 援】 朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、甲州市教
育委員会、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ
山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、身延
町教育委員会、山梨新報社、株式会社山梨中央銀行、山梨日
日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局
- 【会 場】 企画展示室
- 【入場者数】 9,328人
- 【担 当】 学芸員 海老沼真治、杓名貴彦
- 【概 要】



展覧会ちらし

戦国時代・江戸時代を代表する甲斐と越後・佐渡の金銀山を中心に、人々の営みや卓越した鉱山技術、製造された金銀貨の数々をとおして、かつて日本に存在した「黄金の国々」の姿を紹介するとともに、金山を通じて培われた甲斐と越後・佐渡との交流の歴史に注目する展覧会とした。新潟県立歴史博物館との共同開催という形式をとり、当館では初めての試みとなった。

【関連イベント】

■記念講演会

- ・主 催 山梨県立博物館、山梨郷土研究会、山梨県考古学協会、武田氏研究会
- ・日 時 平成24年11月4日（日）午後1時30分～午後4時
- ・場 所 山梨県総合教育センター 大研修室
- ・講 師 井澤英二氏（九州大学名誉教授）・中島圭一氏（慶應義塾大学教授）

■かいじあむ古文書講座「金山関係の古文書を読む」

- ・日 時 平成24年10月13日（土）、11月10日（土）
午後1時30分～午後3時
- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 海老沼真治（学芸員）

■かいじあむ講座「金銀生産技術と鉱山絵巻」

- ・日 時 平成24年10月21日（日）午後1時30分～午後3時
- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 杓名貴彦（学芸員）

■かいじあむ子ども工房「砂金すくいを体験しよう」

- ・日 時 平成24年11月25日（日）午前10時30分～午後3時
- ・場 所 体験学習室
- ・協 力 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

■山梨再発見講座「山梨の黄金文化」

- ・主 催 山梨県立博物館、山梨県生涯学習推進センター
- ・日 時 平成24年10月25日（木）、11月1日（木）、8日（木）
午後2時～午後4時
- ・場 所 山梨県生涯学習推進センター
- ・講 師 中山誠二（学芸課長）、海老沼真治（学芸員）、杓名貴彦（同）

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成24年10月6日（土）、7日（日）、8日（月）、20日（土）、27日（土）、11月3日（土）、17日（土）、24日（土）、12月1日（土）
午後3時から1時間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度



展示風景

【出品資料一覧】

◎国宝 ○重要文化財 ●重要美術品 ○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

番号	指定	名称	員数	年代	法量または重量	所蔵者	展示期間
プロローグ							
1		リンスホーテン『東方案内記』所収「東アジア図」	1	1596年	41.0×54.4	国立歴史民俗博物館	10/6-11/5
2		オルテリウス/テイセラ「日本島図」	1	1595年	55.2×47.1	上智大学キリシタン文庫	11/7-12/3
3		ジンナーロ「日本図」(『東洋のザビエル』所収)	1	1641年	29.2×42.0	上智大学キリシタン文庫	10/6-11/5
4		カルディム「日本図」(『日本殉教精華』ほか所収)	1	1646年	41.2×28.6	放送大学附属図書館	11/7-12/3
5		万国総図	1	江戸時代	124.5×57.0	国立歴史民俗博物館	10/6-10/22
6		万国総図(複製)	1	原本は正保2年(1645)	132.4×57.9	国立歴史民俗博物館(原資料 長府博物館)	10/24-11/12
7		万国総界図	1	宝永5年(1708)	124.1×55.7	国立歴史民俗博物館	11/14-12/3
第1章 戦国～江戸時代の金と銀							
戦国時代の黄金需要							
8		武田信玄像	1	江戸時代	127.8×53.5	山梨県立博物館	11/7-12/3
9		武田信玄像(複製)	1	原本は戦国時代	82.2×40.0	山梨県立博物館(原資料 持明院)	10/6-11/5
10	○	上杉謙信并二臣像	1	戦国～江戸	76.5×38.7	常安寺(新潟県立歴史博物館寄託)	10/6-11/5
11		上杉謙信像(複製)	1	原本は江戸時代	79.0×39.0	新潟県立歴史博物館(原資料 上杉神社)	11/7-12/3
13		開山国師真前奉子母銭帳	1	天文13年(1544)	27.0×20.1	国文学研究資料館	10/6-11/2
14		武田晴信書状	1	戦国時代	26.0×42.2	信玄公宝物館	
15		武田信玄書状	1	戦国時代	17.8×45.9	個人	
16	○	市川家光書状	1	永禄8年(1565)	30.0×36.3	富士御室浅間神社	11/3-12/3
17	○	市川家光禄物書立	1	永禄8年(1565)	31.5×42.0	富士御室浅間神社	11/3-12/3
18	●	足利義秋御内書	1	永禄9年(1566)	20.2×43.3	米沢市上杉博物館	10/31-11/19
19	●	無量光院快慶書状	1	天正3年(1575)	20.8×50.8	米沢市上杉博物館	11/20-12/3
20	○	武田家朱印状	1	戦国時代	29.3×46.1	富士御室浅間神社	10/6-11/2
21	◎	武田勝頼書状	1	天正6年(1578)	16.6×45.9	新潟県立歴史博物館	11/7-12/3
22	●	長坂光堅・跡部勝忠連署書状	1	天正8年(1580)	31.8×46.3	米沢市上杉博物館	10/6-10/29
23		甲陽軍鑑	2	寛永初期頃(1620～30)	各26.6×19.9	山梨県立博物館	
24	○	徳川家奉行人連署状	1	天正12年(1584)	30.0×27.1	個人	10/6-11/5
25	○	徳川家奉行人連署状	1	天正14年(1586)	30.2×46.7	個人	11/7-12/3
26	◎	上杉景勝書状	1	天正14年(1586)	33.3×46.6	新潟県立歴史博物館	10/6-11/5
貨幣としての金銀							
27		甲州金大判(笛吹市春日居町下岩下出土)	3	戦国時代		東京国立博物館	
		上字大判金	—		159.2g	東京国立博物館	
		無名大判金	—		161.4g	東京国立博物館	
		角判金	—		156.5g	東京国立博物館	
28		蛭藻金(北杜市高根町大柴屋敷出土)	4	戦国時代	蛭藻金14.8g、14.1g 未成品14.1g 切金10.8g	東京国立博物館	
29		蛭藻金・碁石金(福寺遺跡出土)		戦国時代		山梨県立博物館	
		蛭藻金	—		13.1g、13.4g	山梨県立博物館	
		碁石金	—		13.6g～15.6g	山梨県立博物館	
30		露金・蛭藻金・切金(騎西城武家屋敷跡出土)	3	戦国時代		加須市教育委員会	
		露金	—		6.8g	加須市教育委員会	
		蛭藻金	—		15.4g	加須市教育委員会	
		切金	—		8.1g	加須市教育委員会	
31		蛭藻金(一乗谷朝倉氏遺跡出土)	1	戦国時代	21.5g	個人	
32		上代判金	1	戦国～桃山	165.3g	東京大学大学院経済学研究所	10/6-11/5

番号	指定	名称	員数	年代	法量または重量	所蔵者	展示期間
33		天正菱大判	1	天正17年(1589)	—	東京国立博物館	
34		天正長大判	1	文禄4年(1595)～ 慶長5年(1600)	164.8g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
36		天正大仏大判	1	慶長13～17年(1608～12)	164.5g	東京大学大学院経済学研究科	
37		太閤分銅金	1	桃山時代	—	三菱東京UFJ銀行 (江戸東京博物館寄託)	
38		天正越座金	1	—	1.9g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
39		金銀図録	1	文化7年(1810)	22.3×15.4	山梨県立博物館	
40		金吉露壹両判	1	戦国～江戸	14.5g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
41		駒露金	1	戦国～江戸	15.5g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
42		甲字壹分朱中糸目判	1	戦国～江戸	4.8g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
43		松木壹分判	1	戦国～江戸	4.1g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
44		野中壹分判	1	戦国～江戸	3.6g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
45		志村壹分判	1	戦国～江戸	3.8g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
46		山下壹分判	1	戦国～江戸	3.8g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
47		松木露壹両判	1	戦国～江戸	15.0g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
48		松木壹分判	1	戦国～江戸	3.7g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
49		松木貳朱判	1	戦国～江戸	1.8g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
50		松木壹朱判	1	戦国～江戸	0.9g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
51		松木朱中判	1	戦国～江戸	0.4g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
52		松木角形朱中判	1	戦国～江戸	0.4g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
53		松木角形糸目判	1	戦国～江戸	0.27g	東京大学大学院経済学研究科	
54		松木壹両小判	1	江戸時代	15.0g	造幣博物館	
55	◇	甲重壹分判	1	江戸時代	3.7g	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
56	◇	甲重貳朱判	1	江戸時代	1.8g	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
57	◇	甲重壹朱判	1	江戸時代	0.92g	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
58	◇	甲重角形朱中判	1	江戸時代	0.42g	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
59		石州丁銀	1	戦国時代	167.5g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
61		萩銀	1	戦国時代	189.9g	東京大学大学院経済学研究科	
62		石州丁銀(切銀)	1	戦国時代	10.9g	東京大学大学院経済学研究科	
63		石州小銀	1	戦国時代	8.3g	東京大学大学院経済学研究科	
64		石州銀(切銀)	3	戦国時代	2.0g～4.7g	東京大学大学院経済学研究科	
65		山口天又一丁銀	1	戦国時代	87.9g	山口市歴史民俗資料館	
66		萩判銀	1	戦国時代	201.9g	山口市歴史民俗資料館	
67		御公用銀	1	戦国時代	162.2g	山口市歴史民俗資料館	
68		文禄石州丁銀	1	文禄2年(1593)	208.7g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
69		慶長大判	1	江戸時代前期	164.7g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
71		慶長小判	1	江戸時代前期	17.7g	個人	
72		越後長岡寛字銀(切銀)	1	江戸時代	44.6g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
73		越後高田大徳字銀(切銀)	1	江戸時代	24.9g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
74		越後柏崎永字銀(切銀)	1	江戸時代	5.6g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
75		越後しかみ宝字銀(切銀)	1	江戸時代	17.3g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
76		越後しかみ銀(切銀)	1	江戸時代	4.7g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
77		越後長字銀(切銀)	1	江戸時代	12.2g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
78		正徳佐渡小判	1	江戸時代	17.8g	東京大学大学院経済学研究科	
79		正徳佐渡小判	1	江戸時代	17.8g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
80		元文佐渡小判	2	江戸時代	13.0g、13.0g	個人	
81		正徳佐渡一分金	1	江戸時代	4.5g	東京大学大学院経済学研究科	
82		正徳佐渡一分金	1	江戸時代	4.5g	東京大学大学院経済学研究科	
83		佐渡徳通印銀(切銀)	1	江戸時代	85.0g	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
84		佐渡印銀(切銀)	1	江戸時代	7.1g	東京大学大学院経済学研究科	
85		佐渡一分銀	1	江戸時代	3.7g	佐渡市	
装飾としての金銀							
86	●	後藤祐乗像	1	永正9年(1512)頃か	83.4×44.0	個人(東京大学史料編纂所寄託)	10/6-10/25
87		後藤徳乗像	1	江戸時代	65.8×26.5	個人(東京大学史料編纂所寄託)	10/26-11/14
88		後藤徳乗像	1	江戸時代	85.0×36.0	個人(東京大学史料編纂所寄託)	11/15-12/3
89		後藤家系図	1	元禄7年(1694)	18.3×206.5	個人(東京大学史料編纂所寄託)	10/6-10/25
90		後藤家系図	1	江戸時代末期	20.4×104.0	個人(東京大学史料編纂所寄託)	10/26-11/14
91		後藤家家譜	1	元禄2年(1689)	27.4×993.4	個人(東京大学史料編纂所寄託)	11/15-12/3

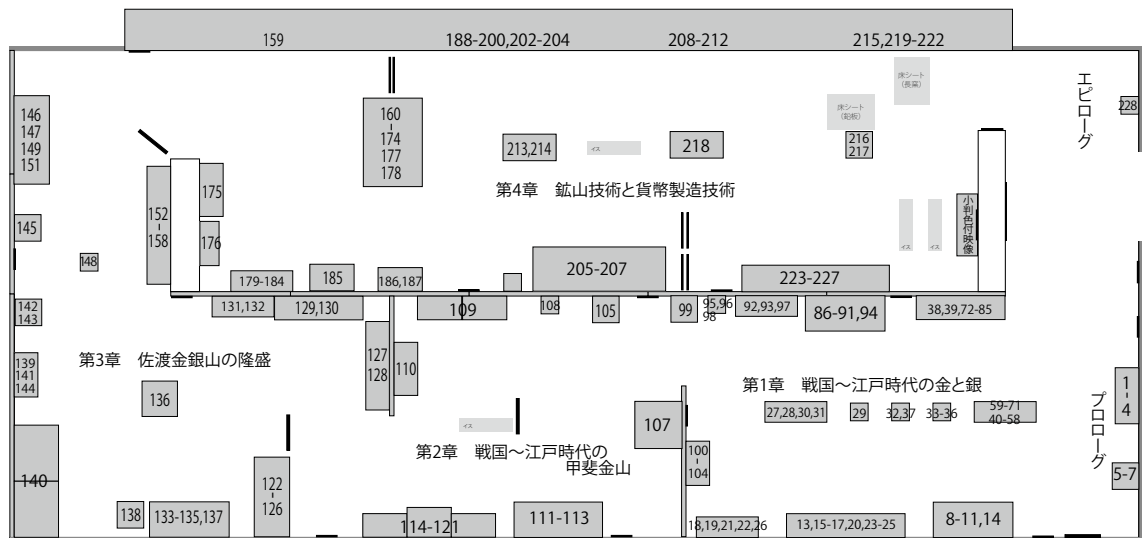
番号	指定	名称	員数	年代	法量または重量	所蔵者	展示期間
92		獅子図三所物 (折紙 金五百貫・光孝)	1	三所物 室町時代 折紙 宝暦13年(1763)	小柄 9.8 笄 21.2 目貫 2.9 折紙 35.6×50.4	福井県立美術館 岡島コレクション	
93		這龍図三所物 (折紙 金二百五十貫・光孝)	1	目貫 桃山時代 小柄・笄 江戸時代 折紙 安永4年(1775)	小柄 9.5 笄 21.0 目貫 3.8 折紙 35.2×50.1	福井県立美術館 岡島コレクション	11/7-12/3
94		五三桐紋衛府太刀	1	江戸時代	外装長 91.5	福井県立美術館 岡島コレクション	
95	一部◎	刀装具 (一乗谷朝倉氏遺跡出土品)	5	戦国時代		福井県教育委員会	
		目貫			4.4×1.0	福井県教育委員会	
	◎	鐘			2.3×3.3	福井県教育委員会	
	◎	鷲目			1.3×0.7	福井県教育委員会	
		笄			20.7×1.3	福井県教育委員会	
		小柄			9.5×1.3	福井県教育委員会	
96	一部◎	飾金具 (一乗谷朝倉氏遺跡出土品)	5	戦国時代	—	福井県教育委員会	
97	●	直江兼統題詩扇面	4	江戸時代初頭	(2) 16.6×49.3 (4) 17.1×51.0 (5) 17.0×55.3 (6) 17.8×48.3	米沢市上杉博物館	(2) (5) 10/6-11/5 (4) (6) 11/7-12/3
98	○	榊原政岑所用銀印	1	江戸時代中期	銀印 2.2×1.5 銀箱 2.4×4.5×高2.4	榊原家所蔵・財団法人旧高田藩 和親会管理「榊原家史料」	
99	○	菊時絵香道具	1	江戸時代	香箱 長径22.1、 短径13.8、高12.7 香盤 長径21.2、 短径12.9 聞香炉 径6.7、高7.1 重香合 長径7.7、 短径6.0、高7.1 焚燵入 縦4.0、横4.0、 高4.3	恵林寺(信玄公宝物館)	
100		丸に扇紋金箔押軒丸瓦 (内神田二丁目出土)	1	江戸時代前期	—	千代田区立日比谷図書文化館	
101		金箔軒丸瓦 (江戸城大道通出土)	1	江戸時代前期	—	千代田区立日比谷図書文化館	
102	○	金箔付飾瓦(甲府城跡出土)	2	桃山時代	—	山梨県立考古博物館	
103		会津若松城跡・坂十郎邸跡 出土金箔瓦(会津若松城出土)	3	桃山時代	—	会津若松市教育委員会	
		軒丸瓦	—	—	—	会津若松市教育委員会	
		飾瓦	—	—	—	会津若松市教育委員会	
		鱗瓦	—	—	—	会津若松市教育委員会	
104		金箔軒丸瓦 (同志社大学寒梅館地点出土)	1	桃山時代	—	同志社大学歴史資料館	
第2章 戦国～江戸時代の甲斐金山							
武田氏と甲斐金山							
105		武田勝頼像	1	文政13年(1830)	96.0×41.2	法泉寺	10/6-11/5
106		武田勝頼像	1	明治4年(1871)	121.5×42.0	恵林寺(信玄公宝物館保管)	11/7-12/3
107		甲斐国之図	1	江戸時代前期	121.5×139.8	山梨県立博物館	
108	○	王代記	1	室町～戦国	25.3×19.0	個人	
109	○	黒川金山遺跡出土品	44	戦国～江戸	—	甲州市教育委員会	
		陶磁器	—	—	—	甲州市教育委員会	
		土器	—	—	—	甲州市教育委員会	
		砥石	—	—	—	甲州市教育委員会	
		硯	—	—	—	甲州市教育委員会	
		銅銭	—	—	—	甲州市教育委員会	
110	□	中山金山遺跡出土品	18	戦国～江戸	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
		茶壺破片	—	—	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
		基石	—	—	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
		陶磁器	—	—	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
		天目茶碗	—	—	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
		穀白	—	—	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	

番号	指定	名称	員数	年代	法量または重量	所蔵者	展示期間
甲斐金山と金山衆							
111	◇	隨身半跏像	2	永禄2年(1559)	阿像：像高101.1、 座高81.0 卍像：総高96.3、 座高80.0	鶏冠神社	
112		御正体	1	戦国時代か	径16.6	鶏冠神社	
113		御正体	1	天正5年(1577)	径15.0	鶏冠神社	
114		武田家朱印状	1	元亀2年(1571)	31.2×45.4	個人	
115		武田家朱印状	1	天正5年(1577)	31.1×34.4	個人	
116		徳川家朱印状	1	天正11年(1583)	33.9×50.2	個人	
117	○	徳川家朱印状	1	文禄2年(1593)	42.2×66.0	山梨県立博物館	
118		黒川金掘等採掘願	1	慶安元年(1648)	32.0×88.7	個人	
119		御訴訟(運上問歩につき訴状)	1	慶安3年(1650)	31.4×58.5	個人(甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館寄託)	
120		書付を以申上候御事	1	貞享3年(1686)	27.5×71.5	個人(甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館寄託)	
121		萩原10カ村と 丹波山村山境論裁許絵図	1	江戸時代	84.4×92.3	個人	
第3章 佐渡金銀山の隆盛							
佐渡金銀山の黎明							
122		上杉景勝像	1	江戸時代後期	77.1×34.4	米沢市上杉博物館	10/6-11/5
123		直江兼統像	1	—	67.0×33.0	米沢市上杉博物館	11/7-12/3
124		浅野長政像(模本)	1	原本は江戸期か 模本は明治37年(1904)	78.7×45.1	東京大学史料編纂所	10/6-11/2
125		浅野長政像(模本)	1	原本は江戸時代か 模本は明治	69.9×40.0	東京大学史料編纂所	11/3-11/30
126		直江兼統書状	1	文禄4年(1595)	32.0×41.8	矢島町自治会	
127		西三川砂金山稼方図	1	江戸時代	—	新潟県立歴史博物館	
128		ゆり板	1	江戸時代	34.5×50.0	佐渡博物館	
129		鶴子惣振矩絵図	1	元禄14年(1701)	40.5×66.0	真柄静夫	
130		鶴子銀山遺跡出土品	17	—	—	佐渡市教育委員会	
131		『大日本租税志』 所収「蔵納目録」	1	明治18年(1885)	25.6×17.4	税務大学校 税務情報センター (租税史料室)	
132	○	堀直寄書状	1	元和5年(1619)	18.3×53.8	新潟大学附属図書館	
天領佐渡と鉱山町相川の成立							
133		徳川家康像	1	正保3年(1646)	113.7×56.3	国立歴史民俗博物館	10/6-11/5
134		徳川十六将図	1	江戸時代	122.6×55.6	山梨県立博物館	11/7-12/3
135		徳川家康判物	1	慶長5年(1600)	36.3×52.5	豊田神社(新発田市立図書館寄託)	
136		佐州全図	1	江戸時代	74.5×84.0	新潟県立歴史博物館	
137		佐州相川之図	1	元禄8年(1695)	82.5×120.0	真柄静夫	
138		上相川出土品	14	江戸時代前期	—	佐渡市教育委員会	
139		御役所向并寄勝場絵図	1	江戸時代	79.0×117.7	長岡市立中央図書館	
140	◎	佐渡奉行所跡出土品	40	江戸時代	—	佐渡市教育委員会	
141		諸役人先祖書	1	江戸時代	—	佐渡市立中央図書館	
142	○	味方但馬守家重絵像	1	江戸時代	80.7×45.6	味方重樹(両津郷土博物館寄託)	
143	○	味方家系図	1	明治時代	24.5×17.4	味方重樹(両津郷土博物館寄託)	
144	◇	堀秀治書状	1	慶長10年(1605)	—	個人(出雲崎町管理)	
甲斐・石見・佐渡のネットワーク							
145		大久保長安像	1	江戸時代	像高19.0	大安寺	
146	◇	大久保長安寄進能面 (白式尉・黒式尉・増女)	3	江戸時代	白式尉17.8×13.5 黒式尉17.5×13.5 増女20.9×13.5	城上神社	
147	◇	大久保長安寄進能面箱	1	江戸時代	22.5×34.0×27.0	城上神社	
148	◇	大久保長安寄進頭巾(冬用)	1	江戸時代	径24.0	城上神社	
149		大久保長安判物	1	慶長11年(1606)	37.0×55.0	個人	
151	◇	大久保石見守書状	1	慶長14年(1609)か	31.2×83.2	個人(石見銀山資料館寄託)	
152	○	川上家文書	1	慶長13年(1608)	32.0×42.5	個人(相川郷土博物館寄託)	
153		佐州地役人分限由緒書 上・下	2	—	17.0×24.0	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
154		江戸幕府奉行人連署状	1	寛永9年(1632)	16.1×46.8	個人	
155		伊丹康勝黒印状	1	慶安5年(1652)	32.7×89.6	個人	

番号	指定	名 称	員数	年 代	法量または重量	所蔵者	展示期間
156		辻家由緒書	2	江戸時代	由緒書24.2×17.5 親類書23.0×16.2	個人	
157	○	堀直寄書状	1	元和7年(1621)	18.2×53.4	新潟大学附属図書館	10/6-11/5
158	○	堀直寄書状	1	元和7年(1621)	17.9×333.5	新潟大学附属図書館	11/7-12/3
第4章 鉱山技術と貨幣製造技術							
甲斐の鉱山技術							
159		奥州盛岡金山鋪内稼方并金製法図	1	江戸時代	27.0×1500	東京大学工学・情報理工学図書館工4号館図書室A	
160		金鉱石(黒川金山遺跡出土)	2	戦国時代	—	甲州市教育委員会	
161		金鉱石(中山金山遺跡出土)	2	戦国～江戸	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
162		搦石・搦白(中山金山採取)	2	戦国～江戸	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
163		搦白(鳴海金山採取)	1		—	村上市教育委員会	
164	○	凹石(黒川金山遺跡出土)	3	戦国時代	—	甲州市教育委員会	
165	○	磨石・磨白(黒川金山遺跡出土)	10	戦国時代	—	甲州市教育委員会	
166	○	磨石・磨白(中山金山遺跡出土)	2	戦国～江戸	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
167		磨石・磨白(粹久保金山遺跡出土)	2	戦国～江戸	—	川上村教育委員会	
168	○	黒川型回転白(黒川金山遺跡出土)	1	戦国時代	—	甲州市教育委員会	
169	○	黒川型回転白(鳴海金山採取)	1		—	村上市教育委員会	
170		湯之奥型回転白(中山金山採取)	1	戦国～江戸	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
171		湯之奥型回転白(内山金山採取)	1	戦国～江戸	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
172	◇	湯之奥型回転白(鳴海金山採取)	1		—	村上市教育委員会	
173		リンス型回転白(粹久保金山遺跡出土)	1	戦国～江戸	—	川上村教育委員会	
174	◇	リンス型回転白(鳴海金山採取)	1		—	村上市教育委員会	
175	○	フネ(木槽)	1	江戸時代	—	個人	
176	○	セリイタ	2	江戸時代	—	個人	
177		ユリカス(中山金山遺跡出土)	1	戦国～江戸	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
178		ユリカス(粹久保金山遺跡出土)	2	戦国～江戸	—	川上村教育委員会	
179	○	熔融物付着土器(黒川金山遺跡出土)	11	戦国～江戸	—	甲州市教育委員会	
180	○	熔融物付着土器・陶器(中山金山遺跡出土)	3	戦国時代	—	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館	
181		熔融物付着土器・陶器(粹久保金山遺跡出土)	4	戦国～江戸	—	川上村教育委員会	
182		熔融物付着土器(勝沼氏館跡出土)	10	戦国時代	—	甲州市教育委員会	
183		熔融物付着土器(騎西城武家屋敷跡出土)	4	戦国時代	—	加須市教育委員会	
184		熔融物付着土器(大内氏関連町並遺跡出土)	3	戦国時代	—	山口市教育委員会	
185		金生産関連資料(甲府城下町遺跡出土)	8	江戸時代	—	山梨県埋蔵文化財センター	
		熔融物付着土器	—	—	—	山梨県埋蔵文化財センター	
		羽口	—	—	—	山梨県埋蔵文化財センター	
		石製品	—	—	—	山梨県埋蔵文化財センター	
186		金工品生産関連資料(一乗谷朝倉氏遺跡出土)	10	戦国時代	—	福井県教育委員会	
		羽口	—	—	—	福井県教育委員会	
		埴塙	—	—	—	福井県教育委員会	
		銅地金	—	—	—	福井県教育委員会	
		土製文様型	—	—	—	福井県教育委員会	
187		金工品生産関連資料(同志社大学寒梅館・図書館地点出土)	15	戦国～江戸	—	同志社大学歴史資料館	
		金薄板片	—	—	—	同志社大学歴史資料館	
		銅地金	—	—	—	同志社大学歴史資料館	
		土器文様型	—	—	—	同志社大学歴史資料館	
		埴塙	—	—	—	同志社大学歴史資料館	
佐渡の鉱山技術							
188		金銀鉱石	1	江戸時代	30×15	株式会社ゴールデン佐渡	
189		金銀鉱石	1	江戸時代	10.5×8	佐渡博物館	
190		立合引銀山岡絵図	1	江戸時代	78.0×53.2	長岡市立中央図書館	

番号	指定	名称	員数	年代	法量または重量	所蔵者	展示期間
191	○	雲子新見立之絵図	1	江戸時代	34.5×74.5	味方重樹（両津郷土博物館寄託）	
192		金銀山大概書	1	江戸時代	28.0×22.5	相川郷土博物館	
193		佐州金銀山諸道具其外名附留帳	1	江戸時代	22.8×16.3	新潟県立歴史博物館	
194		佐渡国金銀山図	1	江戸時代		新潟県立歴史博物館	
195		てへん	1	江戸時代	径18	佐渡博物館	
196	◇	上田箸	1	—	長26	相川郷土博物館	
197	◇	鑿	1	—	長18.5	相川郷土博物館	
198	◇	鋸	1	—	長30	相川郷土博物館	
199	◇	釣	1	—	長30	相川郷土博物館	
200	◇	灯明皿	3	—	径10	相川郷土博物館	
201		丸木はしご	1	江戸時代	182×11	相川郷土博物館	
202		佐州金山堀方之図	1	江戸時代	65.5×109.0	真柄静夫	
203	○	スポン樋見取図	1	江戸時代	25.0×34.5	味方重樹（両津郷土博物館寄託）	
204		佐渡金銀山絵巻	1	江戸時代	—	新潟県立歴史博物館	
205		水上輪	1	昭和時代	長325×径30	ゴールデン佐渡	
206		水上輪	1	昭和時代	長233×径30	新潟県立歴史博物館	
207		かな桶と釣瓶の滑車	1	—	かな桶23×22 滑車 38×26	相川郷土博物館	
208		佐州相川惣銀山 山敷岡高下振矩絵図	1	元禄8年（1696）	92.5×258	東京大学工学・情報理工学図書館 工4号館図書室A	
209		方位羅盤	1	江戸時代	—	佐渡市教育委員会	
210		方位羅盤	1	江戸時代	31×31×31.5	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 岩石工学研究室	
211		四方矩	1	江戸時代	31×30×2.5	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻 岩石工学研究室	
212		校正振矩術	1	江戸時代後期	—	相川郷土博物館	
213		叩石	1	江戸時代	—	佐渡市教育委員会	
214		石磨（上磨・下磨）	1	江戸時代	—	佐渡市教育委員会	
215		佐渡国口留番所并金銀吹方絵図	1	江戸時代	—	新潟県立歴史博物館	
216	◎	鉛板（佐渡奉行所跡出土品）	2	江戸時代前期	70×27	佐渡市教育委員会	
217	◎	荷札木簡（佐渡奉行所跡出土品）	3	江戸時代前期	16×2	佐渡市教育委員会	
218		鞆	1	江戸時代	147×38×70	相川郷土博物館	
219		羽口	2	江戸時代	20×5	相川郷土博物館	
220		佐渡国金銀山図	1	江戸時代	—	新潟県立歴史博物館	
221	◎	盤状土製品（佐渡奉行所跡出土品）	2	江戸時代	—	佐渡市教育委員会	
222	◎	棒状土製品（佐渡奉行所跡出土品）	3	江戸時代	—	佐渡市教育委員会	
小判の製造技術							
223		佐渡国金銀山敷岡稼方図	1	江戸時代	—	新潟県立歴史博物館	
225		大判極印	1	江戸時代	—	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
226		佐渡小判極印	2	江戸時代	—	日本銀行金融研究所貨幣博物館	
227		小判製造工程復元資料	1	現代	—	国立歴史民俗博物館	
		棹金	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		竹流台	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		延金	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		荒切小判	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		極印・鑿	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		打替小判	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		莫産目途中の小判	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		色付前的小判	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		色付小判	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
		色付葉	—	—	—	国立歴史民俗博物館	
エピソード							
228		金のインゴット・ 銀のインゴット	2	平成	金：998g 銀：29654g	佐渡市	

【展示平面図】



iv 黒駒勝蔵 対 清水次郎長ー時代を動かしたアウトローたちー

【会 期】平成25年2月9日(土)から同年3月18日(月)まで

会期日数38日、展示日数33日

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】笛吹市教育委員会、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、株式会社山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【入場者数】7,203人

【担当者名】学芸員 高橋 修、近藤暁子

【概 要】

黒駒勝蔵（1832～1871）は清水次郎長のライバルとして、また、甲州を代表する博徒として小説や芝居、映画の世界では有名であったものの、その実像は従来、謎に包まれていた。それが、近年の相次ぐ新資料の発見、研究の進展により、甲州博徒は単なる博奕を生業とする武装集団であったのではなく、江戸から明治へという激動の時代を駆け抜け、歴史を大きく動かす重要な役割を担っていたことが明らかにされるようになってきた。そこで、本展では歴史資料類を丹念に読み解きながら、彼等甲州博徒の実像を明らかにすることを目的に開催した。



展覧会ちらし

【関連イベント】

■講談「清水次郎長」実演

- ・日 時 平成25年2月23日（土）午後2時～午後3時
- ・場 所 常設展示 寺子屋ひろば
- ・演 者 宝井駿之介氏（講談協会）

■菅原文太さんが語る「アウトローの生き様」

- ・日 時 平成25年3月2日（土）午後2時～午後3時
- ・場 所 山梨県総合教育センター大研修室
- ・講 師 菅原文太氏（俳優）

高橋 敏氏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

■記念講演会「甲州博徒の群像」

- ・日 時 平成25年3月3日（日）午後1時30分～午後3時

- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 高橋 敏氏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

■「黒駒勝蔵 対 清水次郎長」展関連ミニ展示

- ・主 催 山梨県立博物館・NPO法人つなぐ
- ・日 時 平成25年1月5日（土）から
同年1月14日（月・祝日）まで
- ・場 所 甲府市立図書館

■かいじあむ古文書講座「博徒に関する古文書を読む1・2」

- ・日 時 平成25年2月9日（土）・同年3月9日（土）
午後1時30分～午後3時

- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 高橋 修（学芸員）

■甲州博徒の大親分 三井卯吉ゆかりの地を巡るツアー

- ・日 時 平成25年2月17日（日）
午前11時30分～午前12時 午後2時～午後3時30分

- ・場 所 企画展示室、甲府市内

■かいじあむ子ども工房「サイコロを作って双六で遊ぼう！」

- ・日 時 平成25年2月24日（日）午前10時30分～午後3時
- ・場 所 エントランスロビー

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成25年2月9日（土）、10日（日）、11日（月・祝）、同年3月9日（土）
午後3時から30分間程度

※その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施 午後3時から30分間程度



展示風景

【出品資料一覧】

番号	資料名	年代	形態	所蔵	員数
卷之一 博徒の世界					
1	史記	明治2年(1869)	和本	山梨県立博物館	2冊
2	町村取調書	大正5年(1916)	和本装	山梨県立博物館	1冊
3	町村取調書	大正5年(1916)	和本装	山梨県立博物館	1冊
4	富士三十六景 甲斐御坂越	安政5～6年(1858～9)	錦絵	山梨県立博物館	1枚
5	富士三十六景 駿河三保之松原	安政5～6年(1858～9)	錦絵	山梨県立博物館	1枚
6	黒駒勝蔵肖像画		掛軸	称願寺	1巻
7	清水次郎長肖像画		掛軸	次郎長翁を知る会	1巻
卷之二 博徒王国だった甲斐					
8	木刀		木刀	個人蔵	1本
9	火縄銃		火縄銃	個人蔵	1挺
10	差上申一札之事(博徒間ノ喧嘩御吟味ノ件ニ付)	文政6年(1823)	継紙	個人蔵	1枚
11	竹川家由書	明暦元年(1755)	継紙	個人蔵	1巻
12	題侠争闘兼寄 秋田郎		切紙	個人蔵	1枚
13	往来手形之事	文化12年(1815)	継紙	個人蔵	1枚
14	覚(御奉加金請取ニ付)	文化12年(1815)	折紙	個人蔵	1枚
15	覚(奉納金受取ニ付)	文化14年(1817)	縦紙	個人蔵	1枚
16	借用申金子証文之事	文政2年(1819)	縦紙	個人蔵	1枚
17	敵討甲斐名所記	文政4年(1821)	和本	山梨県立博物館	1冊
18	天保騒動絵図		絵地図	山梨県立博物館	1鋪
19	無宿悪党取締方の仰渡しにつき請書	天保11年(1840)	縦帳	山梨県立博物館	1冊
20	無宿悪党取締の触につき請印帳	文久3年(1863)	縦帳	山梨県立博物館	1冊
21	罪人護送の駕籠(想定復元)		駕籠	公益財団法人 府中文化振興財団府中市郷土の森博物館	1点
22	足かせ(想定復元)		足かせ	公益財団法人 府中文化振興財団府中市郷土の森博物館	1点

番号	資料名	年代	形態	所蔵	員数
23	博徒取り締まりのために設けられた圍(牢屋)復元模型		模型	公益財団法人 府中文化振興財団府中市郷土の森博物館	1点
24	上黒駒村下黒駒村両村所有之絵図		絵地図	山梨県立博物館	1鋪
25	甲州八代郡大石和筋上黒駒村宗目人別帳	正徳3年(1713)	縦帳	山梨県立博物館	1冊
26	小池嘉兵衛自筆書状		縦紙	山梨県立博物館	1枚
27	小池嘉兵衛自筆書状		縦紙	山梨県立博物館	1枚
28	(無宿勝蔵・綱五郎動静二付書置)		切紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	2枚
29	(取締役人ノ宿泊地ノ件ニ付書状)		縦紙	山梨県立博物館	1枚
30	中村家相方位鑑定図	明治4年(1871)	絵地図	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1鋪
31	差上申一札之事(安蔵口論暴行のための示談書)	天保8年(1837)	縦紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
32	安五郎から兄甚兵衛宛書簡		縦紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
33	安五郎から兄甚兵衛宛書簡		縦紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
34	(国分三蔵トノ懸合方ノ件ニ付書状)	慶応3年(1867)	縦紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
35	乍恐以書付御訴訟申上候(勇天他1名の悪党逃散一件)	文久元年(1861)	縦帳	個人蔵	1冊
36	敵討瓦版	安政4年(1857)	縦紙	山梨県立博物館	1枚
巻之三 清水次郎長との対決					
37	津向文吉肖像写真スケッチ		紙	個人蔵	1枚
38	津向屋看板	昭和3年(1928)	板	個人蔵	1枚
39	宮沢栄吉肖像写真スケッチ		紙	個人蔵	1枚
40	津向文吉位牌	明治16年(1883)	木	個人蔵	1点
41	流入科帳 三	嘉永2~5年(1849~52)	帳簿	東京都公文書館	1冊
42	流入存命書上帳		帳簿	東京都公文書館	1冊
43	流罪人送状		帳簿	東京都公文書館	1冊
44	禪宗門人別改帳		縦帳	山梨県立博物館	1枚
45	西八代郡鴨狩津向村略図		絵地図	山梨県立博物館	1鋪
46	新板色摺甲斐国絵図	文政8年(1825)	絵地図	山梨県立博物館	1鋪
47	富士川水運高瀬舟模型		模型	身延町教育委員会	1点
48	無宿者人相手記触書	嘉永2年(1849)	縦帳	山梨県立博物館	1冊
49	武州石原村無宿幸次郎一味御留め人足の覚	嘉永2年(1849)	縦紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
50	御用懐中日記手拍	安政5年(1858)	横帳	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1冊
51	乍恐以書付奉願上候(市中南口料理屋渡世ノ者ニテ一軒二貳人 ツツノ機織女ヲ雇イタキ件ニ付)	明治元年(1868)	縦紙	個人蔵	1枚
52	甲府買物独案内	明治5年(1872)	横帳	山梨県立博物館	1冊
53	次郎長自筆書簡類貼り交ぜ掛け軸		掛軸	梅蔭寺	1巻
54	三代目お蝶の日記	明治17年(1884)	卷子	梅蔭寺次郎長資料室	1巻
55	次郎長宛て天田愚庵書簡	明治12年(1879)	卷子	梅蔭寺次郎長資料室	1巻
56	諷経帳(次郎長香典帳)	明治26年(1893)	横帳	梅蔭寺次郎長資料室	1冊
57	(次郎長17回忌香典帳)	明治42年(1909)	横帳	梅蔭寺次郎長資料室	1冊
58	鯉沢遺跡出土 骰子		骰子	山梨県立考古博物館	1点
59	堀田本 七十一番職人歌合		卷子	山梨県立博物館	1巻
60	清水湊諸問屋年番廻文写	慶応元年(1865)	縦帳	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1冊
61	富士見十三州輿地全図	天保13年(1842)	絵地図	山梨県立博物館蔵	1鋪
巻之四 激動の時代における勝蔵と次郎長の生き様					
62	(大政奉還ノ書付写)	慶応4年(1868)	折紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
63	地方廻状写し	慶応4年(1868)	折紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	3枚
64	京都三条大橋御高札之写 他	慶応4年(1868)	切紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
68	小沢一仙書状		縦紙	山梨県立博物館	1枚
66	欄間彫刻下図小沢一仙信秀筆		縦紙	山梨県立博物館	1枚
67	元治甲子 官武通紀 一	元治元年(1864)	和本	独立行政法人国立公文書館	1冊
68	丑六月六日上黒駒山狩強壯人	慶応元年(1865)	横帳	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1冊
69	甲州黒駒勝蔵評判くどき		和本	山梨県立博物館	1冊
70	勤王侠客黒駒勝蔵	昭和18年(1943)	洋本	山梨県立博物館	1冊
71	次郎長宛て間野隆太御用状	慶応4年(1868)	縦紙	梅蔭寺次郎長資料室	1枚
72	諷吟帳(3代目お蝶香典帳)	大正5年(1916)	横帳	梅蔭寺次郎長資料室	1冊
73	町村取調書	大正5年(1916)	和本装	山梨県立博物館	1冊
74	賊徒・博徒取締受書連印帳	明治3年(1870)	縦帳	山梨県立博物館	1冊
75	入置申対談書之事(黒川金山探掘ノ件ニ付)	明治2年(1869)	縦紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
76	乍恐以書付奉申上候(松木源重郎二依ル入会山内黒川金山問堀ノ件ニ付)	明治2年(1869)	縦紙	個人蔵(山梨県立博物館寄託)	1枚
77	山梨県史綱抄録 政治部 刑(明治元~13年)	明治	縦帳	独立行政法人国立公文書館	1枚
78	黒駒勝蔵紙牌	明治4年(1871)	紙牌	個人蔵	1枚

※いずれの資料も全会期中展示した。

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成24年5月19日（土）、6月3日（日）、6月17日（土）
午後3時から30分間程度



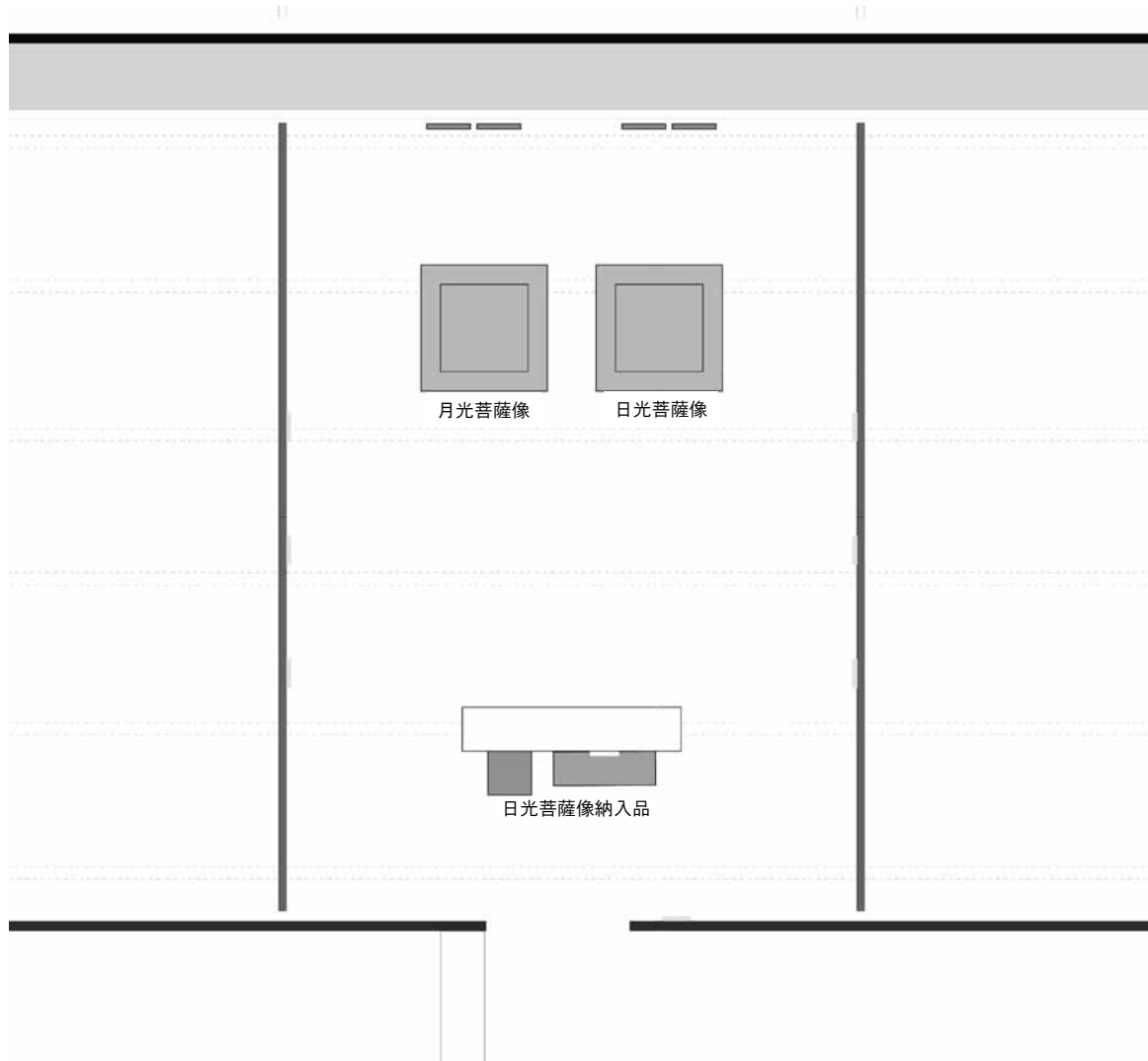
展示風景

【出品資料一覧】

	指定	資料名	員数	材質	時代	所蔵
1	重要文化財	日光菩薩立像	1 軀	木造・漆箔	鎌倉時代 13世紀	大善寺
2	重要文化財	月光菩薩立像	1 軀	木造・漆箔	鎌倉時代 13世紀	大善寺
3		日光菩薩像納入品	薬師如来坐像印仏紙束 1点	紙製	鎌倉時代 13世紀	大善寺
			薬師如来坐像印仏 1枚			
			薬師如来立像印仏 1枚			
			十一面観音菩薩立像印仏 1枚			

※納入品は平成24年度末に重要文化財に附けたり指定された。

【展示平面図】



ii どうそじんワンダーワールドAGAINーやまなしの道祖神祭りー

【会 期】平成25年1月2日(水)から同年1月28日(月)まで
会期日数27日、展示日数24日

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】3,102人

【担 当】学芸員 丸尾依子、春原史寛

【概 要】

山梨を代表する祭りのひとつである道祖神祭りについて、多様性と信仰の歴史を紹介した。展示資料は、平成17年の開館時に実施した企画展「やまなしの道祖神祭りーどうそじん・ワンダーワールドー」を基本に、当時製作依頼した県内各地の飾りや一般公募した写真、幕絵などを中心に再構成した。なお、第28回富士の国やまなし国民文化祭記念事業としても実施した。

【関連イベント】

■かいじあむ古文書講座「道祖神祭り関係の古文書を読む」

- ・日 時 平成25年1月12日(土) 午後1時30分～午後3時
- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 宮澤富美恵(職員)

■かいじあむ講座「道祖神展の見どころについて」

- ・開催日 平成25年1月14日(月・祝) 午前10時～午前11時30分
- ・場 所 生涯学習室
- ・講 師 丸尾依子(学芸員)

■かいじあむ子ども工房「まゆだまの団子を作ろう」

- ・日 時 平成25年1月14日(月・祝) 午後0時～
(材料がなくなり次第終了)
- ・場 所 体験学習室

■かいじあむ検定

- ・主 催 県立博物館 NPO法人つなぐ
- ・日 時 平成25年1月14日(月・祝)
第1部(講座)：午前10時～午前11時30分
第2部(ウォーキング)：午後2時～午後3時30分

※第2部は降雪のため中止

- ・場 所 第1部：体験学習室
第2部：笛吹市石和町

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成25年1月6日(日)、12日(土)、14日(月・祝)
午後3時から1時間程度
但し、1月14日(月・祝)のみ午前11時30分から30分
間程度



展覧会ちらし

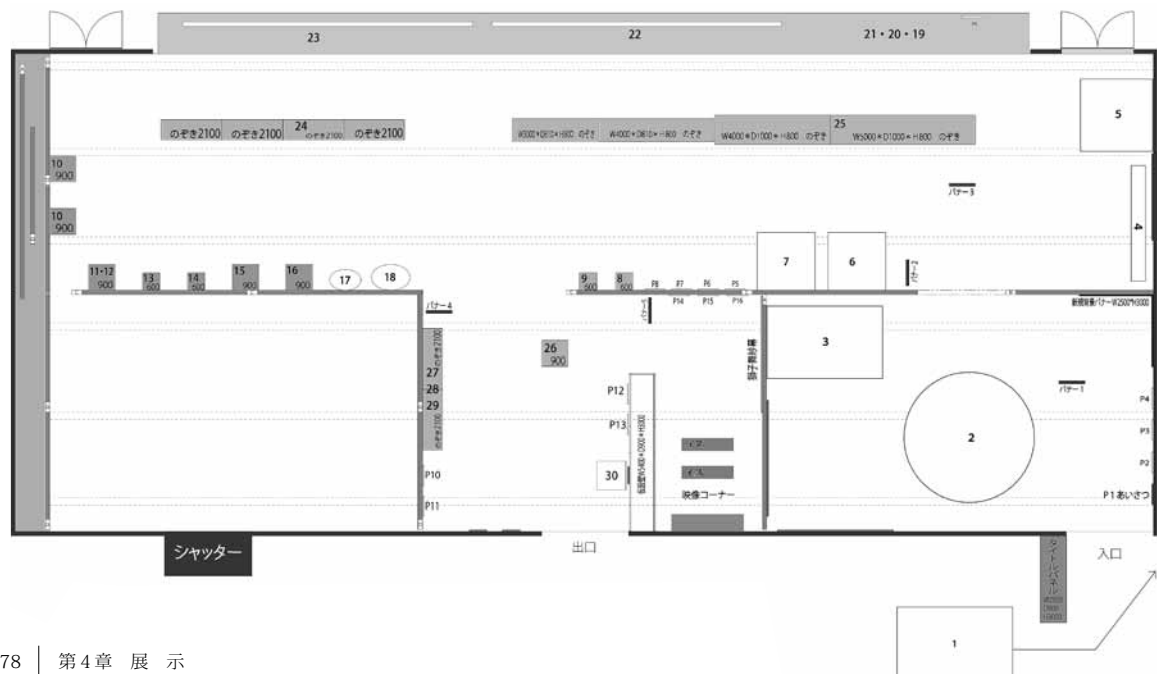


展示風景

【出品資料一覧】

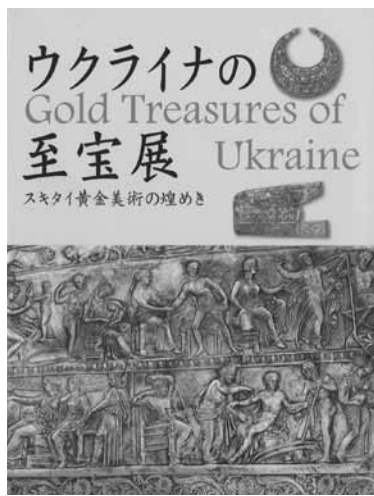
番号	資料名	備考	地域	年代	法量	員数	所蔵
1	市川三郷町黒沢大木のオコヤ	再現制作品	市川三郷町黒沢大木	平成17年(2005)	約3×4×2m	1点	当館蔵
2	北杜市明野町上神取のオヤナギサン	再現制作品	北杜市明野町上神取	平成17年(2005)	高さ約10m	1点	当館蔵
3	山梨市牧丘町牧平のオカリヤ	再現制作品	山梨市牧丘町牧平	平成17年(2005)	約2×2×4m	1点	当館蔵
4	笛吹市春日居町熊野堂下組のオドンド	再現制作品	笛吹市春日居町熊野堂下組	平成17年(2005)	高さ約15m	1点	当館蔵
5	笛吹市八代町米倉のオコヤ	再現制作品	笛吹市八代町米倉	平成17年(2005)	約2×2.5×2m	1点	当館蔵
6	山梨市市川第三班のオコヤ	再現制作品	山梨市市川第三班	平成17年(2005)	約2×3.5×2m	1点	当館蔵
7	北杜市高根町海道のオオカリヤ	再現制作品	北杜市高根町海道	平成17年(2005)	約2×2×2m	1点	当館蔵
8	火事見舞いの藁馬	再現制作品	北杜市高根町海道	平成17年(2005)	35.0×22.0×12.0cm	1点	当館蔵
9	藁馬	—	北杜市須玉町	平成	62.0×25.0×25.0cm(大) 21.5×8.5×12.0cm(小)	1対	当館蔵
10	男女のサル(神木奉納物)	—	富士河口湖町大石	平成17年(2005)	92.0×123.0×43.0cm(男) 85.0×122.0×33.0cm(女)	1対	当館蔵
11	「水祝儀」祝儀品	—	甲州市塩山一之瀬高橋	平成22年(2010)		1点	甲府市個人蔵
12	オカタブチの棒	—	南巨摩郡早川町奈良田	昭和	長さ63.0cm× 高さ10.0cm×幅9.5cm	1点	当館蔵 (小沢泰三氏収集資料)
13	オデク	—	南アルプス市沓沢	不明	7.3×17.0×5.5cm	1点	当館蔵
14	ハイボコサン	—	北杜市明野町上神取	平成17年(2005)	20.0×9.0×12.0cm	1点	当館蔵
15	養蚕のザル	—	笛吹市春日居町熊野堂下組	昭和33年(1958)	高さ30.0×径41.0cm	1点	当館蔵
16	道祖神祭りの分配品	—	山梨市牧丘町島谷原	平成23年(2011)	65.0×91.0×24.0cm	1点	当館蔵
17	ヒブセ	—	山梨市牧丘町牧平	平成17年(2005)	径55.0×厚さ9.0cm	1点	
18	マユダマダンゴ	模造品	—	平成17年(2005)	約120.0×140.0× 120.0cm	1点	当館蔵
19	『甲府道祖神祭礼永代帳』	—	甲府八日町一丁目	安永9年(1780)	20.0×16.0cm	1冊	当館蔵(甲州文庫)
20	諸国祭礼尽双六	—	—	江戸時代	各37.0×25.5cm	3枚	甲府市個人蔵
21	『甲州道中記』写本	—	—	慶応2年(1866)頃	24.0×16.2cm	1冊	当館蔵(若尾資料)
22	歌川広重筆「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動瀧」	山梨県指定文化財	甲府緑町一丁目(現甲府市若松町)	天保12年(1841)頃	163.0×1060.2cm	1張	当館蔵
23	二代歌川広重筆「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 洲崎汐干狩」	山梨県指定文化財	甲府緑町一丁目(現甲府市若松町)	元治1年(1864)頃	163.0×1084.2cm	1張	当館蔵
24	伝歌川広重筆「東海道五十三次画稿」	—	甲府柳町三丁目	江戸時代	各27.7×81.0cm	39枚	甲府市個人蔵
25	作者不詳「東海道五十三次画卷」	—	—	江戸時代	各32.2×990.0cm	4巻	甲府市個人蔵
26	『峡中新聞』第四号	—	—	明治5年(1872)	15.0×23.0cm	1冊	当館蔵(大木家資料)
27	「道祖神祭礼再開願」	—	山梨郡西保下村上組之内馬場組 (現山梨市牧丘町西保下馬場)	天保11年(1840)	24.4×60.2cm	1枚	当館蔵(武藤家文書)
28	『風俗画報』第二十六号	—	—	明治24年(1891)	26.0×19.5cm	1冊	当館蔵(頼生文庫)
29	『金草鞋十二編身延山道中之記』	—	—	文政2年(1819)	18.1×12.3cm	1冊	当館蔵(甲州文庫)
30	韓国扶餘陵山里寺跡出土陽物形木簡	複製	韓国扶餘陵山里寺跡出土	538~567年頃	2.5×22.6×2.5cm	1点	当館蔵原資料 韓国国立扶餘博物館

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発行年月日	体 裁
1	「ウクライナの至宝」展カタログ	平成23年	A4版変形 123頁 (発行「ウクライナの至宝」展カタログ委員会)
2	「大善寺 日光・月光菩薩像」展リーフレット	平成24年5月19日	A4版 4頁
3	中坊徹次『クニマスと共に一過去から未来へ』 (「クニマスは生きていたー山梨おさかな発見物語ー」展リーフレット)	平成24年7月14日	A4版 8頁
4	「黄金の国々ー甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山ー」展図録	平成24年10月4日	A4版変形 240頁 (発行「黄金の国々ー甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山」展実行委員会)
5	「やまなしの道祖神祭りーどうそじん・ワンダーワールドー」 (どうそじんワンダーワールド AGAIN「やまなしの道祖神祭り」展図録)	平成25年1月2日改訂(第2版)	B5版変形 103頁
6	「黒駒勝蔵 対 清水次郎長ー時代を動かしたアウトローたちー」展図録	平成25年2月9日	A4版 32頁



1



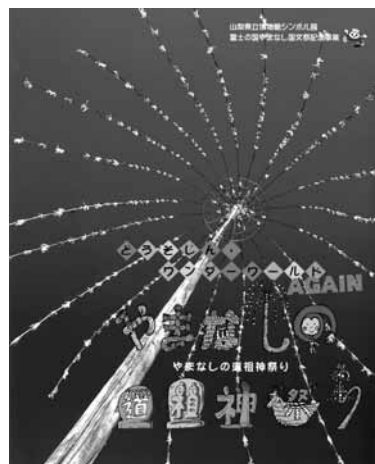
2



3



4



5



6

第5章 企画交流事業

(1) 生涯学習サービス事業

① 講演会・講座・シンポジウム等

■ 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成24年 4月8日(日)	三枝仁也(県立博物館前副館長)	「武田勝頼は土佐で生きていた?」	恩賜林記念館	98
4月15日(日)	林 俊雄(創価大学教授)	「スキタイ黄金美術と動物文様」	県立博物館	51
8月19日(日)	中坊徹次(京都大学博物館教授) 三浦 久(田沢湖に命を育む会)	「クニマスと共に一過去から未来へー」	県立博物館	78
11月4日(日)	井澤英二(九州大学名誉教授) 中島圭一(慶應義塾大学教授)	「黄金の国々 記念講演会」	山梨県総合教育センター	101
平成25年 3月2日(土)	菅原文太 高橋 敏(国立歴史民俗博物館名誉教授)	「菅原文太さんが語る『アウトローの生き様』」	山梨県総合教育センター	253
3月3日(日)	高橋 敏(国立歴史民俗博物館名誉教授)	「甲州博徒の群像」	県立博物館	183

■ 講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
平成24年 5月20日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 出土文字資料から古代国家の実像を描く 1」	県立博物館	52
7月15日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 出土文字資料から古代国家の実像を描く 2」	県立博物館	53
9月16日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 出土文字資料から古代国家の実像を描く 3」	県立博物館	58
11月18日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 出土文字資料から古代国家の実像を描く 4」	県立博物館	32
平成25年 1月20日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 出土文字資料から古代国家の実像を描く 5」	県立博物館	39
3月17日(日)	平川 南(当館館長)	「館長トーク 出土文字資料から古代国家の実像を描く 6」	県立博物館	45
平成24年 4月14日(土)	西川 広平(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 はじめて学ぶ古文書 1」	県立博物館	39
5月12日(土)	西川 広平(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 はじめて学ぶ古文書 2」	県立博物館	70
6月 9日(土)	宮澤富美恵(当館職員)	「かいじあむ古文書講座 甲州文庫を読む」	県立博物館	88
7月14日(土)	高橋 修(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 おさかな関係の古文書を読む」	県立博物館	65
8月11日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 川中島の戦いの古文書を読む 1」	県立博物館	81
9月 8日(土)	西川 広平(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 川中島の戦いの古文書を読む 2」	県立博物館	70
10月13日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 金山関係の古文書を読む 1」	県立博物館	65
11月10日(土)	海老沼真治(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 金山関係の古文書を読む 2」	県立博物館	73
平成25年 1月12日(土)	宮澤富美恵(当館職員)	「かいじあむ古文書講座 道祖神関係の古文書を読む」	県立博物館	68
2月 9日(土)	高橋 修(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 博徒関係の古文書を読む 1」	県立博物館	94
3月 9日(土)	高橋 修(当館学芸員)	「かいじあむ古文書講座 博徒関係の古文書を読む 2」	県立博物館	85
平成24年 4月14日(土)	—	「古文書相談 1」	県立博物館	5
5月12日(土)	—	「古文書相談 2」	山梨市民会館	3
6月 9日(土)	—	「古文書相談 3」	県立博物館	9
7月14日(土)	—	「古文書相談 4」	大月市民会館	1
8月11日(土)	—	「古文書相談 5」	県立博物館	2
9月 8日(土)	—	「古文書相談 6」	北杜市郷土資料館	6
10月13日(土)	—	「古文書相談 7」	県立博物館	9
11月10日(土)	—	「古文書相談 8」	早川町交流促進センター	2
平成25年 2月 9日(土)	—	「古文書相談 9」	県立博物館	9

■シンポジウム

開催年月日	内 容	開催場所	参加者 (人)
平成24年 7月14日(土)	日本魚類学会市民公開講座「クニマス：生物学的実体解明とその保全を考える」	山梨県総合教育センター	200
平成25年 3月24日(日)	山梨県立博物館・山梨県富士山総合学術調査研究委員会主催 富士河口湖町教育委員会・山梨県郷土研究会・山梨県考古学協会共催 「富士山総合学術調査研究シンポジウムー富士山信仰の拠点・河口の神社と町を考えるー」 ・菊池邦彦氏（東京都立産業技術高等学校教授） 「河口の御師と町」 ・杉本悠樹氏（富士河口湖町教育委員会文化財主事） 「河口地区の遺跡」 ・浅野久枝氏（同志社女子大学嘱託講師） 「河口御師集落の民俗」 ・北川 洋氏（東京農工大学非常勤講師） 「富士山信仰の御師住宅」 パネルディスカッション 司会：萩原三雄氏（帝京大学文化財研究所）	富士河口湖町 河口地区公民館	150

■やまなし再発見講座・かいじあむ講座（山梨県生涯学習推進センターと共催）

◎「やまなしの黄金文化」

開催年月日	講 演 者	タ イ ト ル	開催場所	参加者 (人)
平成24年10月25日(木)	中山誠二（当館学芸課長）	「発掘成果から見た金山」	山梨県生涯学習推進センター	66
11月 1日(木)	海老沼真治（当館学芸員）	「武田氏と黄金」	山梨県生涯学習推進センター	57
11月 8日(木)	杵名貴彦（当館学芸員）	「科学分析から探る山梨の金山」	山梨県生涯学習推進センター	60

◎「山梨国民文化祭のテーマを学習する」

開催年月日	講 演 者	タ イ ト ル	開催場所	参加者 (人)
平成25年 1月10日(木)	丸尾依子（当館学芸員）	「山梨の道祖神」	山梨県生涯学習推進センター	115
1月17日(木)	高橋 修（当館学芸員）	「甲府道祖神祭礼」	山梨県生涯学習推進センター	101
1月24日(木)	西川広平（当館学芸員）	「治水・利水の歴史と“文化”」	山梨県生涯学習推進センター	100
1月31日(木)	堀内 真（当館嘱託職員）	「富士山にまつわる人物伝」	山梨県生涯学習推進センター	96

◎かいじあむ講座単独

開催年月日	講 演 者	タ イ ト ル	開催場所	参加者 (人)
平成24年 6月17日(日)	近藤暁子（当館学芸員）	かいじあむ講座 「大善寺日光・月光菩薩像について」	県立博物館	82
7月29日(日)	植月 学（当館学芸員）	かいじあむ講座 「魚のホネを調べてみよう」	県立博物館	40
10月21日(日)	杵名貴彦（当館学芸員）	かいじあむ講座 「金銀生産技術と鉱山絵巻」	県立博物館	15
平成25年 1月14日(月・祝)	丸尾依子（当館学芸員）	かいじあむ講座 「道祖神展の見どころについて」	県立博物館	34
講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計				3,003

②体験プログラム

開催年月日	内 容	開催場所	参加者 (人)
平成24年 4月21日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6
5月19日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
6月16日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	9
7月21日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
8月18日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
9月15日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
10月20日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10
11月17日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
12月15日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7
平成25年 1月19日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
2月16日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5
3月16日(土)	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10

平成24年 4月 1日(日)	かいじあむ子ども工房「銅板レリーフを作ってみよう！」	県立博物館	30
4月22日(日)	かいじあむ子ども工房「銅板レリーフを作ってみよう！」	県立博物館	30
5月27日(日)	かいじあむ子ども工房「仏像を描いてみよう！」	県立博物館	8
6月24日(日)	かいじあむ子ども工房「茶道を体験しよう」(表千家 山梨県青年部)	県立博物館	105
7月22日(日)	かいじあむ子ども工房「魚釣りゲームを作って遊ぼう」	県立博物館	74
8月26日(日)	かいじあむ子ども工房「魚釣りゲームを作って遊ぼう」	県立博物館	60
9月23日(日)	かいじあむ子ども工房「お米の収穫体験をしよう」	県立博物館	32
10月28日(日)	かいじあむ子ども工房「ころ柿を作ろう」	県立博物館	39
11月25日(日)	かいじあむ子ども工房「砂金すくいを体験しよう」(甲斐黄金村・湯之奥金山博物館)	県立博物館	60
12月23日(日)	かいじあむ子ども工房「しめ縄をつくろう」	県立博物館	43
平成25年 1月14日(月・祝)	かいじあむ子ども工房「小正月のまゆ玉作り」	県立博物館	25
1月27日(日)	かいじあむ子ども工房「節分のお面を作ろう」	県立博物館	24
2月24日(日)	かいじあむ子ども工房「サイコロを作って双六で遊ぼう」	県立博物館	25
3月10日(日)	かいじあむ子ども工房「水晶研磨の実演・体験」(NPO法人山梨水晶会議)	県立博物館	91
3月24日(日)	かいじあむ子ども工房「太鼓をたたいてみよう」(笛吹高校すいれき太鼓部)	県立博物館	131
平成24年 5月 3日(木)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・紙かぶと・缶バッジ・弓矢※雨天中止)	県立博物館	152
5月 4日(金)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・紙かぶと・缶バッジ・草餅)	県立博物館	216
5月 5日(土)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・弓矢)	県立博物館	130
5月 6日(日)	かいじあむ子ども祭り(鎧・十二単衣・草餅)	県立博物館	131
8月14日(土)	かいじあむの夏祭り(どじょうつかみ取り・ヨーヨー・水鉄砲・うちわ・すいとん・缶バッジ)	県立博物館	983
8月15日(日)	かいじあむの夏祭り(どじょうつかみ取り・ヨーヨー・水鉄砲・うちわ・折り紙)	県立博物館	807
11月20日(日)	かいじあむの秋祭り(切り紙、紙芝居、方言カルタ、ウォークラリー、鎧、単衣、折り紙、芋煮、収穫祭)	県立博物館	550
平成25年 1月 2日(水)	かいじあむのお正月(おみくじ・福引き・凧作り・書き初め)	県立博物館	179
1月 3日(木)	かいじあむのお正月(おみくじ・福引き・餅つき・書き初め)	県立博物館	367
2月23日(土)	講演の実演「清水次郎長」 宝井駿之介氏(講演協会所属)	県立博物館	258
体験プログラム参加者数合計			4,633

③その他

展示交流員が毎週土曜日に常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」や、企画展・シンボル展の開催期間中には「ガイドツアー」、毎週日曜日に体験型展示を案内する「あそぼう！まなぼう！寺子屋広場」を定期的を実施した。

(2) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

学校の教職員にティーチャーズクラブを知ってもらうために、各種研究会・研修会に赴き加入依頼を行った結果、前年度実績2,461人からさらに会員数が増加した。また、平成24年度教職員による視察件数は1,769件である。

ii 会員数

校 種	会員数 (人)
小学校	1,066
中学校	508
高等学校	1,054
教育庁	99
総合教育センター	68
市町村他	25
総 計	2,820

iii 活動実績

- ・平成24年6月7日(木) 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・同 8月8日(水) 夏季研修会 博物館研修(見学など)
- ・同 8月16日(木) 夏季研修会 博学連携ワークショップ
- ・平成25年2月18日(月) 第2回研究会 実践研究発表、意見交換等
- ・同 3月25日(月) 『博物館活用事例集⑨』発行

②授業の一環としての博物館利用

■授業の一環としての博物館利用一覧

番号	来館日	学 校 名	人数(人)		番号	来館日	学 校 名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
1	4月19日(木)	須玉中学校	52	7	48	9月28日(金)	島田小学校	12	2
2	4月20日(金)	中富中学校(班)	1	0	49	10月3日(水)	湯田小学校	33	3
3	4月20日(金)	玉幡中学校(班)	13	2	50	10月3日(水)	初狩小学校	19	3
4	4月21日(土)	青森山田高校山梨校	16	2	51	10月4日(木)	玉諸小学校	96	6
5	5月11日(金)	玉穂南小学校	55	4	52	10月5日(金)	岩手小学校	12	3
6	5月11日(金)	谷村第一小学校	74	5	53	10月5日(金)	西原小学校	5	2
7	5月11日(金)	田富中学校(班)	15	0	54	10月5日(金)	旭小学校	23	2
8	5月12日(土)	山中湖中学校	39	6	55	10月10日(水)	相川小学校	68	4
9	5月12日(土)	下部中学校	21	8	56	10月10日(水)	甲府東小学校	87	4
10	5月16日(水)	小立小学校	72	5	57	10月10日(水)	八田小学校	70	3
11	5月16日(水)	甲西中学校	131	9	58	10月10日(水)	六郷小学校	45	5
12	5月17日(木)	山梨大学附属中学校(班)	13	1	59	10月10日(水)	八幡小学校	43	5
13	5月18日(金)	忍野小学校	93	5	60	10月10日(水)	原小学校	8	3
14	5月18日(金)	都留第一中学校	84	6	61	10月10日(水)	西島小学校	9	2
15	5月18日(金)	押原中学校(班)	15	0	62	10月11日(木)	山城小学校	175	8
16	5月18日(金)	楡形中学校(班)	4	0	63	10月11日(木)	府中市立第十小学校	134	20
17	5月21日(月)	東桂中学校	69	6	64	10月11日(木)	芦川小学校	2	2
18	5月24日(木)	勝山小学校	37	2	65	10月12日(金)	伊勢小学校	80	4
19	6月3日(土)	目黒区立緑ヶ丘小学校	37	7	66	10月12日(金)	玉幡小学校	61	3
20	6月4日(日)	御殿場市立原里中学校	115	8	67	10月12日(金)	小泉小学校	12	2
21	6月6日(水)	笛吹高校	300	16	68	10月12日(金)	増穂小学校	100	6
22	6月13日(水)	笛吹高校	303	16	69	10月12日(金)	塩山南小学校	81	5
23	6月16日(土)	目黒区立第十一中学校	58	9	70	10月12日(金)	大月東小学校	42	4
24	6月28日(木)	落合小学校	33	3	71	10月17日(水)	市川小学校	63	5
25	7月6日(金)	滑川町立滑川中学校	130	11	72	10月17日(水)	吉田小学校	112	6
26	7月13日(金)	御坂小学校	10	4	73	10月19日(金)	敷島北小学校	46	3
27	7月18日(水)	石和南小学校	5	4	74	10月19日(金)	大里小学校	128	7
28	7月19日(木)	中央高校	86	10	75	10月19日(金)	新紺屋小学校	25	4
29	7月19日(木)	成立学園中学校	43	9	76	10月19日(金)	強瀬小学校	10	2
30	7月25日(水)	山梨学院大学附属小学校	20	3	77	10月24日(水)	中道北小学校	4	2
31	7月26日(木)	山梨学院大学附属小学校	20	3	78	10月25日(木)	甲運小学校	120	6
32	7月27日(金)	明見小学校	85	5	79	10月25日(木)	山梨大学附属小学校	101	5
33	7月30日(月)	山梨学院大学附属小学校	20	3	80	10月26日(金)	竜王北小学校	54	4
34	8月8日(水)	双葉東児童館	30	3	81	10月26日(金)	日川小学校	42	2
35	8月16日(木)	双葉東児童館	30	3	82	10月26日(金)	上条中学校	114	8
36	8月20日(月)	双葉西児童館	30	3	83	10月31日(水)	日下部小学校	70	4
37	8月30日(木)	目黒区立油面小学校	66	10	84	11月2日(金)	国本女子高校	60	5
38	8月31日(金)	目黒区立駒田小学校	61	9	85	11月9日(金)	韭崎北東小学校	85	5
39	9月5日(水)	上野小学校	27	2	86	11月12日(月)	駿台甲府小学校	70	5
40	9月6日(木)	新田小学校	40	3	87	11月12日(月)	塩山北小学校	4	2
41	9月6日(木)	貢川小学校	71	4	88	11月14日(水)	山梨高校	190	9
42	9月7日(金)	石田小学校	72	4	89	11月15日(木)	大河内小学校	15	2
43	9月7日(金)	甲運小学校	39	3	90	11月22日(木)	鳥沢小学校	19	2
44	9月20日(木)	北新小学校	19	2	91	11月29日(木)	須玉小学校	46	4
45	9月20日(木)	目黒区立宮前小学校	64	6	92	11月30日(金)	日下部小学校	79	4
46	9月21日(金)	山中湖東小学校	34	3	93	12月5日(水)	猿橋小学校	53	3
47	9月26日(水)	小平市立花小金井南中学校	11	5	94	12月5日(水)	一宮北小学校	18	2

番号	来館日	学 校 名	人数 (人)		番号	来館日	学 校 名	人数 (人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
95	12月6日 (木)	かえで支援学校	21	9	99	2月14日 (木)	増穂商業高校	126	9
96	1月16日 (水)	南アルプス子どもの村中学校	10	2	100	2月14日 (木)	御坂西小学校	93	4
97	1月25日 (金)	菲崎小学校	64	3	101	2月15日 (金)	青森山田高校山梨校	20	1
98	2月7日 (木)	玉幡小学校	61	3	102	2月22日 (金)	山梨大学附属支援学校	7	3
小 計								5810	475
総 計								6,285	

③出前授業

■出前授業実施一覧

番号	実施日	主 催	学校名(会場)	内 容	担当職員	人数
1	平成24年 4月 9日(月)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	(総合)「修学旅行事前学習(鎌倉)」	古屋和彦 川崎 剛	53
2	4月11日(水)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	(総合)「武田信玄」	古屋和彦 川崎 剛	106
3	4月18日(水)	身延町立身延小学校	身延町立身延小学校	(総合)「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	19
4	4月25日(水)	上野原市立島田中学校	上野原市立島田中学校	(総合)「県内巡り」	高橋 修	24
5	4月27日(金)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	(総合)「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	38
6	5月 7日(月)	大月市立鳥沢小学校	大月市立鳥沢小学校	(総合)「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	42
7	5月 9日(水)	富士川町立鯉沢中部小学校	富士川町立鯉沢中部小学校	(総合)「富士川舟運について」	川崎 剛	6
8	5月11日(金)	中央市立玉穂南小学校	山梨県立博物館	(総合)「武田信玄」	川崎 剛	55
9	5月16日(水)	富士河口湖町立小立小学校	山梨県立博物館	(総合)「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	73
10	5月19日(土)	甲斐市教育委員会	敷島文化会館	「博徒関係の古文書を読む」	高橋 修	25
11	5月30日(水)	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立笛吹高等学校	(総合)「甲斐国千年の都 笛吹市」	古屋和彦 川崎 剛	303
12	6月 4日(月)	御殿場市立原里中学校	山梨県立博物館	「富士山」	古屋和彦	115
13	6月 5日(火)	大学コンソーシアムやまなし	山梨学院大学	「観光産業論」講座 (山梨の歴史と観光資源-甲斐源氏を事例に-)	西川広平	105
14	6月 8日(金)	ことぶき勤学院中北教室	山梨県立博物館	「骨から探る山梨の歴史」	植月 学	62
15	6月16日(土)	甲斐市教育委員会	敷島総合文化会館	「博徒関係の古文書を読む」	高橋 修	21
16	6月18日(月)	笛吹市御坂児童センター	笛吹市御坂児童センター	「昔のくらしと道具」 (紙芝居・道具体験)	川崎 剛 宮沢真央 小澤美香	50
17	6月19日(火)	山梨県立北杜高等学校	山梨県立北杜高等学校	(総合)「柳沢吉保について」	西川広平	46
18	6月27日(水)	ことぶき勤学院峡南教室	山梨県立博物館	「古文書講座」	高橋 修	42
19	7月 2日(月)	大学コンソーシアムやまなし	山梨学院大学	「柳沢吉保と甲斐国」	高橋 修	125
20	7月 5日(木)	大月市立鳥沢小学校	大月市立鳥沢小学校	社会「山梨県の歴史」	川崎 剛	42
21	7月 6日(金)	ことぶき勤学院峡東教室	山梨県立博物館	「山梨の風土と歴史」	西川広平	42
22	7月 7日(土)	立正大学同窓会 山梨支部	ベルクラシック甲府	「新発見の古文書から見る山本菅助」	海老沼真治	60
23	7月19日(木)	富士川町立増穂小学校	富士川町立増穂小学校	総合「富士川舟運について」	川崎 剛	113
24	7月21日(土)	山梨化学学園	山梨文化会館	歴史文化教室「武田信玄と山本菅助」	海老沼真治	53
25	7月21日(土)	甲斐市教育委員会	敷島総合文化会館	「宇津谷村関係の古文書を読む」	高橋 修	17
26	8月 9日(木)	学びの広場ふえふき	笛吹市石和西小 学童保育クラブ	「紙芝居・山梨クイズ・ペーパークラフト」	川崎 剛 小澤美香 神山明子	72
27	8月13日(月)	学びの広場ふえふき	笛吹市富士見小 学童保育クラブ	「紙芝居・山梨クイズ・ペーパークラフト」	川崎 剛 今宮美香	17
28	8月17日(金)	中巨摩社会科研究会	山梨県立博物館	「山梨の近世の産業について」	高橋 修	21
29	8月18日(土)	甲斐市教育委員会	敷島総合文化会館	「五人組関係の古文書を読む」	高橋 修	13
30	9月22日(土)	東京都埋蔵文化財センター	東京都埋蔵文化財センター	「動物考古学からさぐる 縄文時代の食事」	植月 学	72
31	9月28日(金)	上野原市立島田小学校	山梨県立博物館	(総合)「山梨クイズ」	川崎 剛	12
32	10月 5日(金)	上野原市立西原小学校	山梨県立博物館	(総合)「信玄堤」	川崎 剛	5
33	10月 6日(土)	県東部JR8駅トレッキング推進協議会	上野原市文化ホール	記念講演会「北斎が描く、甲州犬目峠」	春原史寛	48
34	10月10日(水)	市川三郷町立六郷小学校	山梨県立博物館	(総合)「富士川舟運」	川崎 剛	45
35	10月10日(水)	南甲府警察署	南甲府警察署	「甲州博徒について 西保周太郎の活動を中心に」	高橋 修	100
36	10月13日(土)	山梨県立大学	山梨県立大学	「彫刻に表現された富士山信仰」	近藤暁子	86
37	10月15日(月)	武田神社崇敬会	常磐ホテル	「武田家の由緒の創造-系図の作成をめぐる-」	西川広平	50

番号	実施日	主催	学校名(会場)	内容	担当職員	人数
38	10月20日(土)	山梨県立大学	山梨県立大学	「富士五湖の漁業の歴史」	植月 学	85
39	10月24日(水)	富士河口湖町立河口湖北中学校	富士河口湖町立 河口湖北中学校	修学旅行事前学習「仏像について」	近藤暁子 古屋和彦	30
40	10月25日(木)	南アルプス市立櫛形中学校	南アルプス市立櫛形中学校	(総合)「甲斐国と武田氏」	西川広平	230
41	10月26日(金)	北杜市立長坂小学校	山梨県立博物館	(総合)「信玄堤」	川崎 剛	28
42	10月26日(金)	山梨市立日川小学校	山梨県立博物館	(総合)「川と水害の歴史」	川崎 剛	42
43	10月29日(月)	かふふ歴史倶楽部	甲府市総合市民会館	「武田から徳川へ 戦国甲斐の終末」	西川広平	134
44	10月31日(水)	青森山田高等学校山梨校	青森山田高等学校山梨校	「浮世絵について」	春原史寛	18
45	11月 1日(木)	日下部警察署	日下部警察署	「甲州博徒について」	高橋 修	50
46	11月 7日(水)	山梨県立山梨高等学校	山梨県立山梨高等学校	(総合)「山梨の歴史」	古屋和彦 川崎 剛	188
47	11月14日(水)	中央市立三村小学校	中央市立三村小学校	(総合)「信玄堤」	古屋和彦 川崎 剛	59
48	11月15日(木)	南アルプス市立櫛形北小学校	南アルプス市立櫛形北小学校	「昔、山梨で戦争があった! (甲府空襲)」	川崎 剛	42
49	11月16日(金)	山梨市立加納岩小学校	山梨市立加納岩小学校	(総合)「信玄堤」	川崎 剛	75
50	11月22日(木)	ことぶき勤学院甲府教室	山梨県立博物館	企画展「黄金の国々」について	海老沼真治	68
51	11月28日(水)	山梨県職員研修所(新任職員研修)	山梨県立博物館	「山梨の歴史」	川崎 剛	65
52	11月28日(水)	山梨県職員研修所(新任職員研修)	山梨県立博物館	「山梨の文化財」	近藤暁子	65
53	11月28日(水)	山梨県職員研修所(新任職員研修)	山梨県立博物館	「山梨の歴史」	川崎 剛	61
54	11月28日(水)	山梨県職員研修所(新任職員研修)	山梨県立博物館	「山梨の文化財」	近藤暁子	61
55	11月28日(水)	大学コンソーシアムやまなし	山梨英和大学	「甲州博徒と山梨(山梨学)」	高橋 修	83
56	12月 2日(土)	鉾子市教育委員会	鉾子市青少年文化会館	「海の恵みと余山貝塚」	植月 学	52
57	12月 3日(月)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	(総合)「昔、山梨で戦争があった! (甲府空襲)」	古屋和彦 川崎 剛	38
58	12月 8日(土)	山梨文化学園	山梨文化学園	「武田信玄と穴山三代」	西川広平	40
59	12月12日(水)	山梨市立加納岩小学校	山梨市立加納岩小学校	(総合)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	54
60	12月19日(水)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	(総合)「山梨県の歴史」	古屋和彦 川崎 剛	53
61	12月21日(金)	笛吹市御坂児童センター	笛吹市御坂児童センター	「紙芝居(十二支の話)・山梨クイズ」	川崎 剛 米岡京子	86
62	平成25年 1月 7日(月)	山梨県総合教育センター	山梨県総合教育センター	「教育課程編成上における博物館の活用法」	古屋和彦 川崎 剛	125
63	1月16日(水)	甲斐市立竜王北中学校	甲斐市立竜王北中学校	(総合)「県内巡りについて」	高橋 修 古屋和彦	90
64	1月17日(木)	甲府市立東中学校	甲府市立東中学校	「修学旅行事前学習」	近藤暁子 古屋和彦	185
65	1月25日(金)	笛吹市立石和南小学校	笛吹市立石和南小学校	(総合)「昔の道具体験」	高野玄明 丸尾依子 古屋和彦	50
66	2月 1日(金)	笛吹市立一宮西小学校	笛吹市立一宮西小学校	(社会科)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	62
67	2月 4日(月)	山梨県タクシー協会	山梨県立博物館	おもてなしタクシードライバー養成講座 「山梨の歴史と観光資源」	西川広平	42
68	2月 7日(木)	山梨県立増穂商業高等学校	山梨県立増穂商業高等学校	「山梨の歴史を学ぶ」	海老沼真治	126
69	2月 7日(木)	甲斐市立玉幡小学校	山梨県立博物館	(社会科)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	61
70	2月8日(金)	身延町立身延小学校	身延町立身延小学校	(社会科)「昔の道具体験」	古屋和彦 川崎 剛	20
71	2月 8日(金)	身延町立身延小学校	身延町立身延小学校	(総合)「富士川舟運」	川崎 剛	38
72	2月13日(水)	都留市立谷村第二小学校	都留市立谷村第二小学校	(総合)「昔、山梨で戦争があった! (甲府空襲)」	川崎 剛	23
73	2月14日(木)	笛吹市立御坂西小学校	山梨県立博物館	(社会科)「昔の道具体験」	川崎 剛	93
74	2月14日(木)	韮崎市立韮崎小学校	韮崎市立韮崎小学校	(社会科)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	52
75	2月15日(金)	フットパス・ミーティング2013	山梨県立博物館	「武田信玄の歴史」	高橋 修	80
76	2月15日(金)	甲府城下町を語る会	山梨県立博物館	「甲州博徒の幕末維新」	高橋 修	70
77	2月16日(土)	明治大学先史文化研究所	明治大学	「余山貝塚の生業活動」	植月 学	40
78	2月20日(水)	山梨県タクシー協会	山梨県立博物館	おもてなしタクシードライバー養成講座 「山梨県の歴史・地域情報」	古屋和彦	25

第Ⅱ編 事業・諸活動

番号	実施日	主催	学校名(会場)	内 容	担当職員	人数
79	2月21日(木)	甲府市立新田小学校	甲府市立新田小学校	(社会科)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	29
80	2月21日(木)	山梨県タクシー協会	山梨県立博物館	おもてなしタクシードライバー養成講座 「峡北・峡南・富士東部編」	高橋 修	7
81	2月22日(金)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	(社会科)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	33
82	2月22日(木)	平成24年度山梨学講座 「山梨の人と文化11」	男女共同参画推進センター	「甲斐国の大賑わいの日ー甲府道祖神祭礼ー」	高橋 修	70
83	2月25日(月)	甲府市立甲運小学校	甲府市立甲運小学校	(社会科)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	66
84	2月25日(月)	北杜市立白州中学校	北杜市立白州中学校	「班別自主見学事前学習・山梨」	古屋和彦	32
85	2月28日(金)	山梨大学附属小学校	山梨大学附属小学校	(社会科)「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	106
86	3月 1日(金)	平成24年度山梨学講座 「山梨の人と文化11」	男女共同参画推進センター	「吉田の火祭」	堀内 眞	73
87	3月 1日(金)	笛吹市立八代小学校	笛吹市立八代小学校	「昔の道具体験」	丸尾依子 古屋和彦 川崎 剛	90
88	3月 6日(水)	甲府市立山城小学校	甲府市立山城小学校	「昔のくらしと道具」	川崎 剛	173
89	3月 7日(木)	笛吹市立境川小学校	笛吹市立境川小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	50
90	3月 8日(金)	道志村立道志小学校	道志村立道志小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	11
91	3月15日(金)	都留市立都留第二中学校	都留市立都留第二中学校	「班別自主見学事前学習・山梨」	古屋和彦	151
92	3月15日(金)	平成24年度山梨学講座 「山梨の人と文化11」	男女共同参画推進センター	「基調講演とシンポジウム～山梨のまつりと芸能～」	高橋 修	55
93	3月18日(月)	笛吹市立石和南小学校	笛吹市立石和南小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	50
94	3月22日(金)	身延町立身延小学校	身延町立身延小学校	「修学旅行事前学習(鎌倉)」	川崎 剛	14
総 計						6,077

④職場体験

■職場体験実施一覧

実施日	学校名	学年	人数(人)
平成24年 7月 5日(木)	山梨市立山梨北中学校	2年	5
平成24年 7月28日(土)～7月29日(日)	山梨県立山梨高等学校	2年	3
平成24年 8月 1日(水)	甲斐市立玉幡中学校	2年	3
平成24年 8月 2日(木)～8月 4日(土)	甲斐市立双葉中学校	2年	2
平成24年 8月11日(土)～8月15日(水)	山 梨 英 和 大 学	3年	1
平成24年 8月22日(水)～8月24日(金)	笛吹市立御坂中学校	2年	3
平成24年10月18日(土)	昭和町立押原中学校	2年	2
平成24年10月31日(水)～11月 1日(木)	北杜市立甲陵中学校	2年	1
平成24年11月19日(土)～11月21日(水)	山梨県立笛吹高等学校	1年	3
小 計(中学校)			16
小 計(高等学校)			6
小 計(大 学)			1
総 計			23

⑤「未来の山梨を描こう！」募集

	応募学校数(校)	応募人数(人)
小学校	25	112
中学校	3	14
合 計	28	126

⑥子ども学芸員事業

「子ども学芸員事業」は、平成21年12月より試行が行われ、平成22年度より本格的に実施している。学校団体見学等での来館、または出前授業を受講の後、学習成果としてのレポートを提出すると、「こども学芸員」に認定するという制度である。「子ども学芸員」には家族招待状を渡し、博物館の利用促進を図り、山梨の歴史や文化に対する興味や関心を高めてもらう。平成24年度は840人を認定し、現在までのところ、4,040人が初級に認定されている。

■子ども学芸員認定状況（平成24年度）

番号	年 月 日	学 校 名	学年	人数	常設展	企画展	備 考
1	平成24年 4月 9日 (月)	笛吹市立一宮西小学校	6	53			修学旅行事前学習
2	6月 6日 (水)	山梨県立笛吹高等学校	1	303	○		笛吹市の歴史
3	9月 7日 (金)	甲府市立甲運小学校	6	39	○		
4	9月28日 (金)	上野原市立島田小学校	5	12	○		
5	10月 4日 (木)	甲府市立玉諸小学校	6	96	○		
6	10月10日 (水)	山梨市立八幡小学校	1	9	○	○	「黄金の国々」展
7	10月26日 (火)	甲斐市立竜王北小学校	4	54	○		
8	11月14日 (水)	中央市立三村小学校	4	59			信玄堤
9	11月15日 (木)	南アルプス市立櫛形北小学校	6	42			昔、山梨で戦争があった
10	12月12日 (水)	押し葉標本作品展		19			
11	12月12日 (水)	ふるさと山梨郷土学習コンクール		13			
12	12月12日 (水)	高等学校社会科学発表大会		17			
13	平成25年 2月 8日 (金)	身延町立身延小学校	4	18			富士川舟運
14	2月21日 (木)	甲府市立新田小学校	3	29			昔の道具
15	2月25日 (月)	甲府市立甲運小学校	3	66			昔の道具
16	3月 8日 (木)	道志村立道志小学校	5	11			修学旅行
認 定 数				840 人			

※押し葉標本作品展及びふるさと山梨郷土学習コンクール、高等学校社会科学発表大会の優秀作品を平成24年12月12日（水）から平成25年2月4日（月）まで当館ロビーに展示した。

⑦大学教育との連携

i 学芸員実習

【期 間】平成24年8月1日（木）から同年8月11日（日）まで（計10日間）

【受け入れ人数】11人（男4人、女7人）

【実習生所属大学】

- ・山梨県内：山梨大学 2人、山梨英和大学 3人
- ・山梨県外：跡見学園女子大学、工学院大学、信州大学、専修大学、東京農業大学、弘前大学 各1人

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業についての講義及び実習
- ・県立博物館職員との意見交換会

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大 学 名	期 間
杓 名 貴 彦	帝京科学大学（博物館各論Ⅰ）	平成24年4月2日（月）から平成25年3月30日（土）まで
杓 名 貴 彦	東京藝術大学（博物館資料保存論）	平成24年5月31日（木）
春 原 史 寛	山梨英和大学（博物館資料論）	平成24年4月1日（日）から平成25年3月31日（日）まで
高 橋 修	山梨県立大学（日本の歴史Ⅰ）	平成24年4月1日（日）から平成24年9月30日（日）まで
中 山 誠 二	山梨英和大学（博物館学概論）	平成24年4月1日（日）から平成25年3月31日（日）まで
西 川 広 平	中央大学（日本史学基礎演習Ⅱ）	平成24年4月1日（日）から平成25年3月31日（日）まで

⑧発行物

名 称	発行年月日	体 裁
『博物館活用事例集⑨ 山梨県立博物館を活用したティーチャーズクラブの先生による学習活動事例集』	平成25年3月25日	簡易印刷

※県内の小・中・高・特別支援学校全校及び山梨県教育委員会、各教育事務所、市町村教育委員会、総合教育センターなどに配布した。

(3) 博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■平成24年度第1回会議

日時：平成24年12月13日（木）

場所：生涯学習室

内容：災害対策について

ネットワーク会議HPについて

夏休み自由研究プロジェクト結果報告

研修会「四国におけるミュージアムネットワークについて」 講師 須藤茂樹氏（四国大学講師）

■平成24年度分科会

日時：平成25年2月28日（木）

場所：生涯学習室

内容：災害対応について

■平成24年度第2回会議

日時：平成25年3月22日（金）

場所：総合教育センター

内容：災害対応について

平成25年度の活動計画について

ii 博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

開催年月日	開催場所	参加者数（人）	参加者数（館）
平成24年7月16日（月・祝）	アイメッセ山梨	842	40

②縄文王国山梨

平成24年度の事業として、富士吉田市歴史民俗博物館において平成24年4月28日（土）から同年5月31日（木）まで巡回展を行った。また、平成24年8月19日（日）には南アルプス市ふるさと文化伝承館において実施されたイベント、「伝承館で夏祭りWith縄文王国やまなし」に協力し、参加した（参加者数191人）。

講演会等のイベントについては、平成24年12月23日（日・祝）に、「縄文人の世界観－目で見る景観&心で見る景観－」と題して北杜市考古資料館において開催したほか、平成25年2月11日（月・祝）には、「縄文人の世界観－縄文土器を読み解く－」と題して風土記の丘研修センターにおいて開催し、それぞれ多くの参加者があり好評を得ている。

(4) 広 報

年4回の「かいじあむ通信 Kai（交い）」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政だより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。また、平成25年度の年間利用案内や展覧会・イベント紹介を掲載したチラシを初めて作成した。今後とも広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

誌 名	発行年月日
「かいじあむ通信 K a i (交い)」 第26号	平成24年 6月 1日
「かいじあむ通信 K a i (交い)」 夏休み特別号	平成24年 6月22日
「かいじあむ通信 K a i (交い)」 第27号	平成24年 9月 1日
「かいじあむ通信 K a i (交い)」 第28号	平成24年12月 1日
「かいじあむ通信 K a i (交い)」 第29号	平成25年 3月 1日

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

・防災訓練

回数	実施日	内容
第1回	平成24年9月14日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・避難経路・消防設備等の確認 ・消火器による消火訓練 ・燻煙装置による避難体験

・その他の訓練

実施日	内容
平成24年12月10日（月）	・普通救命講習受講（笛吹消防本部）

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年月	生涯学習室		交流室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
平成24年 4月	66	23,080	0	0
5月	302	14,720	0	0
6月	370	21,390	0	0
7月	544	58,200	0	0
8月	219	3,970	0	0
9月	49	18,180	0	660
10月	83	1,800	0	0
11月	499	25,750	18	0
12月	116	12,940	10	110
平成25年 1月	266	36,000	0	0
2月	496	21,840	0	0
3月	330	18,970	0	0
計	3,340	256,840	28	770

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入手続きを行った月」で集計している。

第7章 情報の発信と公開

(1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおりして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者・学芸員等の調査・研究に必要な文献を的確に収集・整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

- 午前9時から午後5時まで
- (書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで)
- (即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)
- 入室は無料

■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報やレファレンスデータの検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

- ・図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、『山梨県史』や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,500冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。
- ・収蔵資料のうち、即日閲覧対象資料(古文書・古記録・版木等)、「甲州文庫」及び古文書のデジタル・マイクロフィルムは即日閲覧可能である。
- ・即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧する。

■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連資料紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。

■平成24年度資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入室者	249人	277人	216人	229人	577人	132人	187人	218人	84人	207人	299人	308人	2,983人
ビデオ利用	35件	93件	25件	60件	269件	51件	43件	36件	12件	41件	56件	53件	774件
レファレンス	レファレンス	34件	31件	34件	31件	30件	20件	32件	37件	12件	50件	56件	396件
	利用相談	8件	10件	11件	18件	28件	9件	7件	21件	8件	20件	41件	214件
	小計	42件	41件	45件	49件	58件	29件	39件	58件	20件	70件	97件	610件
複写	件数	37件	23件	30件	40件	44件	23件	38件	42件	20件	38件	63件	427件
	電子式	521枚	266枚	306枚	478枚	385枚	142枚	325枚	272枚	92枚	237枚	464枚	3,608枚
	マイクロデジタル	9枚	88枚	1,011枚	306枚	1,933枚	172枚	673枚	877枚	919枚	1,125枚	1,787枚	11,931枚
	小計	530枚	354枚	1,317枚	784枚	2,318枚	314枚	998枚	1,149枚	1,011枚	1,362枚	2,251枚	15,539枚



展示関連資料紹介「クニマスは生きていた—山梨おさかな発見物語—」
期間：平成24年7月14日（土）から9月3日（月）まで

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成23年度にシステムの更新を行い、平成24年3月1日に本稼働させた。

このシステムは、以下の4つのシステムから構成される。

■活動支援システム

活動支援システムは、博物館の管理運営を支援するシステムである。チケット発券や来館者数管理のシステム化や自動化、団体・施設の予約管理等の支援を行ってきた。あわせて、これらの情報をグループウェアにより共有化し、効率的な運営の補助を行ってきた。しかし、平成23年度の更新に伴い、来館者数管理のみのシンプルな構成とした。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外に情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書

情報・レファレンスデータ検索がある。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する山梨県総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設・更新を行っている。

【ホームページの主な更新履歴】

平成25年1月13日 アクセス数56万件を突破

3月20日 「中央線の思い出」に関する写真を募集中！

「収蔵資料案内」ページの更新：収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

検索可能件数（平成25年3月現在） ・収 蔵 資 料 84,105件
 ・図 書 類 39,356件
 ・レファレンス 408件



QRコード
 携帯電話で読み取ると、
 県立博物館の携帯電話
 用ホームページにア
 クセスできます。

P C 向け U R L : <http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向け U R L : <http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	前年度件数
平成24年 4月	7,974	266	7,505
5月	7,568	244	7,283
6月	6,586	220	6,550
7月	7,694	248	8,554
8月	10,770	347	9,613
9月	6,957	232	6,925
10月	7,375	238	6,904
11月	6,816	227	6,673
12月	4,376	141	4,923
平成25年 1月	6,371	206	6,216
2月	6,258	224	6,158
3月	7,080	228	6,855
合 計	85,825	235	84,159

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

平成24年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、クイズに答えながら展示の見どころを楽しんでいただくクイズラリー形式の事業が定着している。平成24年度は、「どうそじんワンダーワールドAGAINーやまなしの道祖神祭りー」展及び「黒駒勝蔵 対 清水次郎長ー時代を動かしたアウトローたちー」展に際し、展示をめぐるクイズラリーと組み合わせて、展示にゆかりのある地域を訪ねるツアーを実施し、県立博物館と県内各地の史跡や文化財とを結びつけることをめざした（前者では、降雪のため館外のツアーは中止となった）。

また、「黒駒勝蔵 対 清水次郎長ー時代を動かしたアウトローたちー」展の関連イベントとして、平成23年度に引き続き甲府市立図書館の展示室を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施し、県立博物館への誘導を図った。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第Ⅰ編第2章を参照されたい。また平成15年度以来実施してきた「収蔵品ゆかりの地ツアー」は、県内で同様の事業の実施が増加し、一定の目的を果たしたために平成23年度をもって終了し、平成24年度には、その内容を「かいじあむ検定」に統合して実施した。

①かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成24年8月12日(日)	クニマス発見ツアー	県立博物館	220
平成25年1月5日(土)から 同年1月14日(月・祝)まで	「黒駒勝蔵 対 清水次郎長」展関連ミニ展示	甲府市立図書館	370
平成25年1月14日(月・祝)	山梨の道祖神祭り	県立博物館	175
平成25年2月17日(日)	甲州博徒の大親分 三井卯吉ゆかりの地を巡るツアー	県立博物館 甲府市内	114
参加者数合計			879

②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
平成24年8月5日(日)	通信簿ツアー(一般来館者対象)	県立博物館	165
平成24年8月8日(水)	通信簿ツアー(教員対象)	県立博物館	18
参加者数合計			183

※委託先のNPOについては、平成24年6月8日(金)に県民参画(NPO委託)事業審査会を開催し、その結果、各事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成24年8月12日(日)実施の「クニマス発見ツアー」の様子。学芸員のガイドにより企画展を見ながらクイズラリーを行った。



平成25年2月17日(日)に実施した「甲州博徒の大親分 三井卯吉ゆかりの地を巡るツアー」の様子。展示を観覧した後、甲府市街地に残るゆかりの地を訪ねるツアーを行った。

(2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

県立博物館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが、概ね60人ほどの協力員が館の主催する様々な活動を支援してきた。県立博物館協力員の主たる活動は次のとおりである。

- ・来館者への展示ガイド、及び体験型展示の利用の補助
- ・館蔵の図書、資料、写真などの整理
- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理
- ・広報物発送の補助
- ・協力会企画のイベントの実施

これまで会員数が70～80人程度で推移していたことをふまえると、人数が減少傾向にあり、今後、会員増が大きな課題である。

■平成24年度の協力会の主な活動

平成24年 4月7日（土） 歴史ウォーキング（県立博物館近辺の史跡探訪）

5月11日（水） 協力会だより第3号発行

6月3日（日） 運営委員会

6月9日（土） 協力会総会（平成23年度事業・決算の報告、同24年度事業・予算の決定）

7月11日（水） 運営委員会

9月19日（水） 第1回研修旅行（多胡碑記念館・貫崎神社・富岡製糸場）

平成25年 3月24日（日） 第2回研修旅行「シンポジウム 富士山信仰の拠点・河口の神社と町を考える」
（於 富士河口湖町河口地区公民館）

3月27日（水） 協力会だより第4号発行

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・資料整理補助…「斎藤家資料」の資料専用封筒詰め、ナンバリング等の作業
- ・イベント補助…年4回のお祭りイベント、月1回の子ども工房、その他不定期イベントの補助
- ・お庭ガイド講師…毎月第3土曜日開催「ボランティアによるお庭の見どころガイド」の講師



平成24年9月19日（水）に実施された第1回研修旅行の様子。富岡製糸場にて現地ガイドの説明を受けているところ。



「ボランティアによるお庭の見どころガイド」の様子。講師の説明を受けているところ。

第9章 組織・人員

(1) 職員の資質向上

①職員参加研修一覧

氏名	研修名	主催	場所	期間	研修内容
丸尾依子	平成24年度歴史民俗資料館等専門職員研修会	文化庁・国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館	平成24年11月5日(月)～9日(金)	歴史民俗資料館における調査・収集・保存・公開等に関する専門的知識と技能の研修

②展示交流員研修一覧

年月日	内容
平成24年4月中	新任交流員に対し博物館業務の研修を随時実施
平成24年7月中	新任交流員に対し博物館業務の研修を随時実施
平成24年9月14日(金)	①自衛消防訓練を行い、安全・安心の確保に努めるなど 幅広い研修を実施 ②常設展スルーガイドの案内の仕方研修を実施
平成24年12月10日(月)	①接遇研修会実施 ②普通救命講習会実施

(2) 第三者委員会

①山梨県立博物館運営委員会

i 運営委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等
小澤 龍一	(財) やまなし文化学習協会生涯学習推進センター前所長 みんなでつくる博物館協議会委員長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長
五味 文彦	放送大学教授 東京大学名誉教授
萩原 三雄	帝京大学教授 帝京大学文化財研究所所長
早川 源	公益財団法人 山梨県総合研究所副理事長
守屋 正彦	筑波大学教授

ii 運営委員会の検討状況

■第23回運営委員会

日時：平成24年5月31日（木）

検討内容：平成25年度の企画展について

平成24年度以降の調査・研究事業について

■第24回運営委員会

日時：平成24年11月22日（木）

検討内容：文化財レスキューのためのネットワーク構築について

今後の博物館評価制度のあり方について

■第25回運営委員会

日時：平成25年3月1日（金）

検討内容：平成25年度の企画展について
富士山総合学術調査について

②山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章(1)で詳述

③みんなで作る博物館協議会

i みんなつく委員名簿（五十音順、敬称略）

氏名	勤務先・役職等
植松 光宏	なまよみ文庫館長
小澤 龍一	㈸山梨文化学習協会生涯学習推進センター前所長
数野 妙子	甲府市立相川小学校教諭
齋藤 康彦	山梨郷土研究会理事
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
谷口 一夫	甲斐黄金村・湯之奥金山博物館長
丹沢 良二	㈸タンザワ会長
出澤 忠利	㈸印傳屋上原勇七総務部長
戸田 達昭	シナプテック㈸代表
長沢 宏昌	石和温泉活性化研究会副理事長
名取 武師	山梨県公立小中学校校長会
八田 知子	ホテル八田代表
山本 育夫	特定非営利活動法人つなぐ理事長
横内 金弥	山梨県農業協同中央会専務理事
渡辺 昭夫	富士河口湖旅館組合前組合長・現相談役

ii みんなつく検討状況

■平成24年度第1回みんなつく協議会

日時：平成24年6月21日（木）

検討内容：開館10周年年度に向けた新規総合評価について

平成23年度実績について

博学連携の強化について

平成24年度県民参画事業について

体験型展示「かいじあむ寺子屋」の新設について

■平成24年度みんなつく評価小委員会

日時：平成24年9月26日（水）

検討内容：開館10周年年度に向けた新規総合評価について

■平成24年度第2回みんなつく協議会

日時：平成24年12月6日（木）

検討内容：開館10周年年度に向けた新規総合評価について

平成24年度実績について（中間報告）

平成24年度開催企画展について

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■外部資金を得た調査・研究

第Ⅱ編第2章(1)で詳述

■委員等の受託

担当職員	役 職	主 管	委嘱期間
高橋 修	笛吹市文化財保護委員	笛吹市教育委員会	平成23年4月1日～平成25年3月31日
高橋 修	山梨市文化財保護委員	山梨市教育委員会	平成23年4月1日～平成25年3月31日
高橋 修	暮らしと味わいフェスティバル事業別企画委員	国文祭甲府市実行委員会	平成23年10月1日～平成25年10月31日
高橋 修	富士市博物館リニューアル検討委員会委員	富士市博物館	平成24年4月1日～平成25年3月31日
中山誠二	文部科学省学芸員資格認定委員会委員	文部科学省	平成24年9月27日～平成25年3月31日
中山誠二	公益財団法人やまなみ文化基金助成事業選考委員会委員	公益財団法人やまなみ文化基金	平成25年2月28日～平成27年3月31日
中山誠二	連方屋数術調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～事業終了
西川広平	甲府市文化財調査審議会委員	甲府市教育委員会	平成24年6月1日～平成26年5月31日
西川広平	連方屋数術調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～事業終了
堀内 眞	連方屋数術調査報告書執筆委員会委員	山梨市教育委員会	平成25年3月27日～事業終了

(2) 外部との連携

平成23年3月に発生した東日本大震災では、多くの博物館や文化財が被害を受け、現在も引き続き復旧事業が行われている。復旧事業には、全国各地に所在する歴史民俗系の博物館が参加しているが、これらの博物館は全国的な組織を持っていないことが課題となっていた。

このため、平成24年6月14日（木）に全国歴史民俗系博物館協議会が設立され、全国の歴史民俗系博物館の交流と連携により、歴史と文化が地域社会の基盤として不可欠であるという理念に基づいて、社会に貢献することを目的に活動していくことが設立集会（第1回総会）で採択された。

本協議会には、合計651館（平成24年6月12日現在）が参加しており、国立歴史民俗博物館に事務局を置いている。全国を9ブロックに分け、15館が参加した山梨県は中部ブロックに属する。平成24年度、中部ブロックは名古屋市博物館を幹事館とし、県立博物館は山梨県の連絡担当館を務めることになった。

今後、本協議会では、博物館活動に関する情報等の交換や職員の研修などの事業が行われることが期待される。

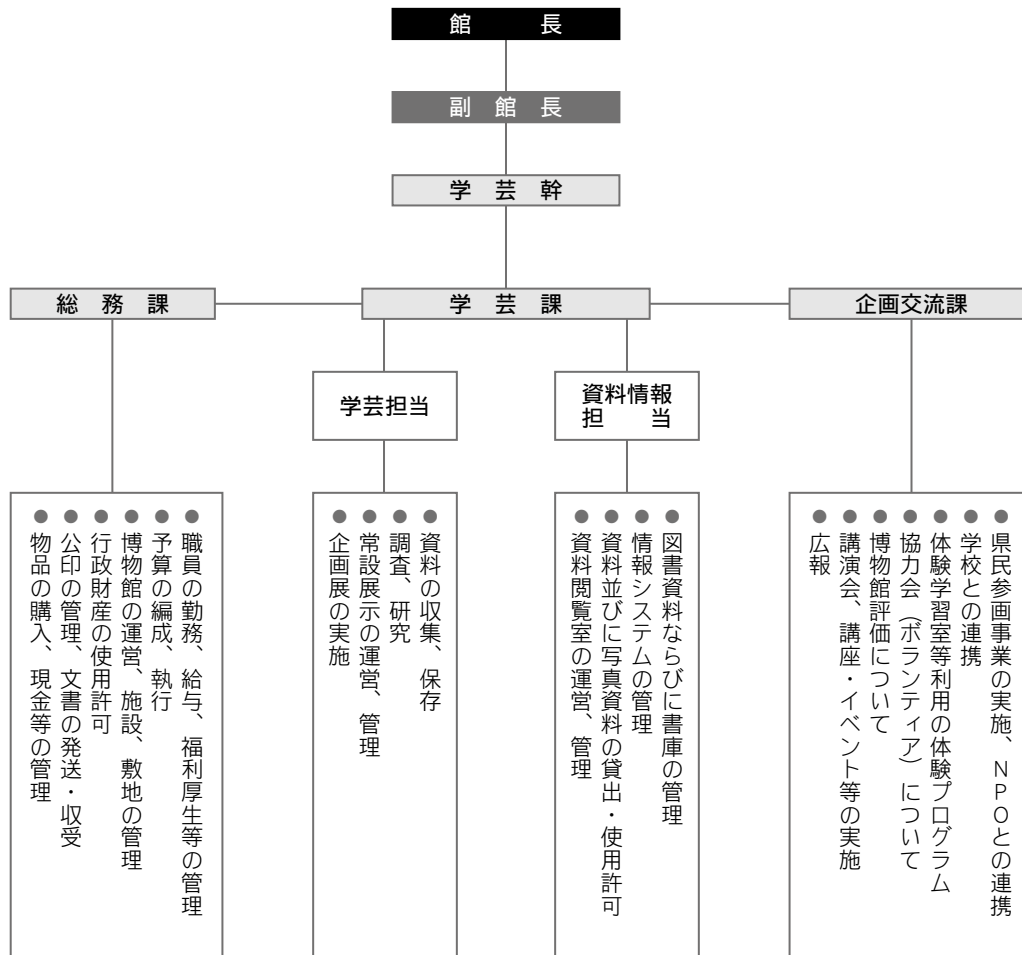
■全国歴史民俗系博物館協議会への参加

開催年月日	参加議員	場 所	内 容
平成24年6月14日(木)	中澤卓夫（副館長）	東京都江戸東京博物館	全国歴史民俗系博物館協議会 設立集会（第1回総会） ・本協議会規約について ・幹事館の選出について ・事務局の運営について ・活動計画について 研究集会「博物館の危機管理」

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■組織図



関係委員会

運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

みんなでつくる博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員(H25. 3. 31現在)

館長 平川 南
副館長 中澤 卓夫
総務課

課長 河野 彰
主査 荻野 貴史
主任業務員 白倉 政富
非常勤嘱託 村松亜紀子
非常勤嘱託 宮澤 真央
非常勤嘱託 名取 美穂
非常勤嘱託 小幡 理美
非常勤嘱託 古屋恵里佳
非常勤嘱託 片山 敬子
非常勤嘱託 天野 幸代
非常勤嘱託 松野 美波
非常勤嘱託 石川 利彦
非常勤嘱託 米岡 京子
非常勤嘱託 今福 一仁
非常勤嘱託 今宮 美香
非常勤嘱託 横森 裕哉
非常勤嘱託 若木俊一郎
非常勤嘱託 矢崎 明子
非常勤嘱託 酒井美奈子
非常勤嘱託 小澤 美香
臨時職員 早川 美保

学芸課

課長 中山 誠二 考古学
学芸担当
学芸員 高橋 修 歴史
学芸員 植月 学 古環境
学芸員 近藤 暁子 美術
学芸員 海老沼真治 歴史
学芸員 春原 史寛 美術
非常勤嘱託 堀内 眞

資料情報担当

副主幹 外川 豊子
学芸員 沓名 貴彦 保存科学
非常勤嘱託 宮澤富美恵
非常勤嘱託 小澤 史葉
非常勤嘱託 郷田 敦子
非常勤嘱託 石原 宝

企画交流課

課長 高野 玄明
副主幹・教育主事 古屋 和彦
副主幹・教育主事 川崎 剛
学芸員 西川 広平 歴史
学芸員 丸尾 依子 民俗

2 平成24年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	76,973	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	14,391	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	220,895	施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費
合計	312,259	

※ 職員給与費を除く

3 年間日誌

■主な出来事及び新聞記事から抄

- ・平成24年 5月19日（土）シンボル展「大善寺 日光・月光菩薩像」において、日光菩薩像内部の印仏初公開（平成24年5月18日付「山梨日日新聞」ほか）
- ・平成24年 8月16日（木）企画展「クニマスは生きていたー山梨おさかな発見物語ー」展来場1万人を突破（平成24年8月17日付「山梨日日新聞」ほか）
- ・平成24年10月18日（木）新潟県立歴史博物館ほかとの共催により企画展「黄金の国々ー甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山ー」開催（平成24年10月19日付「山梨日日新聞」）
- ・平成25年 1月24日（木）国民文化祭冬のステージテーマ「ふるさとの祈り、息づく」に合わせ「どうそじんワンダーワールドAGAINーやまなしの道祖神祭りー」展開催（平成25年1月25日付「山梨日日新聞」）
- ・平成25年 2月 7日（木）企画展「黒駒勝蔵 対 清水次郎長ー時代を動かしたアウトローたちー」開催（平成25年1月8日付「山梨日日新聞」）
- ・平成25年 3月 2日（土）企画展「黒駒勝蔵 対 清水次郎長ー時代を動かしたアウトローたちー」関連イベント開催「菅原文太さんアウトローを語る」（平成25年3月3日付「山梨日日新聞」）
- ・平成25年 3月30日（土）企画展「水の国やまなしー信玄堤と甲斐の人々ー」開催（平成25年3月29日付「山梨新報」）

平成24年度 山梨県立博物館年報

発行日 2013(平成25)年9月27日
編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055 (261) 2631
印刷 株式会社 島田プロセス

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum

